

令和3年度版

流山市まちづくり報告書

(流山市総合計画進捗状況報告)

目次

本報告書の考え方について	1
(1) 流山市総合計画について	1
(2) 総合計画の進行管理	2
(3) まちづくり報告書とは	2
施策体系	3
まちの経営動向	5
(1) 基本政策全体の達成動向	5
施策分野別評価表	6
資料編	68
(1) まちの状態指標	68

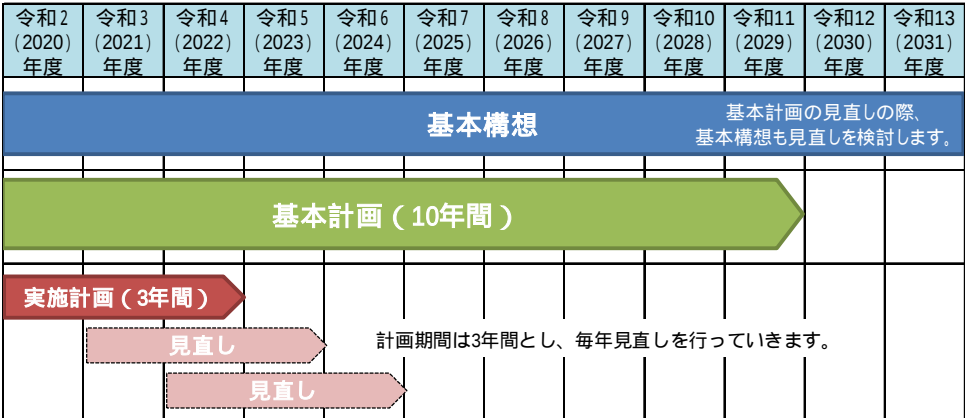
本報告書の考え方について

(1) 流山市総合計画について

流山市総合計画（以下「総合計画」といいます。）は、本市が目指すまちのイメージである「都心から一番近い森のまち」に向けて、計画的に市政経営を進めていくための指針として、令和2年3月に策定しました。

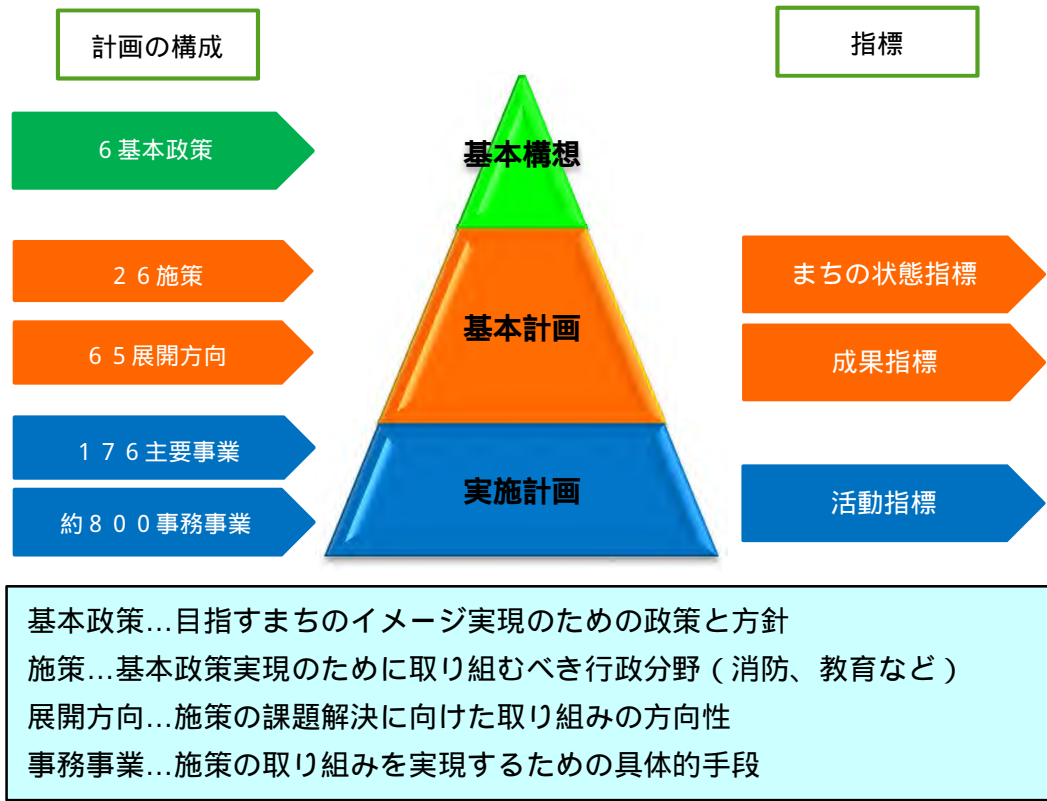
この総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成され、基本計画では、10年間の市政経営の方向性を定めています。

■ 総合計画の計画期間



基本計画においては、26の施策と65の展開方向からなり、施策ごとに「まちの状態指標」を設定し、施策の進み具合について、定期的にその数値を測定することで、本市のまちづくりがどの程度達成されたかを検証しています。

■ 計画の構成と指標の関係



(2) 総合計画の進行管理

基本計画に掲げる施策や、実施計画に掲げる事業の推進を図るため、その進捗状況を管理し、社会経済情勢の変化や国の制度改正などの状況変化に応じて、事業内容などを毎年度見直すことが必要となります。

そのため、成果を見極めるための成果指標等を設定し、「Plan（計画策定）—Do（実施）—Check（分析・評価）—Action（改革・改善）」といった、PDCAサイクルの手法を取り入れた進行管理を行い、施策や事業の成果を定期的に測定し、改善・効率化を図ります。



流山市総合計画実施計画より「計画の進行管理のイメージ」

(3) まちづくり報告書とは

本報告書は、総合計画の目指すまちのイメージの実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和2年度の決算見込みを踏まえて、総合計画の進捗状況の報告書として作成しています。

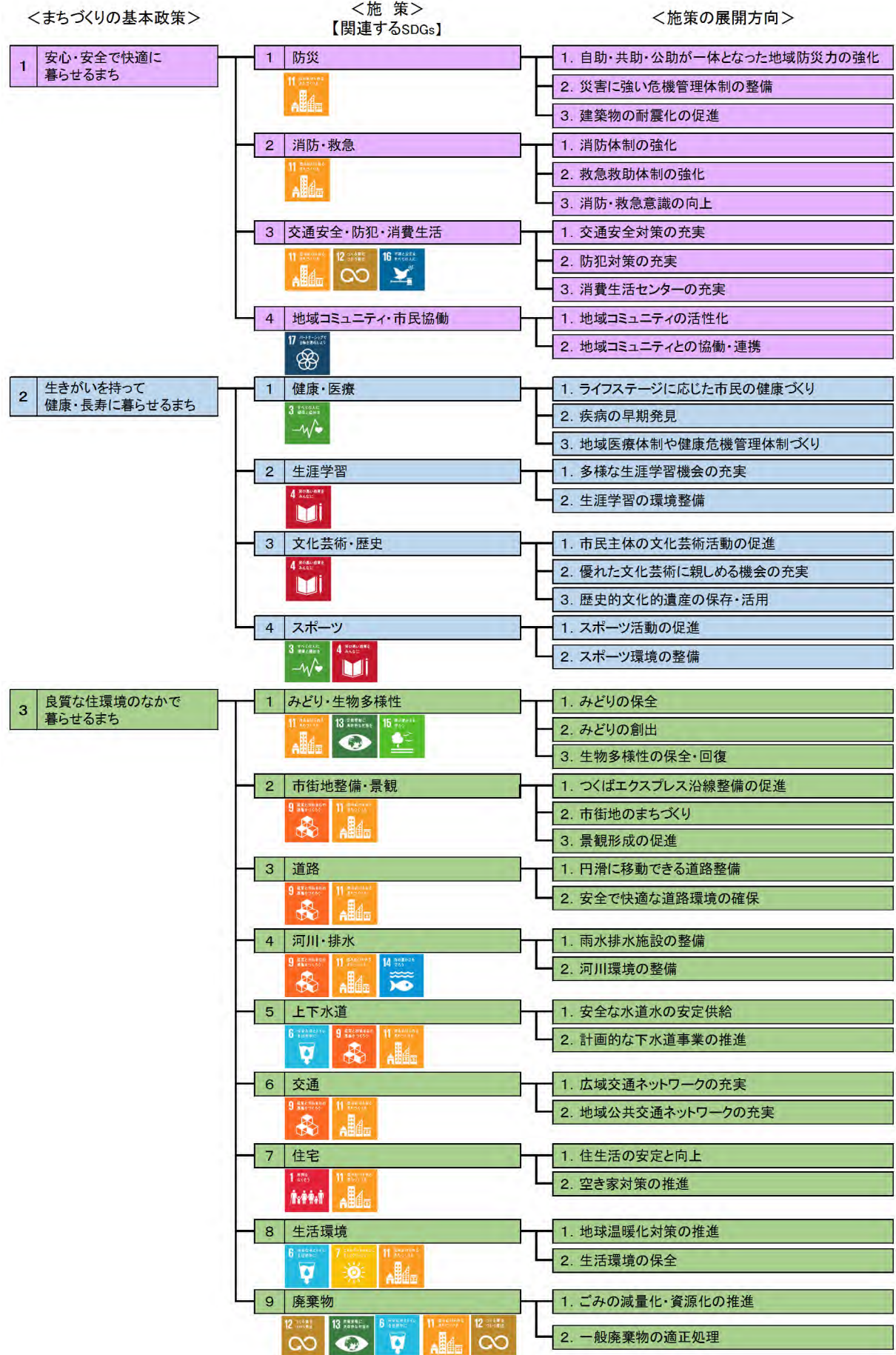
本市の行政評価は、施策、主要事業における成果指標の推移を踏まえたまちの状態指標の状況等を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況を明らかにしています。

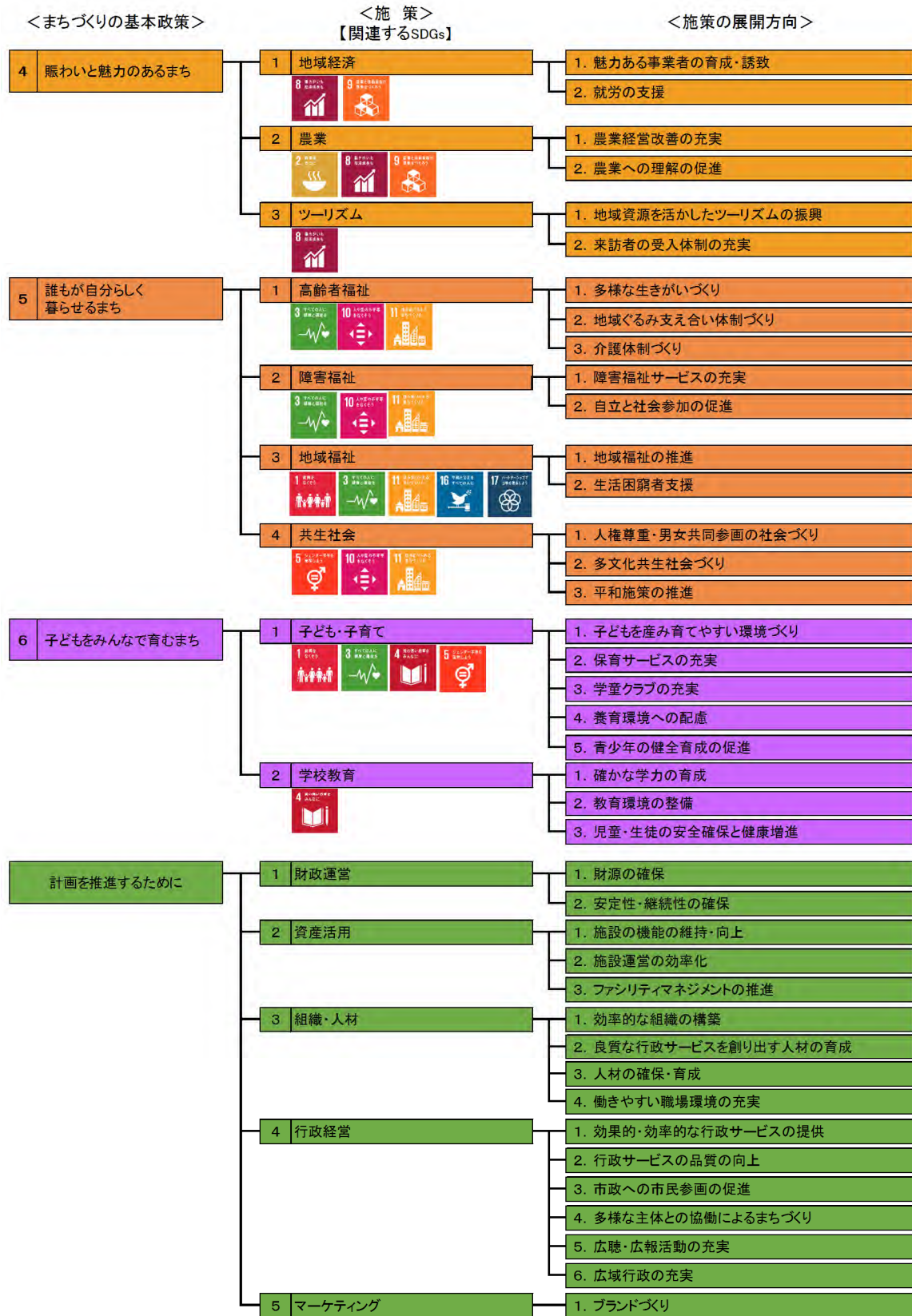
そうした行政評価を分析し、総合計画実施計画による中長期的な事業計画の見直しにより、総合計画の目標達成に向けた施策の推進と成果の向上を図ります。

また、経年変化を確認することにより、社会経済情勢の変化によるものかを見る目安となり、限られた経営資源の「選択と集中」及び事業活動の「改革と改善」への活用が期待できます。

「令和3年度版まちづくり報告書」については、令和2年度から計画期間がスタートした総合計画の進行管理の中で、令和2年度の実績に基づく分析・評価を総合計画の施策体系に紐づけて作成しています。

施策体系





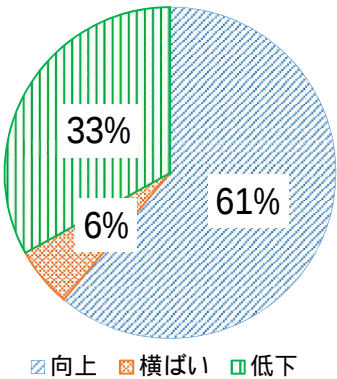
まちの経営動向

(1) 基本政策全体の達成動向

総合計画に基づく6つの基本政策の達成度について、26の施策の達成状況の指標となる60の「まちの状態指標」の実績値の推移を基に評価を行っています。総合計画策定時（計画策定時の数値は、P68「まちの状態指標」を参照。）と令和2年度を比較し、目指す方向への達成状況を「向上」「横ばい」「低下」の3段階で区分し、比較できない場合や、目指す方向を示さない場合などは「その他」と表記しています。

全政策では「向上」が全体の約61%となっており、総合計画は、概ね目標に向けて進んでいるといえます。

全政策の達成状況の割合



「その他」を除く。

各政策の達成状況については下表のとおりとなっており、「安心・安全で快適に暮らせるまち」、「生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち」、「良質な住環境のなかで暮らせるまち」で指標の向上している割合が多くなっています。

これは、警察や自主防犯団体など多様な主体との連携による交通安全・防犯対策や、特定保健指導の受診による疾病の予防・早期発見、つくばエクスプレス沿線地域の土地区画整理事業の進捗に合わせたみどりの保全・創出や景観に配慮したまちづくりを推進してきた結果が出てきたものとみています。

一方で、「誰もが自分らしく暮らせるまち」では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、低下となっている割合も多く、高齢者人口や要介護・要支援認定率が増加している中で、高齢者の相談体制の充実や、要介護状態になることを未然に防止するためにフレイル（虚弱）予防の啓発といった課題も見えてきました。

各施策の達成状況

()内は前年度の達成状況

基 本 政 策	向上	横ばい	低下	その他	計
安心・安全で快適に暮らせるまち	5 (6)	0 (0)	2 (2)	2 (1)	9
生きがいを持って健康・長寿に暮らせるまち	5 (5)	0 (1)	3 (3)	1 (0)	9
良質な住環境のなかで暮らせるまち	15 (11)	1 (0)	4 (8)	0 (1)	20
賑わいと魅力のあるまち	2 (4)	2 (1)	1 (1)	1 (0)	6
誰もが自分らしく暮らせるまち	1 (2)	0 (1)	4 (3)	5 (4)	10
子どもをみんなで育むまち	1 (4)	0 (0)	2 (0)	3 (2)	6
計	29 (32)	3 (3)	16 (17)	12 (8)	60
全体に占める割合 (%)	61 (61)	6 (6)	33 (33)		100

施策分野別評価表

[評価表の見方]

施策 防災

基本政策 安心・安全で快適に暮らせるまち

主管部局 市民生活部

施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える

</

総合計画の体系に基づき、該当の基本政策、施策、目的、主管部局及び関連するSDGs（ ）を示しています。

「持続可能な開発計画(Sustainable Development Goals)」のこと。持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。

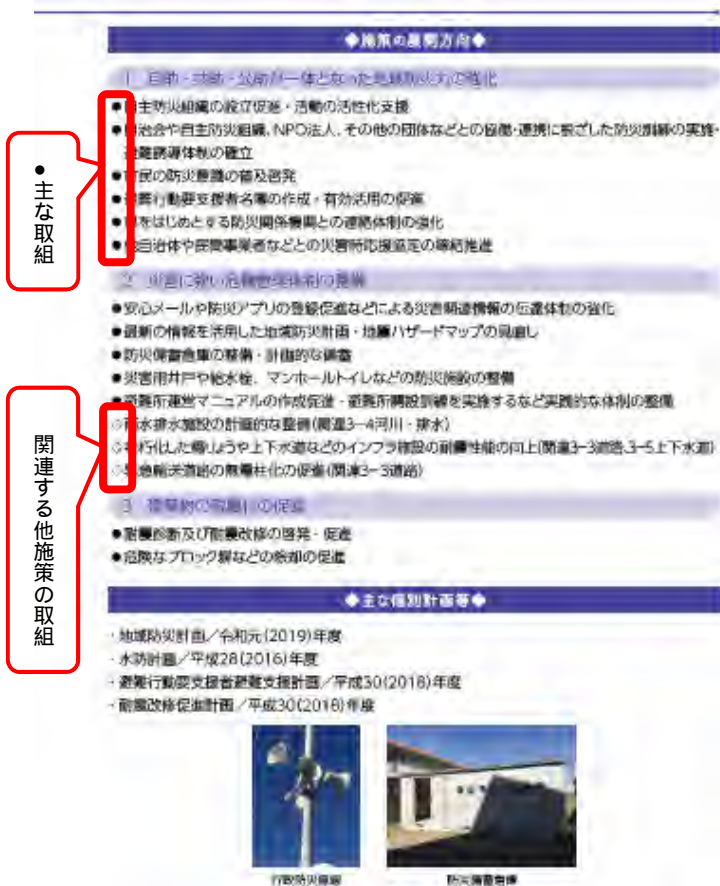
総合計画に定められた「まちの状態指標」を示すとともに、施策全体としての前年度の取組み、評価、改善点と、当年度の現状、課題、取組みについての総括を記載しています。

前年度及び当年度の実施計画における主要な事業を中心に、総合計画の体系に基づき、「施策の展開方向」ごとに、各事業の内容、取組みやコストの試算、指標に基づく評価を記載しています。

総合計画の「施策の展開方向」では、その配下に位置づけられる主な取組内容を「●」で示しています。また、当該施策に関連する他施策の主な取組内容を「○」で示しています。

本報告書では、主な取組に係る事業担当課を「主管課」、関連する他施策の取組に係る事業担当課を「関連課」として記載しています。

ただし、新型コロナウイルス感染症対策事業については、全庁的に取組を実施したことから、一部の事業担当課のみが表記されています。

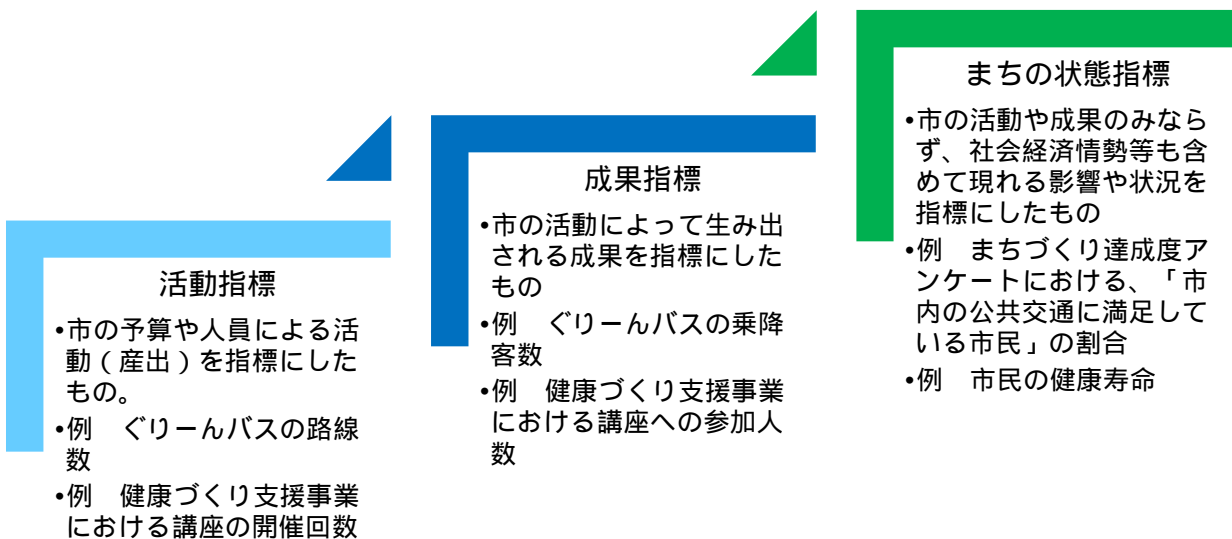


流山市総合計画基本構想・基本計画より「施策の展開方向」

指標について

行政評価は、個々の施策や事業の目的が何なのか、その目的を実現するために、どのような手段が妥当であり、成果に結びつくのかを評価し、市の未来につなげることが目的です。

これを可視化するために、指標を定め、その実績値や目標値を記載しています。施策レベルの指標は「まちの状態指標」、事業レベルの指標は、「活動指標」と「成果指標」に分類しており、それぞれ以下のような関係になっています。



主管部局
 市民生活部
 施策の目的
 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	水・食糧3日分を備蓄している市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	52.5	58.8	52.0	%	↑
自主防災組織の組織率	自主防災組織世帯数÷常住人口世帯数×100（10月1日時点）	61.7	66.1	69.2	%	↑

令和2年度 of 取組みと評価・改善点	令和3年度 of 現状・課題・取組み
・取組内容 自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化を図るとともに、災害に強い危機管理体制の整備を図ります。 また、新型コロナウイルス感染症等の感染症対策を講じた避難所運営を進めます。 ・評価 新型コロナウイルス禍という状況ではありましたが、自主防災組織では申請件数、金額とも前年度を上回ったほか、情報伝達に関するハード面での機能強化も図ったことで、危機管理体制の強化を行うことができました。 また、避難所の感染症対策に必要な資機材等の整備を進めました。 ・改善点 新たな自主防災組織の設立が無かったことから、啓発を進め、組織率の向上及び組織の活性化を図り、自助・共助・公助が一体となった地域防災力の向上を図る必要があります。	・現状 日本各地で想定を上回る自然災害が多く発生している中、避難所における新型コロナウイルス感染症対策などの新たな課題も発生し、これまで以上に行政だけによる対応「公助」の限界が指摘されています。 ・課題 大規模災害による被害を最小限に抑えるため、平時から自分の身は自分で守る「自助」と「自分たちの地域は自分たちで守る「共助」に根差した地域防災力の強化を図ることが必要です。 ・取組内容 情報伝達機能の強化や、自主防災組織補助金の交付対象の拡大（マンション管理組合を追加）、自助・共助・公助が一体となった地域防災力のさらなる強化を図ります

自助・共助・公助が一体となった地域防災力の強化
 主管課：防災危機管理課
 関連課：なし

自主防災組織活動促進事業		自主防災組織の活動を支援するため、資機材整備や防災訓練の実施、講演会の実施、研修会への参加など防災に要する経費の一部を補助します。 令和3年度から、マンション管理組合が組織する自主防災組織も対象とします。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
防災危機管理課	拡充	4,500		3,622	4,403	4,250	2,100	2,150
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
自主防災組織数（組織）	136	136	140	補助金を活用している自主防災組織数（組織）		63	71	75
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取組み				
自主防災組織数は横ばいとなっているため、自主防災組織の設立促進を継続していく必要があります。				令和3年度から新たにマンション管理組合が設立した自主防災組織を補助金対象に加え、地域防災力の向上を図っていきます。				

ハザードマップ作成事業		新市街地地区の土地区画整理事業の工事が完了したことで、地図についても大幅な変更があることから、地震ハザードマップを更新します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
防災危機管理課	新規	1,650		1,749	3,787	330	165	165
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
地震ハザードマップの作成部数(部)	-	27,000	300					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
地震ハザードマップを更新し23,000部を発行しました。また新たに指定された地区の土砂災害ハザードマップを4,000部作成しました。				新たな土砂災害警戒区域の指定が見込まれるため、該当地区のハザードマップを作成します。				

災害に強い危機管理体制の整備
 主管課：防災危機管理課
 関連課：河川課、上下水道局、道路管理課

災害時情報伝達手段整備事業	災害時に、市民等へ迅速かつ的確に災害情報等を伝えるため、防災行政無線や安心メール、Twitterなど複数の情報伝達手段に一齐に送信できるシステムを導入し、災害時の正確かつ円滑な情報伝達を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
防災危機管理課	拡充	79,971		81,455	1,262	16,108	14,426	1,682
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
防災行政無線同報系子局設置数(基)	79	79	-	防災行政無線同報系子局更新数(基)		-	30	-
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
老朽化した防災行政無線30基を更新し、長寿命化を行いました。				防災無線、安心メール、HPやTwitter等複数メディアに一齐配信できるシステムを導入します。				

全国瞬時警報システム（J－ALERT）整備事業		全国瞬時警報システム（Jアラート）と安心メールを連携することで、登録者にJアラートの情報を迅速に伝達し、市民等の安全確保を図ります。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
防災危機管理課	継続	1,584		1,463	316	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
システムの導入	-	導入	-					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
全国瞬時警報システム（Jアラート）と流山市安心メールが連携したことから伝達手段の多重化を図りました。				事業予定はありません。				

防災施設等整備事業		指定避難場所に、災害時に一時避難する被災者のための防災施設や防災備蓄倉庫を整備します。 令和3年度 【防災施設】 十太夫近隣公園（かまどベンチ、ソーラー照明、マンホールトイレ等） 【防災備蓄倉庫】 生涯学習センター、上下水道局						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
防災危機管理課	継続	4,443		4,785	2,525	31,787	27,802	3,985
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
かまどベンチ設置数累計（基）	21	25	29					
太陽光照明設置数（基）	11	13	15					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
令和2年度はおおたかの森駅南口（西初石近隣公園）にかまどベンチ4基、太陽光照明2基を整備しました。				令和3年度は十太夫近隣公園にかまどベンチ、太陽光照明、マンホールトイレ、災害用井戸の整備を行います。また流山市上下水道局、流山市生涯学習センターに防災備蓄倉庫を設置します。				

主管部局 市民生活部 施策の目的 自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える



災害に強い危機管理体制の整備				主管課：防災危機管理課				関連課：河川課、上下水道局、道路管理課			
公的備蓄整備事業		公的備蓄の整備を進めるため、計画的に食糧や防災資機材を整備します。									
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源		
防災危機管理課	継続	23,000		21,518	4,110		19,717	607	19,110		
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標		
防災備蓄倉庫設置件数(件)		35	38	41							
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み						
令和2年度は県立流山南高校流山市コミュニティプラザに防災備蓄倉庫を設置し、備蓄防災資機材を備蓄しました。					個食やアレルギー対応の備蓄食料や防災資機材を整備します。						
建築物の耐震化の促進				主管課：建築住宅課		関連課：なし					
耐震改修促進事業		住宅の耐震化の促進を図るため、昭和56年以前に建築された一戸建ての木造住宅等に対し、耐震診断・耐震改修費の一部を補助します。地震災害による、コンクリートブロック塀等の倒壊を防止するため、市内小学校の通学路沿いの危険なコンクリートブロック塀等に対し、除却費の一部を補助します。									
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源		
建築住宅課	継続	16,100		8,249	22,231		16,100	11,855	4,245		
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標		
無料耐震診断及び出張耐震相談件数(件)		14	16	20	耐震診断及び耐震改修補助件数(件)		20	21	50		
ブロック塀等所有者への啓発件数(件)		95	322	200	ブロック塀等除却補助件数(件)		15	5	40		
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み						
(取組) 令和2年度当初に定めた流山市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2020に基づき、耐震化のための啓発活動を行いました。ブロック塀等の除却については、補助制度の改正を行い、補助額の増額や対象の拡大をし、除却促進を図りました。					(現状) 耐震診断、改修事業については、ここ数年同程度の補助件数で推移し、目標達成には至っていません。ブロック塀除却事業については、補助制度の拡充や啓発件数を増やす等し、除却促進を図りましたが、目標達成には至っていません。						
(評価) 住宅の耐震診断及び改修については、補助件数はここ数年同程度で推移しています。ブロック塀等除却については、制度改正を行ったものの、補助件数が昨年度より大幅に減少しています。ブロック塀事故の発生した大阪北部地震から3年が経過し、地震に対する意識が低下しているものと思われます。					(課題) 耐震診断、改修補助事業については、これまでの広報誌を中心とした啓発方法に加え、新たな方法を検討する必要があります。ブロック塀除却事業については、除却の必要性について所有者等に対して十分に伝わっていない可能性があります。学校関係者とも連携を図り、それぞれの方面から除却の必要性について丁寧に説明していく必要があります。						
(改善点) ブロック塀等の除却については、所有者だけでなく、小学校関係者や地域住民等を含め、幅広く改修の必要性について理解を得られるよう、啓発の仕方の見直しをしていきます。					(取組み) 耐震診断、改修事業については、啓発活動の新たな取組みとして、戸別訪問を実施します。ブロック塀除却事業については、所有者等に対し、診断結果についてより丁寧な説明を行います。また、学校関係者へ情報共有を行い、連携を図っていきます。						
被災住宅修繕緊急支援事業		被災者の生活の安定と住宅の安全を確保するため、令和元年台風15号及び台風19号により被災した住宅の修繕費の一部を補助します。									
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源		
建築住宅課	新規	10,000		13,448	11,712		0	0	0		
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標		
					被災住宅修繕補助件数(件)		48	74	-		
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み						
(取組) 修繕費の一部の補助を行いました。令和3年2月末に事業を完了する予定であったため、対象者に対して申請漏れの無いよう、ダイレクトメールや広報等を活用して周知しました。					事業予定はありません。						
(評価) 被害を受けた方に対する必要な支援ができました。											
(改善点) 令和3年度以降の事業予定はありません。											

主管部局 消防本部 施策の目的 火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの出火件数	火災件数（1月～12月）÷人口（1月1日時点）×10,000	1.4	1.0	1.1	件	↓
救急出動件数	1月～12月（消防本部）	8,289	8,398	7,569	件	-

令和2年度 of 取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
消防団機械器具置場建設事業では、地域の防災拠点である消防団機械器具置場の建設及び消防団の統合により不要となった機械器具置場の取り壊しを行いました。 中央消防署移転事業では、設計業務委託についてプロポーザル方式により業者選定を行い、契約締結を完了したほか、5件の移転用地の購入契約を締結し、移転予定用地全体の21%の用地取得を行いました。残りの移転用地についても、早期に事業認定申請手続きを進め、地権者との円滑な協議のもと用地購入契約が締結できるように取り組む必要があります。 消防指令業務運用事業では、令和3年2月から新たに10市体制となる「ちば北西部消防指令センター」の運用開始に向け、機器の移行等の作業に取り組みました。この機器移行に伴い、電話回線やネットワーク回線を精査し、不要回線の廃止や統合を行いました。	防災拠点の要である中央消防署庁舎の移転について、事業認定申請や残りの移転用地購入を早期に完了させるほか、基本設計、実施設計、造成設計の作成及び開発協議に伴う各種申請手続きについて、計画的に進めていきます。 購入から15年が経過した水槽付き消防ポンプ車の更新整備を行います。なお、狭隘道路等への対応として車両のスリム化を行い、災害対応能力の向上を図ります。 高度救急医療への対応や更なる救命率の向上を図るため、救急救命士の養成及び救急隊員の育成に取り組む必要があることから、計画的に職員を研修所へ派遣します。 火災件数を減少させるため、防火思想の普及啓発活動の強化を図ります。

消防体制の強化 主管課：消防本部 関連課：なし

消防団機械器具置場建設事業				地域の防災拠点施設である消防団機械器具置場を建築から３０年を目安として、古い順に建て替え又は大規模改修等を行い消防力の充実に図ります。				
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
消防総務課	継続	26,598		22,858	21,040	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
消防団機械器具置場建設予定(件)	2	1	-	消防団機械器具置場建設実績(件)		2	1	-
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
第13分団機械器具置場を建て替え及び第9分団、第10分団の統合により、不要となった第9分団機械器具置場の取壊しを予定どおり実施しました。				令和3年度の事業はありません。				

消防指令業務運用事業		消防指令業務の効率化や円滑な広域応援体制を図るため、ちば北西部消防指令センター（当市ほか9市）の指令業務、Jアラート（予備機）及び消防救急デジタル無線の維持管理業務などを行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
消防防災課	継続	66,217		59,101	3,686	104,110	0	104,110
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
救急車の現場到着時間（平均現場到着時間）（分）	8	8	8	救急車の現場到着時間（平均現場到着時間）（分）		8	8	8
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
平成25年度より、当市のほか、松戸市、市川市、野田市、鎌ヶ谷市及び浦安市にて119番通報の受報業務等を行う消防指令センターを共同運用してきましたが、令和3年2月より、習志野市、柏市、八千代市及び我孫子市を加えた10市による新たな運用を開始しました。				10市消防指令センターの運用を開始したことから、新たに導入した機器の維持管理や操作習熟が課題となっております。				
10市による共同運用に伴い、同センターと連携する指令機器等の更新を行ったうえ、当市で契約している電話回線及びネットワーク回線を精査し、内線電話回線の見直しを行いました。				そのため、システム機器の機能や取扱い等について職員間で共有し、円滑な業務遂行に努めていきます。				

中央消防署移転事業		昭和49年に建設された現消防本部・中央消防署の庁舎移転を行い、防災拠点の強化及び庁舎の適正配置を図ります。 令和3年度 基本設計、実施設計、造成設計 令和4年度 実施設計、造成工事 令和5年度 建築工事						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
消防総務課	継続	9,086		5,340	5,898	87,252	81,800	5,452
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				移転用地取得状況(%)		0	21	100
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
消防庁舎の建設に当たり市民の意見を取り入れるため、パブリックコメント及び意見交換会を実施し流山市消防庁舎建設基本計画を作成しました。 中央消防署建設設計業務委託契約に係る優先交渉権者をプロポーザル方式により選定し、契約を締結しました。 また、5件の移転用地の購入契約を締結し、移転予定用地全体の約21パーセント（1071.70平方メートル）の用地を取得しました。 更に、用地購入に伴う事業認定申請及び基本設計の作成に取り組みしました。 今年度予定していた業務を概ね消化できたことは評価できるが、事業認定の申請手続きを完了することができなかったため、令和3年度早期に対応します。				令和2年度からの繰越業務である事業認定申請を実施し、残りの移転予定用地を購入します。 また、基本設計、実施設計、造成設計の作成に着手します。 更に、開発協議に伴う届出、申請等の必要な手続きについて計画的に進めます。				

消防車両整備事業		常備消防が運用する車両を消防車両等更新基準に基づき、更新整備します。 令和3年度 水槽付消防ポンプ自動車（北消防署）						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
消防防災課	継続	50,354		49,864	12,803	61,658	55,610	6,048
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
消防車両等新規購入台数（台）	1	2	1	消防車両等新規購入台数（台）		1	2	1
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
高規格救急車（北消防署）、資機材搬送車（東消防署）を更新整備しました。各車両の更新整備により各種災害対応への充実強化が図られました。				購入から15年を経過する北消防署の水槽付消防ポンプ車を更新整備します。狭隘道路等の対応に苦慮していた車両をスリム化し、小回りの利く車両へ変更することで対応能力の向上を図ります。				

主管部局 消防本部 施策の目的 火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る



救急救助体制の強化 主管課：消防本部 関連課：なし

救急救命士養成事業		救命率の向上を図るため、より高度な救命処置が施せる救急救命士の養成や救急救命士の前段となる救急隊員を養成します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
消防総務課	継続	6,129		3,079	1,403	8,759	0	8,759
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
救急救命士資格取得人数(人)	2	2	1	救急救命士人数(人)		31	29	30
千葉県消防学校救急科受講人数(人)	8	2	6					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
救急救命東京研修所に職員1名、救急救命士の前段となる千葉県消防学校救急科に職員2名を派遣しました。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、各研修所の受入れが一部中止となったことから、当初予定していた人数を派遣することができませんでした。 更なる救命率の向上や定期人事異動等に伴う救急隊員の入れ替えに対応するためにも、継続的、計画的に研修所等へ職員を派遣する必要があります。				高度救急医療への対応や更なる救命率の向上を図るため、救急救命士の配置は36名を目標としていますが、令和2年度末現在では29名であり、救命士の育成が急務となっています。 また、救命士の前段である救急隊員の育成も同時に取り組む必要があります。 令和3年度については、救急救命東京研修所へ3名、千葉県消防学校救急科に6名を派遣する予定です。				

消防・救急意識の向上 主管課：消防本部 関連課：なし

火災予防運動啓発事業	消防団による火災予防の広報や住宅防火指導等を積極的に実施し、出火の防止及び防火思想の普及啓発に努めるとともに、火災による被害の軽減を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
予防課	継続	4,745		5,116	5,610	4,745	0	4,745
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
防火診断実施件数(件)	154	0	160	年間火災発生件数(件)		20	22	20
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
火災件数の増加に伴う緊急広報パトロール及び火災予防運動期間中のパトロールについては火災予防に対して一定の効果があったと考えられますが、文化財防火デー消防訓練及び単身高齢者世帯への防火診断については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。 今後は状況を勘案しながら推進していきます。				火災予防運動及び歳末特別警戒の期間中に市内を巡視し、広報や啓発活動を行います。 また、昨年度は新型コロナウイルスの感染症拡大防止の観点より中止となった単身高齢者世帯への防火診断を11月から2月にかけて実施します。 年間の火災件数は他市と比較しても少ない状況ですが、火災による死傷者が発生していることから、今後も火災の抑制に繋がる効果的な広報や啓発活動を行います。				

主管部局
 市民生活部
 施策の目的
 交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
人口1万人当たりの交通事故発生件数	交通事故統計ちば（千葉県警察本部）	27.3	24.3	17.2	件	↓
人口1万人当たりの犯罪発生件数	人口1万人当たりの犯罪発生件数（1月～12月）（千葉県警察本部）	61.2	53.3	49.3	件	↓
消費生活相談件数	消費生活センターに寄せられた相談件数（消費生活センター）	2,009	1,734	1,489	件	—

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の実績・課題・取組み
・自主防犯団体への活動支援、安心メールの配信・登録推進、公道等への防犯カメラの新規等設置、業務で市内を巡回する事業者と警察との防犯協定締結など、様々な取組みの相乗効果により地域防犯力が向上し、刑法犯認知件数は減少しています。 ・地域の自治会のご協力をいただき防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行うことができました。 ・窓口及び電話にて消費生活に係る苦情・相談を受け、専門相談員が助言・斡旋し、被害回復・未然防止に努めました。	・自主防犯パトロール隊及び市民安全パトロール隊への活動備品貸与、安心メールの配信・登録推進、公道等への防犯カメラ新規設置及び自治会設置への補助事業、防犯協定締結の推進を図ります。 ・地域の自治会のご協力をいただきながら防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行います。 ・消費生活に係る苦情・相談を受け付け、専門相談員による助言や斡旋を行い、被害の回復・未然防止に努めます。民法改正やキャッシュレス化等、消費者を取り巻く状況の変化にいち早く対応し、適切なアドバイスができるようスキルアップのための研修に積極的に参加していきます。また、令和4年、成年年齢の引き下げに伴う啓発も行うよう努めます。さらにホームページ等を活用し消費生活センターの周知を図ります。

交通安全対策の充実	主管課：道路管理課	関連課：道路建設課
-----------	-----------	-----------

交通安全施設整備事業	交通事故が多発している道路、その他緊急に交通安全を確保する必要がある道路について、交通安全施設を整備して環境の改善を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
道路管理課	継続	64,500		64,486	17,532	63,529	13,000	50,529
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
情報処理件数(件)	347	149	300	人身事故発生件数(件)		473	343	450
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
市道の安全確保のため、区画線、車止め、ガードレール、道路反射鏡等、交通安全施設の設置及び補修に努めました。また、地元要望や小中学校開校に伴う安全対策として、警察に対し各種規制や信号機の設置要望等を行いました。 その結果、市内の人口や道路延長が増加する中、人身事故件数は減少しました。				交通事故件数や道路の状況等、継続した道路の現状把握が課題となります。市民の皆様からの情報提供のほか、職員による道路パトロールの強化及び交通管理者である警察との連携強化により、市内道路の危険箇所等現状把握に努めます。				

防犯対策の充実	主管課：コミュニティ課	関連課：なし
---------	-------------	--------

安心安全支援事業		防犯カメラの設置や安心メールの配信、市民等による防犯活動の支援を実施し、安心安全な市民生活を推進します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
コミュニティ課	継続	19,298		17,226	8,806	19,023	7,250	11,773
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)	72	72	75	刑法犯認知件数(件)		1,039	986	950
流山市民安全パトロール隊隊員数(人)	34	31	31	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)		60.4	60.2	61.0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の実績・課題・取組み				
自主防犯パトロール隊及び市民安全パトロール隊への活動備品貸与、犯罪発生情報等の安心メール配信及び登録推進、公道等への防犯カメラの新規等設置、業務で市内を循環する事業者と警察との防犯協定の締結など、様々な取組みの相乗効果により地域防犯力が向上し、防犯発生件数は減少しています。				自主防犯パトロール隊及び市民安全パトロール隊への活動備品貸与、犯罪発生情報等の安心メール配信及び登録推進、公道等への防犯カメラの新規設置、防犯協定締結の推進を図り、市民が安心・安全で快適に暮らせるまちづくりを推進します。				

LED防犯灯一括整備・管理事業	LEDに交換した防犯灯の維持管理及び新規設置を省エネルギーサービス（ESCO）により実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
コミュニティ課	継続	33,843		33,781	8,806	33,809	0	33,809
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
新規設置防犯灯数(灯)	345	380	400	刑法犯認知件数(件)		1,039	986	950
管理防犯灯数(灯)	17,455	17,925	18,000	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)		60.4	60.2	61.0
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
防犯灯の新規設置及び維持管理には地域の自治会の協力が不可欠です。各自治会へ防犯灯の新規設置及び不具合の際の連絡方法等を記載した防犯灯マニュアルを作成・配布し、各自治会のご協力のもと防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行うことができました。				防犯灯マニュアルに基づき自治会のご協力をいただきながら防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行います。				

消費生活センターの充実	主管課：コミュニティ課	関連課：なし
-------------	-------------	--------

消費者情報提供事業		専門の相談員を配置し、被害に遭った消費者の救済や、トラブルを未然に防ぐための相談対応、情報提供を行います。また、令和4年4月から成年年齢引下げを控え、啓発強化を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
コミュニティ課	継続	17,957		15,534	21,088	17,754	190	17,564
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
相談件数(件)	1,734	1,489	1,400	相談により問題解決された割合(年度末時点)(%)		98.96	98.32	99.50
令和2年度の実組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
消費生活センターにおいて、来庁または電話による消費生活に係る苦情・相談を受け付け、専門相談員が助言や斡旋し、被害の回復及び未然防止に努め、消費者の安心・安全を推進することができました。またコロナ禍において新型コロナウイルスに関する相談についても対応することができました。消費生活相談を受けられる消費生活センターの更なる周知が必要と考えます。				消費生活に係る苦情・相談を受け付け、専門相談員による助言や斡旋を行い、被害の回復・未然防止に努めます。民法改正やキャッシュレス化等、消費者を取り巻く状況の変化にいち早く対応し、適切なアドバイスができるようスキルアップのための研修に積極的に参加していきます。また、令和4年、成年年齢の引き下げに伴う啓発も行うよう努めます。さらにホームページ等を活用し消費生活センターの周知を図ります。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局
 市民生活部
 施策の目的
 地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
自治会への加入率	自治会加入世帯数÷常住人口世帯数×100 ※10月1日時点（コミュニティ課）	66.28	64.39	63.03	%	↑
市民活動団体の数	市民活動推進センター登録団体数＋ NPO 法人数－重複団体数 （コミュニティ課）	180	204	229	団体	↑

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
・地域コミュニティの核である自治会の活動拠点となる自治会館の維持管理及び大規模修繕、並びに自治会館を新設する自治会に経費の一部補助を行うとともに、行政文書等の回覧等を行う自治会に交付金を交付し、自治会の円滑な運営に寄与することができました。 ・新型コロナウイルス感染症の状況下においても、自治会が抱える諸課題の抽出の為のアンケートの実施や各種会議でWe b会議システムを活用するなど新しい方法で事業の執行に取組みました。 ・市民活動団体の活動・支援拠点である市民活動推進センターの運営についてはコロナ禍における市民活動の在り方を検討するパネルディスカッションを開催するなど、市民活動の推進を図ることができました。 ・地域の課題解決に取り組む市民活動団体が行う公益事業に要する費用の一部補助を行い、協働によるまちづくりを推進しました。	・自治会館の維持管理及び大規模修繕、並びに自治会館を新設する自治会に経費の一部補助、行政文書等の回覧等を行う自治会に交付金を交付し、自治会の円滑な運営ができるよう支援します。 ・行政情報を自治会に伝えるための方法の一つとして地域SNSの導入を検討します。 ・市民活動推進センターを運営し、市民活動団体の活動を支援します。また、令和4年度からの運営業務委託先をプロポーザル方式にて選定します ・市民活動団体が行う公益事業に要する費用の一部補助を行うとともに協働まちづくり提案調整会議からの提言等に基づく新たな補助金制度の導入に取り組みます。

地域コミュニティの活性化	主管課：コミュニティ課	関連課：なし
--------------	-------------	--------

自治会活動助成事業	自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の維持管理に要する経費の一部に対し補助金を交付します。 また、活動活性化に資する講座を開催するなど活動を支援します。 令和3年度 前々崎みどり自治会他5自治会（大規模修繕）								
	星和江戸川台自治会他1自治会（冷暖房機器設置）								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	コミュニティ課	継続	25,279		24,551	9,703	26,599	2,672	23,927
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
自治会懇談会開催回数（回）	1	0	1	自治会加入率（％）		64.39	63.03	66.00	
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
自治会館の維持管理及び大規模修繕に要する経費の一部補助を行い、また行政文書等の回覧等を行う自治会に交付金を交付し、自治会の円滑な運営に寄与することができたと認識しています。 また新型コロナウイルス感染症予防の観点から、例年実施している新任自治会長説明会などのイベントの実施はできなかったものの、自治会への行政情報の伝達方法等を検討するためのアンケートを実施し、自治会が抱えている諸課題の一端を把握し、今後事業を推進していく上での貴重な結果を得ることができました。（アンケート調査対象180自治会、回答数136自治会、回答率76％）				自治会館の維持管理及び大規模修繕に要する経費の一部補助を行うと共に行政文書等の回覧等を行う自治会に交付金を交付し、自治会の円滑な運営ができるよう支援します。 また、自治会への行政情報の伝達方法について地域SNS等の導入を視野に、先進市への取り組み事例を研究します。					

自治会館建設費補助事業		自治会の円滑な運営のために、活動の拠点となる自治会館の建設（新築・増築）に要する経費の一部に対し補助金を交付し、活動を支援します。 令和3年度 若葉台自治会館（新築） 美原自治会館（新築）						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
コミュニティ課	継続	10,700		10,700	3,507	18,300	6,500	11,800
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
自治会館建設補助申請件数（件）	1	2	2	自治会加入率（％）		64.39	63.03	66.00
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新たに自治会館を建設する自治会及び増築を行う自治会に経費の一部補助を行い、自治会の円滑な運営に寄与することが出来たとの認識をしています。 昨年度の改善点であった年度末以前に工事を完了させることについても達成ができています。				令和2年度に要望のあった、若葉台自治会及び美原自治会に対し新たに自治会館を建設する際の経費の一部を補助し、自治会の円滑な運営が出来るよう支援します。				

地域コミュニティとの協働・連携	主管課：コミュニティ課	関連課：なし
-----------------	-------------	--------

NPO活動推進事業		市民活動団体による公益的な活動を支援するため、活動・支援拠点である市民活動推進センターの運営や各団体が行う公益事業に対し補助金を交付し、協働によるまちづくりを推進します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
コミュニティ課	継続	15,059		13,555	7,596	14,218	729	13,489
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
流山市民活動推進センター施設利用者数(人)	24,723	10,696	12,000	市民活動推進センター登録団体数(団体)		196	198	210
				市民活動団体公益事業補助金交付事業件数(事業)		4	3	3
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染症の拡大状況に伴う政府発令の緊急事態宣言に鑑み、市民活動公益事業補助金については当初中止することも検討されましたが、協働まちづくり提案調整会議の見解も踏まえ、下半期を交付対象期間とし新たなスケジュールで審査から交付決定を行うこととなったことや、協働まちづくり提案調整会議の開催方法についてZ o o mを活用したW e b会議システムで行うなど新たな取組を模索する年度となりました。 また、市民活動推進センターにおいてもコロナ禍における市民活動の在り方を話し合う会議を開催し同内容を動画配信するなど市民活動活性化のきっかけ作りの強化も図れたことも良かったように思います。				市民活動公益事業補助金については、設立間もない団体への支援を図るため補助上限額を10万円程度とした新しい枠組みを策定していくことを念頭に交付要綱の改正を行い令和4年度の制度運用から反映させていく予定です。 また、市民活動推進センターについては業務委託期間の最終年度であることから令和4年度からの委託先選定に際しプロポーザル方式で取り組んでいきます。				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
健康寿命(平均自立期間)	日常生活動作が自立している期間の平均 (千葉県健康福祉部資料) ※1 数値は2015(H27)年、2016年(H28)、上段:65歳男性、下段:65歳女性	18.55 20.46(※1)	18.69 20.64(※1)	随時公表	年	↑
生活習慣病による死亡者数の割合	死亡者数全体のうち、悪性新生物(がん)、心疾患(高血圧性を除く)、脳血管疾患、高血圧性疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、糖尿病による死亡者数の占める割合(千葉県衛生統計年報)※2 数値は2017(H29)年、2018(H30)年、2019(R1)年	56.3(※2)	55.0(※2)	55.9(※2)	%	↓
一般診療所の数	千葉県衛生統計年報 ※3 数値は2017(H29)年、2018(H30)年、2019(R1)年	95(※3)	102(※3)	103(※3)	-	↑

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、中止や延期になった事業はありましたが、感染予防に留意しながらできる限り事業を実施し、市民の健康づくりに寄与できるように努めました。 特に特定保健指導は令和元年度から、医療機関だけでなく健康増進課の保健師・栄養士による保健指導を開始したことにより受診率が向上し、自らの健康を考える市民の育成につながっていると考えます。 今後も引き続き感染状況を鑑みながら、事業が継続できるように考えてまいります。	新型コロナウイルス感染症の感染が续くなかで、健診や受診を控える、家での時間が長くなることによる体力の低下等、健康の維持に対するリスクは高くなっています。 市民の健康の維持・増進のためには、健診等保健事業を継続させていくことが必要と考えます。 今年度は特定健診の無料化もあり、感染予防に配慮しながら、市民が健康について自ら意識を取り組みやすい環境づくりを考えながら事業を組み立てていきます。 また、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のために、ワクチンの接種体制を構築し、接種率向上を目指します。

ライフステージに応じた市民の健康づくり 主管課: 健康増進課、企画政策課 関連課: なし

母子健康診査事業		母子保健法に基づき、母子の健康の保持増進を目的とし、妊婦、3～6か月児、9～11か月児、3か月児、1歳6か月児、3歳児を対象に、妊婦・乳児一般健康診査、3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査を実施します。 令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症発生状況に応じて、健診の一部を個別委託し実施します。 また、令和3年度から新生児聴覚スクリーニング検査を実施します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	拡充	324,197		280,457	97,010	346,235	11,092	335,143
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
妊婦一般健診受診率(%)	98.6	89.0	95.0	1歳6か月児、3歳児健診受診率(%)		97.4	95.4	98.0
3か月児、1歳6か月児、3歳児健診発送数(通)	6,287	6,752	7,100	3か月児健診受診率(%)		95.7	99.4	99.0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染拡大を予防し、適切な対象月齢で安心安全に1歳6か月児・3歳児健康診査を受けられるよう、保健センターで行っていた集団健診から、市内協力医療機関で受診する個別健診を含めた内容に変更しました。3歳児健康診査においては、新規検査項目のスポットビジョンスクリーナーを用いた眼の屈折検査を導入しました。				令和3年度についても引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大を予防し、適切な対象月齢で安心安全に1歳6か月児・3歳児健康診査を受けられるよう、健診方法を検討し、実施していきます。				
新型コロナウイルス感染拡大を予防しながら健診を実施する必要があるため、健診方法を早急に変更し、適切な対象月齢で安心安全に健診を実施することができました。				また、未受診者への受診勧奨の方法を再検討し、通知と訪問の内容や時期について、検討を行い、引き続き受診率向上及び全数把握に努めます。				
1歳6か月・3歳児健康診査において実施方法を変更しましたが、受診率の低下が見られるため、未受診者への受診勧奨及び訪問を行い、引き続き受診率向上及び全数把握に努めます。				また、今年度から新生児聴覚検査を実施します。				

健康づくり支援事業		第2次健康づくり支援計画（令和2～11年度）に基づき、乳幼児期から高齢期までのすべての市民を対象とした健康づくりを推進します。ヘルスアップ教室や健康づくり推進員活動、市民健康まつり、健康チェックコーナー等を通じて、健康的な生活習慣を身につけるための機会の提供や健康情報の普及啓発、受動喫煙防止等のたばこ対策、保育所や学校等と連携した食育の推進などを行います。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	継続	4,035			2,315	1,403	4,453	1,020	3,433
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
ヘルスアップ教室開催回数（回）	90	50	90	ヘルスアップ教室参加者（人）			287	114	320
				市民健康まつり参加者数（人）			947	-	-
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
・（取組） 新型コロナウイルス感染症の流行により事業の一部を中止としましたが、家庭でもできる健康づくりにヘルスアップ教室や健康づくり推進員活動の中で取り組みました。 ・（評価） 新型コロナウイルス感染症の影響で市民が運動不足等により健康不安が高まる中、健康づくり推進員がこれまでの栄養講座で蓄積されてきたレシピ集を編集するなど、工夫ある活動が見られました。 ・（改善点） 感染症流行の長期化による健康づくり活動の低下が懸念されます。健康づくり活動が感染症の流行下でも継続されるよう、工夫ある活動の継続が必要です。				・（現状と課題） 新型コロナウイルス感染症の流行により、市民の健康不安が高まっているほか、これまでとは異なる方法での健康づくり活動を検討し、実施していく必要があります。 ・（取組） 特定保健指導の対象となっている市民等をヘルスアップ教室につなげるなど、他事業との連携を図るなどして、市民の健康不安解消につなげていきます。					

主管部局 健康福祉部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



疾病の早期発見 主管課：健康増進課、保険年金課 関連課：なし

成人集団検診予約システム導入事業	成人集団検診に予約システムを導入し、２４時間検診の空き状況を確認しながらインターネット予約することで、人数制限による密集を避けた安心安全な集団検診の場を提供します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	新規	0		0	0	671	0	671
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
集団検診登録者数（人）	-	-	29,600	集団検診登録者数に対する予約者数の割合（％）		-	-	70
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				従来の成人集団検診は、検診実施期間中はどの会場でも予約無しで受診することが可能であったため、会場によっては早朝から行列や混雑が生じることが課題でした。令和３年度から新型コロナウイルス感染症対策として、会場ごとに受診人数を管理し、密集を避けた安心安全な検診運営に必要な予約システムを導入します。また、インターネットで予約ができない受診者には、検診専用ダイヤルで予約を受け付けます。受診者自ら検診予約をすることで健康への関心が高まり、受診率の向上が期待されます。				

予防接種事業	感染症の発生及び蔓延を予防するための予防接種を行い、感染症による疾病の予防及び公衆衛生の向上を図ります。令和３年度まで、風しんの抗体保有率の低い昭和３７年４月２日から昭和５４年４月１日までに生まれた男性に対し抗体検査を行い、抗体価の低かった方に対し定期予防接種を行う、風しん第５期予防接種を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	継続	657,336		696,951	29,415	658,177	7,051	651,126
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
接種率(A類：麻しん風しん1期)(%)	94.4	99.8	95.0	接種率(B類：高齢者インフルエンザ)(%)		46.5	64.2	46.5
接種率(A類：麻しん風しん2期)(%)	97.4	97.7	95.0					
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
予防接種法の改正に伴い、令和２年１０月１日よりロタウイルスワクチンの定期予防接種が開始となり、接種率の向上および適切に接種ができるよう市民周知を行いました。また、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されたため、新型コロナウイルス感染症のハイリスク群である定期接種対象者の自己負担金を免除することにより接種率の向上を図りました。また、市内で予防接種を受けることができない事情のある子ども及び高齢者が県外で接種をする際、医療機関と契約を行い接種を実施していましたが、契約に時間がかかったり、契約に至らないこともあり、簡易かつ迅速に定期接種ができるように償還払いの制度を構築しました。				令和３年度は風しん等５期定期接種事業の時限措置が最後の年になります。引き続き、未受診者への新規クーポン券の発行や、転入者への通知を行います。風しん抗体検査を含めた、定期接種の安全で適切な実施に努め、新型コロナウイルス感染症の状況に関わらず、予防接種は不要不急にあたらないという周知をふくめ、対象者への周知と接種率の向上を図ります。				

健康増進事業	健康増進法に基づき、健康に関する知識の向上、生活習慣の改善を図り、疾病の早期発見・早期治療のための健康診査や各種がん検診を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	継続	332,509		222,180	43,403	363,242	16,060	347,182
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
がん検診精密検査受診率(精検受診者/要精検者)(%)	72.4	51.5	87.9	がん検診精密検査未把握率(%)		14.8	17.1	13.0
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
特定健診対象者ががん検診申し込みはがきを同封し、がん検診について周知を行なったことにより、申込を多数頂きました。しかしながら、令和２年度は新型コロナウイルス感染症の感染リスクの不安等により受診を控えた方もいたため、令和３年度も受診票を送付し、検診の機会を設ける様にします。それに伴い、対象者の増加が見込まれることから、令和３年度の検診日数を増やしています。また、集団検診においては、検診会場で密にならないよう、がん集団検診を完全予約制とし、１日に受診できる人数を設けて実施しました。今後も完全予約制にて実施するために、令和３年度からがん集団検診は予約システムを導入しています。				令和３年度から検診予約システムを導入し、全てのがん集団検診を完全予約制とします。システムで予約管理を行うことにより、検診に来場する人数を予め把握し、密集を避け、安心安全な検診の場を提供し、検診を控えていた方を受診に繋げていきます。また、令和２年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問による受診勧奨が実施できなかったため、令和３年度は訪問指導を実施し、特に精密検査未受診者に対する受診勧奨ができる様、検討していきます。				

特定健康診査等事業	国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査や特定保健指導を実施します。生活習慣病の予防を図るため、流山市国民健康保険データヘルス計画に基づき、令和２年度から開始した糖尿病性腎症重症化予防プログラムの対象者への更なる周知やAⅠによる特定健診受診勧奨を実施し、被保険者の健康と医療費の適正化を目指します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	継続	143,809		115,773	28,572	149,596	149,596	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
AI分析による特定健診受診勧奨通知(件)	26,145	0	23,880	特定健診受診率(%)		51.7	R3年11月頃確定	54.0
特定保健指導利用勧奨訪問数(件)	161	令和3年7月頃確定	350	特定保健指導利用率(%)		12.8	R3年11月頃確定	40.0
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・特定健康診査については、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施期間の変更・延長をすることで、受診者が実施医療機関に密集しないように感染症対策を講じて実施しました。 ・特定健康診査は、40から50歳代の受診率が著しく低い状況であることから、令和3年度においては、AIによる受診勧奨をし、健診未受診者が適切に受診し、健康の維持増進ができるよう努めます。 ・特定保健指導は、令和2年度は医療機関による受診勧奨の強化で、健康増進課の保健師・栄養士による保健指導を開始したことにより、受診率が向上しました。40～50歳代の若い世代への接触が難しく受診率の向上が課題となっています。 ・「流山市糖尿病性腎症重症化予防プログラム」は新規事業のため記載なし。				・特定健康診査の未受診者へAIによる受診勧奨を行い、より効果的な通知内容や対象者抽出方法等を検討していきます。 ・特定健康診査については、受診率の向上を図っていくため、受診行動の阻害要因となる健診費用を無償化することで、被保険者の疾病予防、健康づくり及び医療費の抑制に努めていきます。また、特定健康診査の無償化により受診者数が増加すると見込み、実施医療機関に受診者が密集しないよう、引き続き実施期間を延長して実施します。 ・保健指導に関して、医療機関からの受診勧奨や保健指導の実施等、更なる協力を得られるような体制づくりに努めます。また、これまでの訪問や電話による保健指導の結果・経験を基により若い世代の受診率を向上させるため、訪問方法の見直し・改善を図ります。				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課 関連課：なし

新型コロナウイルス感染症対策事業（情報政策・改革改善課）	テレワーク中においても職場と同等の環境で業務ができるように構築したネットワーク環境を、緊急時にも直ちに活用できるように引き続き維持します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
情報政策・改革改善課	継続	0		15,527	2,104	5,746	0	5,746
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
利用可能テレワーク用パソコン台数(台)	-	50	50	テレワーク用パソコン利用依頼に対する充足割合(%)		-	100	100
オンライン会議用有料アカウント数(アカウント)	-	10	10	オンライン会議用アカウント利用依頼に対する充足割合(%)		-	100	100
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
テレワーク用パソコンを調達するとともに、閉域ネットワークを利用して庁内ネットワークに接続できる環境を構築しました。 オンライン会議用の有償アカウントを取得し、会議や市民相談、研修等に活用しました。				引き続き、テレワーク用パソコン及びネットワーク環境を維持管理していきます。 テレワーク用パソコンの平時の活用について検討していきます。				

新型コロナウイルス感染症対策事業（商工振興課）	セーフティネット信用保証制度4号認定付きの市制度融資を受けた市内事業者に対し、融資に係る利子及び信用保証料を全額補助します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
商工振興課	継続	0		406,000	23,430	264,787	200,000	64,787
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				融資件数(件)		-	165	30
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・セーフティネット4号認定付きの融資について、利子及び信用保証料の全額補給を行いました。 ・緊急事態宣言の期間延長により、営業収入が確保できない中小企業者等のテナント店舗の賃料減免に応じた賃貸人に対し、4月7日から5月31日までの間に発生した賃料の減免額の80%相当額、1契約につき1か月あたり50万円を限度に助成しました。				・昨年度に融資決定したセーフティネット4号認定付きの融資について、利子及び信用保証料の全額補給を行います。 ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響は引き続き残るものの、昨年度多くの事業者が資金融資を利用していることから、今年度は融資件数が減少することが見込まれますが、状況に応じた支援を実施します。				

新型コロナウイルス感染症対策事業（指導課）	新型コロナウイルス感染症対策として、教育企画研究室やフレンドステーションで使用する継続的に必要な消毒用アルコールなどの保健用消耗品を購入します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	0		5,528	701	171	0	171
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
予算執行率（％）	-	100.0	100.0					
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染症対策として、フレンドステーションに通級する児童生徒や教育相談のために来室する保護者の感染症拡大防止のため、消毒用アルコールなどの保健用消耗品を購入しました。				昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として、教育企画研究室やフレンドステーションで使用する継続的に必要な消毒用アルコールなどの保健用消耗品を購入します。				

新型コロナウイルス感染症対策事業（学校教育課 保健衛生分）	新型コロナウイルス感染症対策用として、市内公立小学校及び中学校で使用する継続的に必要な消毒用アルコールなどの保健用物資を購入します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	継続	0		34,548	1,761	29,495	14,740	14,755
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
予算執行率(%)	-	99.9%	100.0%	学校内クラスター発件数(件)		-	0	0
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染症対策用として、市内公立小学校及び中学校で使用する継続的に必要な消毒用アルコールなどの保健用物資を購入しました。				新型コロナウイルス感染症対策用として、市内公立小学校及び中学校で使用する継続的に必要な消毒用アルコールなどの保健用物資を購入します。				

新型コロナウイルス感染症対策事業（健康増進課）	流山市PCR検査センターの設置・運営により新型コロナウイルス感染症の検査体制の確保を図ります。また、流山市新型コロナウイルス感染症対策医療提供促進交付金の交付により、市内の医療機関での新型コロナウイルス感染症患者（疑い含む）の入院受入及び検査体制の促進を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	継続	0		351,118	30,720	120,747	16,448	104,299
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
新型コロナウイルス相談専用ダイヤルへの問い合わせ件数（件）	417	6,056	-	市内居住者新型コロナウイルス感染者（人）		2	890	0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
流山市PCR検査センターの設置・運営、感染者発生高齢者施設等において濃厚接触者に該当しなかった方へのPCR検査の実施及び医療機関への流山市新型コロナウイルス感染症対策医療提供促進交付金交付を通じ、市内医療提供体制の充実をはかりました。				・（現状と課題） 市民等の間で新型コロナウイルス感染症の流行が治まっておらず、引き続き、市民等の安心・安全に資するため柔軟な施策展開が必要な状況。 ・（取組） 感染症の流行状況により国や県が展開する施策を注視し、市民等の安心・安全のため必要な施策に機動的に取り組んでいく。				

新型コロナウイルス感染症対策事業（健康増進課　ワクチン接種分）	流山市医師会の協力のもと、新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	継続	0		0	0	865,496	865,496	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				流山市医師会の御協力のもと、希望する方が速やかに接種できるよう、情報と接種機会を提供します。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 健康福祉部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



地域医療体制や健康危機管理体制づくり 主管課：健康増進課、消防防災課 関連課：なし

新型コロナウイルス感染症対策事業（高齢者支援課 高齢者施設分）	新型コロナウイルス感染症対策のため、市内のサービス付き高齢者向け住宅等を対象に居室に簡易陰圧装置を設置する際に、県の地域医療介護総合確保基金を活用し補助します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費（目安）	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	新規	0		0	0	8,640	8,640	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標（予定）	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
設置台数（台）	-	-	1					
令和2年度の実組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				（現状と課題） 新型コロナウイルス感染拡大による、市内高齢者施設内でのクラスターの発生が危惧されます。 （取組） 国又は県からの補助金を活用し、サービス付き高齢者向け住宅等の施設を対象に、簡易陰圧装置の設置について補助し、コロナ禍における市内高齢者施設の住環境及び安全性の向上を図ります。 （取組内容） 陰圧装置を設置することで施設内でのクラスター発生を抑えるとともに、入居者の安全性と快適な生活を送ることができます。				

新型コロナウイルス感染症対策事業（中央消防署）	新型コロナウイルス感染症の陽性傷病者を取り扱った職員の二次感染によるクラスターの発生防止と、職員の不安及びストレスを取り除くためにPCR検査を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
中央消防署	継続	0		4,830	701	792	0	792
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
PCR検査実施率（％）	-	100	-					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
令和2年度は、新型コロナウイルス陽性傷病者の増加に伴い、職員の不安及びストレスを取り除くため急速検査を実施し、職場内クラスター発生の防止に努めました。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大が収束するまで、継続していきます。				新型コロナウイルス感染症の陽性傷病者を取り扱った職員を数日間経過観察をしたのちにPCR検査を実施し、職場内のクラスター発生防止と職員の不安及びストレスを取り除きます。				

保健センター施設整備事業	母子や成人の健（検）診、健康相談・教室等の各種保健事業のほか、平日夜間・休日診療所を併設し、地域保健の拠点としての機能を担う保健センター（昭和62年3月竣工）について、計画的な改修整備を行い、施設設備の利便性の向上と長寿命化を図ります。 令和3年度 エレベーター更新工事 令和4年度 給排水設備更新及び調理室調理台改修実施設計 LED化改修工事 令和5年度 給排水設備更新及び調理室調理台改修工事								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	健康増進課	継続	16,222		15,604	701	23,342	21,000	2,342
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
	エレベーター更新工事実施率（%）	-	-	100					
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
・（取組） 経年劣化した保健センター路面改修工事、エレベーター改修工事設計を実施した。					・（現状と課題） メーカーでの部品保管期限が近いことから、改修が不能となる前にエレベーター更新工事が必要である。				
・（評価） 個別施設計画による計画的な修繕により施設の維持管理が図られている。					・（取組） エレベーターの更新工事を実施する。				
・（改善点） 日頃の施設管理に努め、大規模な修繕となる前に修繕し長期的の利用に努めていく必要がある。									

健康危機管理整備事業	県や関係機関との連携・協力のもと、災害や新型コロナウイルス等感染症など、市民の生命や健康を脅かす健康危機が発生した場合に備え、健康危機管理体制を構築します。 災害発生時に備え、救護所用の医療資器材や医薬品の備蓄を実施するなど、医療救護体制の整備を行うとともに、新型コロナウイルス等感染症の発生に備え、ワクチンの住民接種体制の整備、感染者に接触する職員等の個人防護具や消毒薬等の備蓄など、新型コロナウイルス等感染症に対する対応体制等を構築します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	継続	1,270		660	1,403	3,816	0	3,816
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
災害医療対策会議実施回数(回)	0	0	1	ランニング備蓄店舗数(件)		31	30	40
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の実績・課題・取組み				
・(取組) 新型コロナウイルス感染症の流行を受け、医療体制維持を図るため、市内医療機関等で不足するマスクやガウン等を供与し、院内での感染拡大防止を図りました。 ・(評価) 新型コロナウイルス感染症の流行下において市内医療機関等との連携を図り、不足する防護具の供与を通じ、医療体制の維持を図りました。 ・(改善点) 感染症流行と自然災害等の同時発生への必要な準備を図る必要があります。				・(現状と課題) 新型コロナウイルス感染症の流行があり、自然災害等の危機に対し、通常とは異なる対応の備えが必要です。 ・(取組) 自宅療養中の新型コロナウイルス感染者の自然災害等の発生時の避難等について、流山市を所管する松戸保健所等との必要な情報連携を図ります。				

主管部局健康福祉部

施策の目的生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



地域医療体制や健康危機管理体制づくり

主管課健康増進課、消防防災課

関連課なし

医療体制整備・確保事業		平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急における初期診療・応急処置（第1次救急）、市内3病院における第2次救急など、流山市医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得て、必要な医療提供体制の整備・確保を図ります。また、市内の病院等における看護師等の確保に資するよう、病院内保育を運営する病院に対する補助金制度のほか、看護学校等に在学中の方で、将来市内の病院等施設で看護師等として働く意思のある方に対し、修学資金の貸付けを行います。							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	継続	83,985			82,128	2,104	93,258	3,022	90,236
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
平日夜間・休日診療所開設日数（日）	366	365	365	平日夜間・休日診療所、夜間小児救急医療、第2次救急医療利用者数（人）			5,467	1,347	5,000
				看護師学校修学資金貸付金申請件数（件）			-	27	39
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
・（取組） 新型コロナウイルス感染症の流行による影響を受けつつも、流山市医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力を得て、平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急の運営継続に努めました。令和2年度より開始した看護師等への修学資金貸付については、コロナの影響を考慮し、定員を拡大して対応しました。 ・（評価） 令和2年度から開始した看護師等修学資金貸付制度については、協定校との連携を図り、初年度定員を拡大し、柔軟な対応を図りました。 ・（改善点） 感染症の流行等に備え、流山市医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携と準備を日頃からより一層図る必要があります。				・（現状と課題） 新型コロナウイルス感染症の流行により、発熱患者等を診察する医療機関が限られており、市民はそれぞれの医療機関へ連絡やホームページ等で個別に情報収集しなければならない状況にあります。 ・（取組） 発熱患者等の医療アクセスのため必要に応じ、市民と医療機関等との間に入り、円滑な医療サービスの提供が行われるため、必要な情報提供に努めていきます。					

生涯学習部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	「日ごろから何らかの学習活動（生涯学習）を行っていますか」に「はい」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	46.1	46.1	36.7	%	↑
学びたい時に学べる環境（生涯学習のプログラムや施設）が整っていると思う市民の割合	「学びたいときに学べる環境が整っていると思うか」に「整っている」「どちらかといえば整っている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	31.8	30.6	56.2	%	↑

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
・施設のバリアフリー化を推進するため、東部公民館に新たにエレベーターを設置しました。設置工事中は、施工業者が安全対策及び感染症対策に努めました。 ・「流山市子どもの読書活動推進計画」に基づくブックスタート関連事業の一環として、市内子育て関連施設に「乳幼児向けおすすめ絵本のブックセット」を設置しました。 ・コロナ禍において、自宅で本が読める電子書籍の需要増加を見込んで、コンテンツ数を186点追加し倍増しました。 ・一茶双樹記念館の外トイレの洋式化や飲食サービスの充実を図るための厨房改修を実施しました。	・施設のバリアフリー化を推進するため、北部公民館に新たにエレベーターを設置します。施工業者には、安全対策及び感染症対策を徹底するよう指導してまいります。 ・「第2次流山市子どもの読書活動推進計画」の策定を進め、子どもが読書に親しめる機会の充実に努めます。 ・子育て施設との複合施設である（仮称）南流山地域図書館の整備を進めます。 ・一茶双樹記念館の展示ケース・解説パネルや夏障子・襖の改修を実施するとともに、飲食サービスの充実を図ることで、来館者への魅力を高めていきます。

多様な生涯学習機会の充実 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館 関連課：なし

夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業	夏休み期間中、保護者が日中働いている小学生に対して、学校施設の一部を使用して体験学習などを行います。 令和3年度 実施場所 南流山小学校・小山小学校の2校							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
公民館	継続	4,200		0	0	2,902	1,820	1,082
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
募集定員(人)	162	-	100	参加延べ人数(人)		2,346	-	1,700
イベント回数(件)	42	-	20					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため実施なし				「夏休み子ども教室」事業を7月21日から8月31日までの(土日・祝日・お盆を除く)26日間、市内の2小学校、各校50人の定員募集で実施します。 ・夏休みの宿題や読書の時間の他、多彩なイベントを実施し幅広い学習プログラムを実施します。 ・本年度は小山小学校と南流山小学校の2校で実施します。				

おおたかの森こども図書館資料充実事業	幼い頃から本に親しみ、生涯を通じた読書活動のステップとするため、子どもの読書活動推進計画に基づくブックスタート関連事業として、市内子育て関連施設に「乳幼児向けブックセット」を設置します。 令和3年度 新設・市内子育て関連施設（各66冊×14施設）								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	図書館	継続	2,484		2,445	14,026	1,045	0	1,045
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
	ブックセット設置施設数（施設）	22	95	14	図書館全館（7館）乳幼児（6歳まで）の利用者数（人）		10,456	11,641	12,914
ブックセット設置冊数（冊数）	1,335	1,935	924						
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
・「流山市子どもの読書活動推進計画」の主要事業として2巡目となる1年目は、すべての子育て関連施設に設置しました。2巡目の施設については15冊を1セットとし、新設保育園については基本のブックセット66冊を1セットとし設置しました。 ・新設保育園等が毎年増加するため、令和3年度から当分の間、新設の子育て関連施設のみ設置することとします。				・市内に新設された子育て関連施設（14施設）に乳幼児向けブックセットを設置します。 ・毎年増加する子育て関連施設に対応していきます。					

生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館 関連課：なし

おおたかの森図書ピックアップサービス拡充事業		現在のおおたかの森市民窓口センターから独立した図書館カウンターをスタートおおたかの森ホールの一画に新設し、図書サービスを実施します。 開設時期として令和3年夏を予定しています。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
図書館	新規	0		0	9,404	8,000	0	8,000
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
おおたかの森市民窓口センターの利用者数(人)	12,299	12,542	20,000					
おおたかの森市民窓口センターの貸出点数(点)	27,155	30,424	48,000					
令和2年度の実組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				・スタートおおたかの森ホールに図書館カウンターを新設しサービスの拡充を図ります。				

南流山センター施設整備改修事業	(仮称)南流山地域図書館の整備により、南流山センター内の図書館分館が移動することから、センター内の空きスペースの改装を実施します。 令和3年度 1階改装実施設計 令和4年度 1階改装工事、屋上防水・外壁改修工事 令和5年度 エレベーター更新工事									
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	公民館	拡充	0		0	0		2,650	0	2,650
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標	
	工事進捗率(%)	0	0	100						
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み					
新規事業のため記載なし					関係課と協議を行ったうえで、工事設計書を作成するための設計業務委託をします。					

主管部局 生涯学習部 施策の目的 生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



生涯学習の環境整備 主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館 関連課：なし

文化会館非常用発電装置更新事業	発電機の回転整流器の絶縁不良があったため、設備の更新工事等を行います。 令和3年度 非常用発電装置更新工事設計業務委託 令和4年度 非常用発電装置更新工事							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
公民館	新規	0		0	0	2,000	1,500	500
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
工事進捗率(%)	-	-	100					

令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				非常用予備発電装置の冷却用水用保温ヒーターの絶縁不良のため、設備の工事設計を実施します。				

文化会館及び北部公民館高濃度PCB廃棄物処理事業	ポリ塩化ビフェニール廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、文化会館及び北部公民館で保管している高濃度PCB廃棄物を処理します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
公民館	新規	0		0	0	16,054	0	16,054
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
廃棄物処分進捗率(%)	-	-	100					

令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				PCB使用機器の高濃度廃棄物の処理は、令和4年3月31日までにを行うことが義務付けられている為、文化会館及び北部公民館で保管しているコンデンサ及び蛍光灯安定機(廃棄物)を処分します。				

北部公民館施設整備改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、北部公民館のエレベーターを整備します。 令和3年度 北部公民館エレベーター等設置工事(エレベーター・非常用階段・排煙窓設置工事)を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
公民館	拡充	4,700		3,740	1,196	71,000	63,900	7,100
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
団体及び公民館事業による利用回数(回)※行政報告より	5,039	2,697	3,000	稼働率(%)※利用日数/開館日数		79	55	60
利用者数(人)※行政報告より	74,416	29,602	35,000	利用者満足度調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)		70	70	70

令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取組み				
令和2年度は、工事設計書を作成するための業務委託で、地盤調査や現地調査等を行いました。				感染症対策や安全対策を徹底して工事を実施します。				

東部公民館施設整備改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、東部公民館のエレベーターの新規設置工事を実施します。 令和2年度 設置工事							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
公民館	継続	60,000		59,796	5,478	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
団体及び公民館事業による利用回数(回)※行政報告より	3,697	2,196	2,500	稼働率(%)※利用日数/開館日数		58	46	50
利用者数(人)※行政報告より	51,681	25,482	30,000	利用者満足度調査の総合満足度4段階評価の最高4の割合(%)		64	60	65

令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取組み				
感染症対策と安全対策を徹底し、工事は令和2年12月16日に完了しました。				前年度で終了したため記載なし				

中央図書館改修事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した中央図書館を改修します。 令和3年度 1階出入口ドア改修							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
図書館	継続	39,180		39,930	14,026	396	0	396
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
工事進捗率(R1-R2)(%)	50	100	-					
工事進捗率(出入口ドア改修)(%)	-	-	100					

令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取組み				
・受変電・発電設備及び消火栓ポンプの更新工事を行いました。 ・中央図書館閲覧室の机・椅子を新たに購入しました。				・1階出入口ドアの改修を行います。				

(仮称)南流山地域図書館整備事業	令和4年度開館に向けて、南流山中学校敷地内に整備する子育て支援施設(子育て世代活動支援センター及び児童センター)との複合施設として、(仮称)南流山地域図書館を整備します。 令和3年度 建設工事 令和4年度 建設工事							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
図書館	継続	174,022		98,219	14,026	641,000	463,500	177,500
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
工事進捗率(%)	-	1	83					

令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取組み				
・令和元年度から令和2年度にかけて、基本設計及び実施設計が完了しました。 ・令和2年度から本体工事に着手しました。				・前年度から引き続き建設工事を行い、令和4年度の開館を目指します。				

主管部局生涯学習部

施策の目的生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる



生涯学習の環境整備

主管課：公民館、生涯学習課、図書館、博物館 関連課：なし

博物館改修事業		利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した博物館を改修します。令和２年度受変電・発電設備及び消火栓ポンプの更新工事						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
博物館	継続	30,820		31,944	2,104	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
工事進捗率(%)	20	100	-					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
設置後、４２年を経過して老朽化した受変電・発電設備及び動力盤、消火栓ポンプの更新を行いました。				事業予定はありません。				

生涯学習部
 施策の目的
 文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	「日ごろから学習活動を行っている市民の対象分野」における「教養（語学・歴史・文学等）」「文化芸術（音楽・絵画等）」の割合（まちづくり達成度アンケート）	53.5	49.6	46.4	%	↑
市内の指定文化財等の数	国登録、県・市指定文化財の数（博物館）	50	51	51	件	↑

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
- 市民団体から寄贈を受け、市民が自由に演奏できる駅ピアノを、スタートおおたかの森ホールホワイエに設置しました。長期化するコロナ禍の影響で、当初予定していた「こかげテラス」への設置が困難な状況となっていますが、おおたかの森ホールに設置したピアノは、時間的制限があるなか、多くの市民などが演奏しSNS等で話題となりました。 - 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、流山市文化祭及び国際室内楽音楽祭が中止となりました。 - 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復に向けた実施設計を行いました。	- 駅ピアノについては、「こかげテラス」への設置調整を含め、有効に活用できる方法について指定管理者と協議していきます。 - コロナ禍にある中でも感染防止対策を図りながら、市民の文化芸術振興のため、各事業をどのように実施できるか工夫する必要があると考えます。 - 流山市文化祭はオープニングセレモニーをおおたかの森ホールで実施し、新たな客層の獲得を目指します。 - 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事を実施し、活用方法を検討していきます。 - 市指定有形文化財「鰯ヶ崎三本松古墳古塚碑」を鰯ヶ崎4号公園内に設置する工事を実施します。

市民主体の文化芸術活動の促進	主管課：生涯学習課	関連課：なし
----------------	-----------	--------

文化祭開催事業		市民の文化芸術活動の発表の場であり、市内の代表的な文化の祭典として、流山市文化祭実行委員会が開催する文化祭の事業費の一部を補助します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
生涯学習課	継続	1,300		0	0	1,300	0	1,300
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
イベント実施数(回)	24	－	25	延べ観覧者数(人)		5,490	－	6,000
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年流山市文化祭の中止を、実行委員会議において決定しました。その後、次年度の開催に向け会議を実施しました。				例年の課題として認知度や集客数の低さがあげられることから、今年度はオープニングセレモニーをおおたかの森ホールで実施し、新たな客層への周知及び集客数増を目指します。				

駅ピアノ設置事業		市民が自由に演奏できる駅ピアノを流山おおたかの森駅高架下「こかげテラス」に設置し、文化芸術の振興を図ります。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
生涯学習課	新規	281		233	210	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
寄贈を受けたピアノを、現在はスタートおおたかの森ホールホワイエに設置し、利用者が安心して演奏できるように指定管理者と連携して整備・管理を行いました。				コロナ禍においては感染症の観点から十分な活用ができなかったため、今後も引き続き活用の内容や移設等について、指定管理者と協議していきます。				

優れた文化芸術に親しめる機会の充実	主管課：生涯学習課、公民館	関連課：なし
-------------------	---------------	--------

国際室内楽音楽祭共催事業		スタートおおたかの森ホールで開催される「NAGAREYAMA国際室内楽音楽祭2021」を共催します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
生涯学習課	継続	3,000		0	0	3,000	1,500	1,500
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				延べ来場者数(人)		-	-	1,500
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の国際室内楽音楽祭を中止しました。				新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度も国際室内楽音楽祭の開催時期を調整中です。				

一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明改修事業		利用者に安全で快適な環境を提供するために、老朽化した一茶双樹記念館・杜のアトリエ黎明の改修を進めます。令和3年度 障子、襖修繕（双樹亭）等・令和4年度 経年補修工事（一茶庵、杜のアトリエ黎明）						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
博物館	継続	937		2,510	701	1,867	0	1,867
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
利用者の利便性を図るため、一茶双樹記念館の外トイレを和式から洋式に改修しました。				開館20年以上を経過し、劣化の見られる秋元本家の展示ケース、双樹亭の夏障子、襖の修繕を実施します。また秋元本家の展示解説パネルをリニューアルします。				

歴史的文化的遺産の保存・活用	主管課：図書館、博物館	関連課：生涯学習課、流山本町・利根運河ツーリズム推進課
----------------	-------------	-----------------------------

指定等文化財保存活用整備事業		市内に残る文化財の保存・整備を行い、活用を図ります。令和3年度 国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事・鰯ヶ崎三本松古墳古塚碑整備工事						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
博物館	継続	17,000		5,280	701	62,466	53,448	9,018
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				現地見学会の参加人数(人)		122	0	-
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
令和2年度は国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事に向けた実施設計を実施しました。				国登録有形文化財「秋元家住宅土蔵」の保存修復工事を実施します。 市指定有形文化財「鰯ヶ崎三本松古墳古塚碑」を鰯ヶ崎4号公園内に移設設置工事を実施します。				

主管部局生涯学習部

施策の目的文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える



歴史的文化的遺産の保存・活用

主管課：図書館、博物館

関連課：生涯学習課、流山本町・利根運河ツーリズム推進課

新設中学校（大畔地区）発掘調査事業	大畔地区に建設される新設中学校建設工事に先立ち、工事・開校のスケジュールに間に合わせるために、埋蔵文化財発掘調査の一部を発掘調査機関に委託します。								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	博物館	新規	173,580		98,453	8,416	0	0	0
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
	令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
外部の調査機関2社と業務委託を行い、新設中学校建設工事開始前に調査を完了することができました。				R2年度で調査を完了したため記載なし					

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

生涯学習部
 施策の目的
 スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	「健康維持のために日ごろから行っていること」における「汗をかく程度の運動を週1、2回程度習慣的に行っている」の割合（まちづくり達成度アンケート）	35.4	37.1	35.5	%	↑
スポーツ施設の利用者数	利用者数（スポーツ振興課）	1,610,133	1,405,139	1,013,333	人	↑

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の実績・課題・取組み
令和2年度は、コロナ禍で4～5月にかけてスポーツ施設の閉館を余儀なくされたほか、多くのスポーツ行事が中止となりました。 こうした厳しい状況下であっても徐々にスポーツ活動を再開する動きが見られ、令和2年12月12日にながれやまスポーツフェスタを開催し、多くの市民でにぎわったほか、キッコーマンアリーナの稼働率は高い水準を維持しました。 令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を取りながらスポーツイベントを実施するとともに、アフターコロナを見据えたスポーツ施設整備に努めています。	令和3年度もスポーツイベント実施、スポーツ施設運営ともに、長期化するコロナ禍の影響を前提に事業を進めていきます。 特に、目前に迫った東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるオランダ代表の事前キャンプを迎えることが最大の課題です。安心・安全、かつ交流事業を通じて市民満足度の高い事前キャンプ運営を目指します。 具体的な交流事業の内容については、国県と連携しながら、早急に検討を進めます。

スポーツ活動の促進	主管課：スポーツ振興課	関連課：なし
-----------	-------------	--------

東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地等誘致事業	令和3年度に延期された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会にあたり、女子車いすバスケットボールやパラ卓球をはじめとするオランダ代表チームの事前キャンプを受け入れます。事前キャンプにあたっては、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、実施可能な交流事業を工夫していきます。令和4年度以降についても、トップアスリートとの交流を継続し、息の長いスポーツ振興に努めていきます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
スポーツ振興課	継続	25,140		0	3,507	43,303	0	43,303
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				交流事業の参加者数(人)		400	0	500
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、令和3年度の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会事前キャンプに向けた協議をオランダ側と進めることが困難な状況が続きました。				新型コロナウイルス感染症の影響により市民と選手等との直接の接触が禁止されており、交流事業の内容がなかなか確定できずにいます。				
そうした中でも、令和2年度後半からは徐々に事前キャンプ実施種目や日程などが具体化してきました。				検査の在り方や万一の感染者発生時の体制を確立するとともに、新型コロナウイルス感染症の状況や国県の方針を踏まえて財源の確保に努めつつ、実施可能な交流事業に取り組んでいきます。				
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を前提としながらも、実施可能な交流事業を工夫していきます。								

スポーツ環境の整備	主管課：スポーツ振興課	関連課：なし
-----------	-------------	--------

コミュニティプラザ改修事業		利用者が安心・安全で快適な施設利用を図るため、屋外テニスコートの人工芝及び屋内テニスコートのシートの張り替えを行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
スポーツ振興課	継続	20,000		28,709	3,507	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				コミュニティプラザ年間利用者数(人)		157,706	82,912	158,500
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
屋内外テニスコートの人工芝を張り替えました。 緊急事態宣言に伴う休館期間を利用し、利用者に不便を生じさせずに張り替えを実施しました。 令和3年度からは体育施設改修・整備事業に統合します。				前年度で終了したため記載なし				

体育施設改修・整備事業	体育施設の利用者の安全性・快適性の確保を図ります。令和３年度　総合運動公園野球場観覧席改修設計、コミュニティプラザ電気設備更新　等　令和４年度　総合運動公園野球場観覧席改工、総合運動公園野球場照明施設改修工事、総合運動公園庭球場拡張設計 令和５年度　総合運動公園庭球場拡張工事　等								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	スポーツ振興課	拡充	8,000		8,069	7,013	17,241	13,500	3,741
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
					屋内外体育施設利用者数(人)		1,222,151	908,303	1,195,000
令和2年度の実組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
利用者から要望の多かった南部柔道場へのエアコン設置を行い、夏場の酷暑期の前に設置を完了しました。 令和３年度は、コミュニティプラザ電気設備更新や総合運動公園野球場観覧席設置に向けた設計業務を計画的に進めます。					各スポーツ施設の経年劣化が進む中、人口の増大に伴ってスポーツ需要の増加が見られます。 令和３年度は、総合運動公園野球場観覧席設置に向けた設計業務を進めるほか、コミュニティプラザの電気設備更新、キッコーマンアリーナの床面補修等の業務を計画的に進めていきます。				

北部柔道場建替事業		老朽化が進む北部柔道場を建替え、空調設備やトイレを充実させて、施設利用者の安全性・快適性を向上させます。令和2年度 北部柔道場建替工事						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
スポーツ振興課	継続	50,000		49,005	7,013	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
北部柔道場建替工事進捗率(%)	0	100	-	北部柔道場利用者数(人)		15,248	68	16,000
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の実績・課題・取組み				
北部柔道場建替を計画通り完了し、令和3年4月から供用開始します。 コロナ禍のなかでも、予定通りの工期で工事を完了することができました。				前年度で終了したため記載なし。				

主管部局
 まちづくり推進部
 施策の目的
 市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
人口1人当たりの都市公園面積	都市計画現況調査（国土交通省）	5.17	5.15	5.28	m ²	↑
市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	「満足している」「どちらかといえば満足している」「普通」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	78.8	75.8	83.0	%	↑

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
- 公園、緑地、街路樹については、適正な維持管理を行いました。また、既存公園の改修については、市民ニーズの把握に努め実施しました。流山グリーンチェーン戦略により、新たなみどりの創出に努めました。 - 公園や緑地、街路樹の維持管理については、管理区域を設定し樹木の剪定等を行うことでみどりの保全に努めました。またグリーンチェーン認定の取得率を向上させるため事業者へ丁寧で粘り強い指導を行いました。 - みどりの保全、創出に向けた公園や街路樹の適正な維持管理や、グリーンチェーン認定の取得率向上を目指していく必要があります。 - 生物多様性なげれやま戦略（第二期）に基づき、モニタリング調査を実施するとともに、グリーンウェイブ事業・まちなか森づくり事業により、市内公共施設等で植樹を行い、みどりの創出に取組みます。	- 公園、緑地、街路樹については、適正な維持管理を行い、市民が安全、快適に利用できる良質なみどりを保全します。また、流山グリーンチェーン戦略により、住宅や店舗などにより多くのみどりを取り入れていただき、新たなみどりの創出に努めます。 - 生物多様性モニタリング調査を継続するとともに、グリーンウェイブ事業・まちなか森づくり事業により市内公共施設等で植樹を行い、みどりの創出に取組みます。

みどりの保全
 主管課：みどりの課、道路建設課
 関連課：農業振興課

まちなか森づくり事業		まちなかのみどりを創出するため、計画的に街路樹植栽や公共スペースへの植栽を行うとともに、新規住宅や民間施設等への緑化啓発により「流山グリーンチェーン戦略」を推進し、緑視率が高く、みどり豊かな街並みの形成に取り組みます。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
みどりの課	継続	6,000		5,835	2,949	11,915	0	11,915
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
グリーンチェーン認定による敷地内の緑化率(緑化面積÷敷地面積×100%) (%)	-	11.96	12.00					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・まちなか森づくりプロジェクトとして、おおたかの森南1丁目、市道112号線の一部に高木植栽を行いました。また、大字鰯ヶ崎ほか、市道106号線の一部に、低木植栽を行いました。 ・今後も、計画的に植栽及び植樹を行い、街なかのみどりの充実に図ります。				・街路樹の植栽や公共施設への植栽を行うとともに、グリーンチェーン戦略を推進し、まちなかのみどりを増やすことで、環境価値の向上に努めます。 ・既存街路樹の植栽を行います。おおたかの森周辺地区及び南流山周辺地区の植栽を行います。				

良質なみどりの拠点保全事業	土地所有者から借り受けている市民の森を保全するため、用地を取得するとともに、自然に触れながら散策等をできるよう、園路等の施設整備を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
みどりの課	継続	150,286		407,584	4,104	16,342	14,400	1,942
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
中野久木散策の森の用地取得面積（㎡）	-	7,060	-	公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合（％）		76.7	78.3	79.9
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・令和元年度に、中野久木散策の森の用地取得を行った基金への繰戻を行いました。 ・大畔の森の一部に散策路の整備を行いました。 ・「みどりのカルテ」の作成に着手しました。				・引続き市民の森や借地公園の地権者と良好な関係を築きます。 ・用地取得した中野久木散策の森整備工事を行います。 ・大畔の森の未供用箇所においても、自然に親しめる環境を整えるため、散策路の整備を行います。 ・市内のみどりの実態調査を行い、引続き「みどりのカルテ」の作成を行います。				
・市民の森や借地公園の地権者と、良好な関係を築いていく必要があります。 ・引き続き、みどりの保全と環境維持に努めていきます。								

みどりを支える人づくり事業	みどりを守り、育てる人材を育成するため、ボランティア育成や緑化に係る各種講習会やオープンガーデンの支援を実施し、本市の魅力づくりに市民と協働で取り組みます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
みどりの課	継続	1,098		824	10,807	564	180	384
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
講習会の開催回数(回)	3	7	9	講習会への参加人数(人)		47	102	190
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言発出に伴い、ながれやまオープンガーデン及び花と緑のボランティア講習会は中止になりました。 ・緑化に関する講習会を3種類新設し全4種類、計7回の講習会を開催しました。応募人数が少なかった講習会については、日程等を見直す必要があります。 ・みどりの委員会を設置し、書面開催も合わせ、会議を2回開催しました。				・みどりの保全、創出、活用を適切に行うため、みどりを担う人材の育成が必要不可欠であります。 ・みどりの維持管理は、市民と協働で実施していく必要があります。 ・緑化に関する講習会を合計で9回開催するとともに、みどりの委員会を開催します。				

みどりの創出
 主管課：みどりの課、道路建設課
 関連課：なし

新たな賑わい空間創出事業		つくばエクスプレス沿線の土地区画整理事業の進捗に合わせて、都市施設として必要な公園施設の整備を実施します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
みどりの課	継続	139,696		88,047	10,520	267,648	240,500	27,148
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		76.7	78.3	79.9
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・土地区画整理地区内の緑地整備として、鰯ヶ崎・思井地区1号緑地整備工事、鰯ヶ崎・思井地区3号緑地整備工事を行いました。 ・総合運動公園ではバーベキュー広場の整備を行いました。 ・簡易公募型プロポーザル方式により、総合運動公園テニスコート周辺区域実施設計業務及び南流山中央公園再整備設計業務の受託者を決定しました。 ・土地区画整理の進捗、地域のニーズに合わせて、緑地整備を行いました。				・土地区画整理事業の進捗に合わせて、良好な住環境の提供が求められており、地域のニーズに合わせて公園施設整備を行います。 ・総合運動公園アスレチック広場周辺の整備を行います。 ・土地区画整理事業地区内の公園緑地の整備を行います。 ・南流山中央公園の再整備工事に着手します。 ・土地区画整理の進捗により、公園緑地整備時期の変更があるため、土地区画整理事業者と密に協議を行う必要があります。				

主管部局
 まちづくり推進部
 施策の目的
 市民に潤いと安らぎを与える緑の保全・創出に取り組む



みどりの創出

主管課：みどりの課、道路建設課

関連課：なし

安心安全な公園づくり事業		既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行い利用者の安全性・利便性の向上を図ります。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
みどりの課	継続	120,071		100,284	16,895	82,519	11,800	70,719
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		76.7	78.3	79.9
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。 ・既存公園の複合遊具新設・更新を行いました。(おおたかの森東3号公園、南流山3号公園) ・既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検結果を踏まえて、現場確認し、更新・補修を行いました。 ・老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行うようにします。				・既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行います。 ・既存公園の複合遊具新設・更新を行います。 ・公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行います。 ・既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検を行います。				

生物多様性の保全・回復

主管課：環境政策課

関連課：なし

生物多様性地域戦略推進事業	生物多様性ながれやま戦略(第二期)に基づき、各重点拠点のモニタリング調査、植樹事業、市の鳥に関する事業等を行うことにより、市民への生物多様性に関する啓発を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
環境政策課	継続	2,391		2,103	7,013	2,363	0	2,363
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				生物多様性啓発イベントの参加者数(人)		97	45	60
				市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合(%)		75.8	83.0	83.0
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
モニタリング調査を実施するとともに、グリーンウェイブ事業・まちなか森づくり事業により、市内公共施設等で植樹を行いました。 また、市の鳥に関する啓発及び生物多様性に関する啓発・保全に関する事業として、生物多様性シンポジウム及び市役所ロビーにおいてパネル展示等の啓発を行いました。 評価としては、生物多様性ながれやま戦略(第二期)に基づき、概ねの事業展開ができました。				モニタリング調査を実施するとともに、グリーンウェイブ事業、まちなか森づくり事業により、市内公共施設で植樹に取り組みます。 市の鳥に関する啓発及び生物多様性に関する啓発・保全に関する事業として、生物多様性シンポジウムやオオタカパネル展等を実施します。 課題としては、生物多様性地域戦略においては、50年の計画期間であることから、モニタリング調査におけるモニタリング調査員の育成とともに各拠点のネットワーク構築が課題です。				

主管部局
 まちづくり推進部
 施策の目的
 地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	83.0	82.7	92.2	%	↑
利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	「満足している」「やや満足している」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	68.9	70.3	75.2	%	↑
自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	58.6	61.0	62.2	%	↑

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の実績・課題・取組み
- 千葉県が施行する運動公園周辺地区および木地区の土地区画整理事業について、事業の促進を図りました。 - 流山おおたかの森駅南口都市広場の改修や市野谷水鳥の池の照明整備を行いました。 - 景観条例や広告物条例に基づき事業者等へ適切な指導を行いました。また、市内の都市計画の見直しに着手するとともに、特定生産緑地の指定に向けた手続きを開始しました。 - その結果、街の状態指標である「これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合」「利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合」「自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合」の令和2年度実績が、令和元年度実績に比べ上昇しました。	- 千葉県が施行する運動公園周辺地区および木地区の土地区画整理事業については、千葉県と協力し、事業の早期完了を目指します。 - 江戸川台駅東口周辺の整備に向けた実態調査を開始します。 - 景観および広告物については条例に基づく適切な指導を行うとともに、景観シンポジウムを開催し、市民等への啓発を行います。また、都市計画の見直しや特定生産緑地の指定に向けた手続きを進めます。

つくばエクスプレス沿線整備の促進
 主管課：都市計画課、まちづくり推進課
 関連課：なし

運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理負担事業	県との費用負担協定に基づき、運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
まちづくり推進課	継続	482,632		569,649	14,026	368,470	348,700	19,770
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
面積ベース進捗率(%)	約41	約43	約46					
令和2年度の実組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・千葉県が施行する、運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図りました。 ・令和2年度末の進捗率は、面積ベースで約43%となりました。 ・都市計画道路3・3・1号芝崎市野谷線について、都市計画道路3・3・28号中駒線から都市計画道路3・4・14号流山柏線までの区間の整備が完了し、9月3日に開通となりました。				・千葉県が施行する、運動公園周辺地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担(2分の1)し、事業の促進を図ります。 ・早期事業完了を目指し、引き続き千葉県と協力して地権者との合意形成を図っていきます。				

木地区一体型特定土地区画整理負担事業				県との費用負担協定に基づき、木地区一体型特定土地区画整理事業に係る対象額の2分の1を負担します。				
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
まちづくり推進課	継続	212,267		182,166	14,026	455,680	407,100	48,580
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
面積ベース進捗率(%)	約98	約99	100					
令和2年度の実組みと評価・改善点				令和3年度の実状・課題・取組み				
・千葉県が施行する、木地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担（2分の1）し、事業の促進を図りました。 ・令和2年度末の進捗率は、面積ベースで約99%となりました。 ・令和2年11月20日には、土地区画整理法の規定により事業計画の変更が告示されました。				・千葉県が施行する、木地区の土地区画整理事業について、費用負担協定に基づき費用を負担（2分の1）し、事業の促進を図ります。 ・木地区では、引き続き千葉県と協力して、令和3年度末の工事完成を目指します。				

市街地のまちづくり
 主管課：都市計画課、まちづくり推進課
 関連課：なし

江戸川台駅東口周辺地区再整備事業		駅利用に合った広場の改修や旧ジェットロ用地の活用、周辺公共施設の再配置など、江戸川台駅東口周辺の整備に向けた実態調査を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
まちづくり推進課	新規	0		0	0	11,770	0	11,770
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				令和3年度は、駅前広場の利用実態調査や住民等との意見交換、ニーズ調査を行い、整備方針を定めます。				

開発許可管理システム構築事業		紙ベースで管理している開発登録簿等の台帳を電子化し、統合型GISの流山市地図情報共有システムを用いて窓口業務及び開発審査等の効率的な運用を行います。 令和2年度電子化及び管理システム構築 令和3年度以降 保守点検						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
宅地課	新規	9,680		9,680	7,013	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
開発登録簿等の台帳の電子化率(%)	-	100	-	開発登録簿の写しの1件あたりの提供時間(分)		45	45	10
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
令和3年3月末に事業が完了し、今後システムを活用し、窓口業務及び開発審査等の効率的な運用を行います。				令和3年4月からシステムを運用しています。				

主管部局まちづくり推進部 施策の目的地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する



市街地のまちづくり 主管課：都市計画課、まちづくり推進課 関連課：なし

生産緑地に関する図書作成事業	平成4年11月に都市計画決定した生産緑地地区が、令和4年11月で指定から30年を迎えることから、生産緑地所有者に対し、従来の税制措置を10年延長できる、特定生産緑地地区への指定に係る手続きを行います。 令和3年度 事前相談・本申請受理、図書作成 令和4年度 図書作成、審議会、指定通知発送 等								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	都市計画課	継続	5,328		4,162	6,312	3,500	0	3,500
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
・対象者へ、特定生産緑地制度について説明会を4回開催し、特定生産緑地への指定意向調査において対象者全員からの回答を得ました。 ・特定生産緑地の指定の意向を申出した方に対し、申請に関する手続き説明会を5回行いました。 また、指定意向を申出た方と事前相談を行いました。					・事前相談を終えていない申請者と事前相談を行います。 ・特定生産緑地の指定申請書を受理し、審査を行います。 ・納税猶予を受けている土地において、税務署長の同意を得ます。 ・特定生産緑地の指定に関する図書の作成を行います。				

都市計画見直し事業	地域の実情に応じた土地利用を誘導するため、区域区分、用途地域及び高度地区等の都市計画の変更を行います。 令和3年度 法定図書作成、法定縦覧、審議会 等							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
都市計画課	継続	19,000		15,543	14,026	6,000	0	6,000
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				流山市は住み心地の良いまちであると思う市民の割合(%)		84.0	87.6	91.0
				これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合(%)		86.0	92.2	93.0
令和2年度 of 取り組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取り組み				
・市内の都市計画を見直し、現地調査を行いながら見直すべき地区と内容を検討しました。 ・都市計画の案の作成に着手しました。				・用途地域等の都市計画の変更について、市民への説明を行いながら、手続きを進めます。 ・区域区分の変更手続きにおいて、千葉県との協議を行うとともに、地権者への説明を行います。				

景観形成の促進 主管課：都市計画課 関連課：みどりの課

景観形成推進事業	本市の良好な景観を形成するため「流山市景観計画」に基づき指導・誘導及び啓発を行います。 また、良質なまちづくりの推進に向けた景観シンポジウムを開催し、「流山市景観計画」の周知と意見交換を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
都市計画課	継続	444		154	8,416	786	0	786
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
景観条例第11条に基づく事前協議件数(件)	505	530	450	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		80.8	83.7	87.0
景観賞の応募件数(件)	-	2	10	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		61.6	62.2	65.0

令和2年度 of 取り組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取り組み				
・景観条例に基づき、適切に指導を行いました。 ・景観計画及び景観計画ガイドラインを活用し、市民及び事業者に対し、引き続き良好な景観形成の誘導と啓発を推進します。				・景観条例に基づき、景観計画に適合するよう適切に指導を行います。 ・景観シンポジウムを開催し、市民等が景観を形成する主体として、自らの果たすべき役割について理解を深め、興味を抱けるよう啓発を図ります。 ・良好な景観の形成に寄与し、貢献した事業者等を景観賞として表彰することで、市民意識の高揚を図ります。				

広告物等推進事業	良好な景観の形成、風致の維持、公衆に対する危害を防止するため、広告物等について適正な規制と啓発に努めます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
都市計画課	継続	4,237		3,840	8,416	4,227	2,500	1,727
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
流山市広告物条例第11条に基づく許可申請件数(件)	87	129	130	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		80.8	83.7	87.0
屋外広告物法第7条に基づく簡易除却件数(件)	1,383	667	500	自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合(%)		61.6	62.2	65.0

令和2年度 of 取り組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取り組み				
・広告物等を掲出する広告主及び事業者に対し、条例に基づく許可等に対する手続きを通じて、適切に指導を行いました。 ・景観計画及び広告物条例ルールブックを活用し、広告主及び事業者等に対し、良好な景観形成の誘導と啓発を図ります。 ・広告主及び事業者だけでなく、市民等に対しても広告物条例の制限内容を周知しました。				・引き続き広告物等を掲出する広告主及び事業者に対し、広告物が無秩序に掲出されないよう適切に指導を行い、良好な景観の形成を目指します。 ・千葉県屋外広告物条例において許可を受けている屋外広告物等で、流山市広告物条例に適合しない物件については、令和4年3月31日をもって経過措置期間が終了することから、不適格物件の状況等を把握するとともに、必要な手続等について周知を徹底します。				

流山おおたかの森駅周辺まちなみづくり事業	・流山おおたかの森駅周辺の南口都市広場や市野谷水鳥の池において、良質な空間を形成し、更なる賑わいを創出します。 ・令和2年度：南口都市広場（インターロッキング、植栽、LED照明）、市野谷水鳥の池（ローポールライト）							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
まちづくり推進課	拡充	270,000		265,909	7,013	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
工事進捗率(%)	-	100	-					
令和2年度 of 取り組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取り組み				
流山おおたかの森駅南口都市広場について、利用者の安全性を確保しながら、予定通り改修工事を完了し、良質な交流空間の形成と更なる賑わいの創出を図りました。 市野谷水鳥の池の照明について、予定通り設置工事を完了し、魅力的な水辺空間の形成と回遊性の向上を図りました。				前年度で終了したため記載なし				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 土木部

施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する

1 安全で快適なまちづくり

2 健康で安全なまちづくり

3 子育てにやさしいまちづくり

4 学びにやさしいまちづくり

5 エンターテインメントにやさしいまちづくり

6 環境にやさしいまちづくり

7 自然環境にやさしいまちづくり

8 経済にやさしいまちづくり

9 産業にやさしいまちづくり

10 生活にやさしいまちづくり

11 防災にやさしいまちづくり

12 文化にやさしいまちづくり

13 環境にやさしいまちづくり

14 自然環境にやさしいまちづくり

15 環境にやさしいまちづくり

16 環境にやさしいまちづくり

17 環境にやさしいまちづくり

まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	64.6	65.6	73.5	%	↑
都市計画道路の整備率	道路建設課	70.6	72.4	73.0	%	↑

令和2年度 of 取組みと評価・改善点	令和3年度 of 現状・課題・取組み
【取組内容】 ・安全性や利便性、防災機能などを考慮した生活道路の整備を推進しました。 ・交通の集中する交差点対策の推進を図りました。 【評価】 ・住民説明会にて計画の説明を行い周知を図りました。 ・工事着手にむけ、関係機関との協議を進めました。 【改善点】 ・沿道住民に向けて工程計画等に係る説明会を開き、円滑な工事の進捗に努めます。	【現状と主要課題】 ・人口増加等に伴う交通量の増加により、一部幹線道路の交差点部においては、交通が集中する時間帯があります。 ・歩行者や自転車利用者が、より安全に安心して快適に移動できるよう、人にやさしい道路環境の形成を図る必要があります。 【取組み】 ・安全性や利便性、防災機能などを考慮した生活道路の整備を推進します。 ・交通の集中する交差点対策の推進を図ります。 ・流山市自転車ネットワーク計画に基づき、自転車走行空間の整備を進めます。

円滑に移動できる道路整備

主管課：道路建設課、道路管理課、都市計画課 関連課：なし

新設小学校建設関連道路整備事業	大群地区で進めている新設小学校建設に関連し、市道308号線の延長約300m区間において、道路の拡幅改良及び新設を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
道路建設課	継続	80,309		75,157	19,636	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100		57	77	100
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
事業用地の取得を完了し、道路の拡幅改良及び新設工事に着手しましたが、現場の土質状況等により、R3年度に工事の一部を繰り越しました。				・おおぐろの森小学校がR3年度4月に開校したため、早期の完成を目指します。				

名都借跨線橋道路拡幅改良事業		緊急時の大型車両通行や歩行者及び自転車の安全な通行を確保するため、名都借跨線橋を含む当該路線延長325m区間において、車両の相互通行が可能となるよう拡幅改良を行い、周辺地区における通行の円滑化と安全を図ります。 令和3年度 JR施行委託、付帯工事 令和4年度 JR施行委託 令和5年度 JR施行委託 等							
担当課	区分	R2当初予算			R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
道路建設課	継続	331,343			67,374	19,636	491,822	460,680	31,142
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
				整備率(%) = 執行済事業費(円) ÷ 全体事業費(円) × 100			41	43	70
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
JR施行委託により、工事ヤードの整備、歩道橋の橋桁、橋脚の設置を実施しました。また、流山市施行により、歩道橋の製作、向小金2丁目側の暫定歩道整備等の安全対策を実施しました。工事施行期間中、事故を発生させず、予定どおり作業を進めることができました。引続き、道路利用者の安全を確保しながらR5年度完成を目指し、工事を進めています。					新設歩道橋の暫定供用開始、車道橋の改良工事に着手します。また、R4年度から側道の一部が通行止めとなることから、流山市施行により対策工事を実施します。				

自転車ネットワーク整備事業	自転車ネットワーク計画に基づき、公共施設及び鉄道駅等を結ぶ都市計画道路を中心に自転車通行空間整備を行い、自転車及び歩行者の安全性、快適性、利便性の向上を図ります。 令和3～5年度 自転車通行空間の路面整備							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
道路建設課	継続	5,000		0	4,909	11,000	10,250	750
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				整備率(%) = 整備済延長(m) ÷ 全体延長(m) × 100		-	0	4
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・「流山市自転車ネットワーク計画(案)」を作成し、パブリックコメントを実施しました。 ・パブリックコメントの意見に対する市の考え方を整理し、早期に「流山市自転車ネットワーク計画」の策定並びに公表に努めます。				・「流山市自転車ネットワーク計画」に基づき、自転車通行空間の整備を行います。 ・整備にあたっては、現地の交通状況や路面状況、並びに周辺環境を十分把握したうえで着手します。				

都市計画道路3・4・9号南流山名都借線道路改良事業	都市計画道路3・4・9号南流山名都借線の、運動公園周辺地区一体型特定土地区画事業区域界から富士見橋間における、延長約400m区間において、道路の拡幅改良を行います。 令和3年度 地元説明会 令和4年度 測量、物件調査 令和5年度 用地取得									
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	道路建設課	継続	7,843		0	4,909		0	0	0
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
					整備率(%)＝執行済事業費(円)÷全体事業費(円)×100			-	0	3
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み					
・都市計画事業認可の取得に向けて、千葉県と協議を進めました。					・事業説明会を実施し、地元住民及び関係地権者への周知を図ります。					

主管部局 土木部

施策の目的 安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する



安全で快適な道路環境の確保

主管課：道路建設課、道路管理課

関連課：なし

道路維持補修事業		道路や道路附属施設を適切に管理し、道路使用者の安全性を高め、健全な道路環境を保全します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
道路管理課	継続	260,000		259,001	21,310	244,500	106,800	137,700
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
道路舗装補修延長 (m)	2,627	2,066	2,800	情報処理件数 (件)		344	296	330
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・道路の舗装等が劣化している10路線の道路補修工事を実施しました。 また、幹線・補助幹線道路の2回目の路面性状調査を実施しました。 ・特に劣化が著しい路線において、アスファルト舗装の補修を2層にわたり実施することで、より効果的な舗装の長寿命化を図りました。 ・他の事業者等の舗装復旧工事の予定箇所や時期を見定めて、可能であれば道路補修工事の発注を調整し、経費の節減を図ります。				・劣化の程度や緊急性等を考慮し、総合的に優先順位を検討して補修工事を実施しています。 ・近年の交通量増加に伴う、舗装の劣化進行速度に変化がないか注視する必要があります。 ・令和2年度に実施した、2回目の幹線・補助幹線道路の路面性状調査結果を基に、データを整理・蓄積して舗装維持管理計画を更新します。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局
 土木部
 施策の目的
 大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
雨水幹線の整備延長	雨水幹線の整備延長（下水道建設課）	15.2	15.5	0.0	km	↑
水害による住家被害の棟数	過去３年間に発生した水害によって床上浸水した住家の棟数	0	0	0	棟	→

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の実績・課題・取組み
【取組内容】 想定最大規模降雨による浸水想定区域図を記載した洪水ハザードマップを作成し、市民の皆様 に配布し周知に努めました。 市内に設置された水位計を適切に運用し、的確な水防活動を実施しました。 雨水排水施設の整備、及び河川施設・水路等の適切な維持管理を行いました。 【評価】 洪水ハザードマップを多くの市民の皆様 に配布することができました。 局地的大雨の際に、道路の通行止めを伴う一時的な道路冠水が発生しました。 【改善点】 道路冠水が発生した場所の排水対策の検討が必要です。 河川施設・水路等の老朽化に伴い、施設の修繕が必要となる箇所を事前に把握する取り組みが 必要です。	【現状】 台風や局地的大雨時に大きな被害は発生しておりませんが、一時的な道路冠水等が発生していま す。 【課題】 道路冠水対策に必要な箇所を的確に把握して、解消するための対策を施す必要があります。 河川施設・水路等の老朽化に備え、点検が必要です。 【取組内容】 道路冠水対策として、雨水排水施設の設計を行います。 河川施設である樋管の点検を行い、修繕が必要な箇所を選定します。

雨水排水施設の整備	主管課：河川課、上下水道局（下水）	関連課：なし
-----------	-------------------	--------

地区内雨水整備事業		運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の推進状況に合わせ、雨水管を整備します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
下水道建設課	継続	119,000		0	7,013	387,000	379,450	7,550
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
各年度の整備面積（h a）	0.7	0	0.4					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・令和2年度の整備予定は、0.3haでしたが、未発注となっております。 ・繰越事業として区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。				・令和3年度は、0.4haの整備を行います。 ・区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。				

雨水排水施設整備事業	浸水被害が発生している、又は恐れのある地域に雨水排水施設の整備を行います。 - 令和3年度 実施設計（江戸川台西）等 - 令和4年度 排水管整備（江戸川台西）等 - 令和5年度 排水管整備 等							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
河川課	継続	22,320		31,416	2,525	10,197	9,400	797
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				内水氾濫による床上浸水の棟数（棟）		0	0	0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の実績・課題・取組み				
- 新設学校の開校に向け、雨水排水施設を整備しました。 - 台風や局地的大雨に備え、野々下5丁目地先に雨水排水施設を整備しました。 - 整備工事を行うには、国庫交付金などの財源確保が重要です。				- 台風や局地的大雨時に道路冠水が発生している箇所の解消が必要です。 - 道路冠水対策として、江戸川台地区において雨水排水施設の具体的な排水施設の設計を行います。				

洪水ハザードマップ作成事業	平成27年に改正された水防法に適合した洪水ハザードマップを作成し、市民への周知と被害軽減に努めます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
河川課	継続	6,402		6,889	1,052	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				洪水ハザードマップの配布数（部）		0	66,300	2,000
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の実績・課題・取組み				
- 平成27年度に改正された水防法に適合した、想定最大規模降雨による浸水想定区域図を記載した、洪水ハザードマップを作成し、市民の皆様 に配布しました。 - 継続的に周知していくことが重要です。				公共施設等の窓口やホームページを活用し、継続的に周知を図っていきます。				

河川環境の整備	主管課：河川課	関連課：なし
---------	---------	--------

河川等維持補修事業	河川施設等が適切な排水機能を維持できるように補修及び修繕を行います。 - 令和3年度 修繕工事（前ヶ崎他）等 - 令和4年度 修繕工事 等 - 令和5年度 修繕工事 等							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
河川課	継続	67,133		59,777	2,525	16,969	2,600	14,369
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
河川施設の維持補修に関する工事件数（件）	1	4	1	内水氾濫による床上浸水の棟数（棟）		0	0	0
				憩いの場としての河川環境について満足している市民の割合（％）		79.2	82.4	80.0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の実績・課題・取組み				
- 諏訪下排水樋管閉鎖時に排水できる、排水ポンプの増設を行いました。 - 諏訪下排水樋管閉鎖時に排水するポンプを収納する倉庫の設置に着手しました。 - 鰯ヶ崎における水路蓋掛け工事を実施しました。 - 野々下3丁目地先及び新川承水路における水路改修工事を実施しました。 - 小破修繕工事を行い、市内の水路等の修繕を行いました。 - 修繕が必要となる危険箇所を事前に把握することが必要です。				- 老朽化した水路等が市内に散見されるので、継続的な修繕が必要です。 - 水路改修工事及び小破修繕工事を実施します。 - 一級河川からの逆流を防止するための樋管の点検を実施します。				

主管部局 上下水道局 施策の目的 安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	90.7	89.1	95.9	%	↑
公共下水道普及率	処理区域内人口÷行政区域内人口×100（下水道建設課）	89.3	90.8	91.9	%	↑

令和2年度 の 取組みと評価・改善点	令和3年度 の 現状・課題・取組み
・令和3年度から令和12年度までの10年間を計画期間とし、つくばエクスプレス沿線整備による人口増加期間とその後の人口安定期間に特化した、投資計画と財政計画である流山市水道事業基本計画（流山市水道ビジョン）を策定しました。 ・水道事業は、基幹管路や老朽化した配水管の耐震化に努めました。 ・下水道事業は、下水道未整備地区の整備や下水道への未接続世帯に対する普及・啓発に努めました。	・上下水道事業の安定的経営を行うため、水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略の進捗状況を確認します。 ・水道事業は、基幹管路の耐震化を優先的に推進するとともに、老朽化した配水支管は応急給水拠点など重要度の高い路線から耐震管に更新することにより、災害対応能力の向上に努めます。 ・下水道事業は、平成28年度に汚水適正処理構想を見直したことから、令和6年度末に新規の整備が完了する予定です。令和3年度より、ストックマネジメント計画に合わせた施設の点検・調査、修繕・改築を実施します。

安全な水道水の安定供給 主管課：上下水道局 関連課：なし

浄水場更新事業		令和6年度までにおおたかの森浄水場に新たに配水池を1池建設します。令和3年度は、配水池の基本検討業務を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
水道工務課	新規			0	0	11,418	0	11,418
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
配水池基本検討業務進捗率(%)	0	0	100	配水池事業完成(%)		0	0	1
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし。				流山おおたかの森駅周辺の人口増加により、おおたかの森浄水場からの配水量が増加していることから、新たに配水池を1池建設します。令和3年度は、配水池の材質や仕様等の基本検討業務を行います。				

上下水道料金徴収等業務委託事業	水道料金及び下水道使用料の徴収に係る水道メーターの検針から料金の収納に至る一連の業務を、包括的に民間事業者者に委託し、効率的な上下水道事業の経営に努めます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
経営業務課	継続	153,252		153,252	13,628	183,700	183,700	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
給水契約件数(件)	82,278	84,768	86,500	不納欠損処理件数：水道料金(件)		293	216	200
下水道契約件数(件)	71,938	75,206	76,000	不納欠損処理件数：下水道使用料(件)		215	173	170
令和2年度 の 取組みと評価・改善点				令和3年度 の 現状・課題・取組み				
・上水道使用者が使用した水道水に係る水道料金及び公共下水道使用者が使用した下水道使用料金の適正な徴収に努めました。 ・上下水道料金の徴収等を包括委託している民間業者と連携を密にし、不能欠損の減少を図った効果により、不能欠損処理件数が減少しました。 ・常習滞納者に対し誓約不履行による給水停止執行を継続するとともに、新たな料金未納者への給水停止執行処分を行いました。				・人口の増加や公共下水道の共用開始区域の拡大により、上下水道使用者が増えており、給水契約件数や公共下水道使用者は毎年増加しています。 ・市外へ転居した滞納者への督促、催告はしていますが、収納までに至る件数は少なく、いかにして徴収するかが課題です。 ・委託先との連絡調整を密にし、令和3年4月から導入したスマホ決済の周知、また、口座振替による支払いを促進させ、収納率の向上に努めます。				

主要配水管等耐震化事業	主要な配水管等を耐震化へ計画的に更新していきます。 令和3年度 配水管等耐震化（下花輪駒木線ほか）							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
水道工務課	継続	357,404		178,519	7,013	224,839	0	224,839
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
整備延長(m)	1,122	814	1,036	耐震化適合率(%)		48.2	51.6	54.4
令和2年度 の 取組みと評価・改善点				令和3年度 の 現状・課題・取組み				
・おおたかの森浄水場と江戸川台浄水場を結ぶルートL＝814mの工事が完成しました。 ・北部地域主要配水管改良工事業は、令和2年度完成を目指していましたがネクスコ東日本との協議に時間を要し完了できなかったことから、協議が整いしたい工事に着工し、完成を目指します。				・主要な配水管を耐震管へ計画的に更新していきます。 ・北部地域主要配水管改良工事業の完成を目指します。 ・おおたかの森浄水場と江戸川台浄水場を結ぶルートL＝236mの工事を行います。 ・都市計画道路3.2.25下花輪駒木線のルートL＝610mの工事を行います。 ・主要地方道松戸野田線のルートL＝190mの工事を行います。				

老朽配水管等耐震化事業	老朽化した配水管等を耐震化へ計画的に更新していきます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
水道工務課	継続	261,702		349,495	10,520	341,321	0	341,321
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
整備延長(m)	2,416	3,854	2,391	耐震管適合率(%)		59.7	62.0	63.1
				漏水発生件数(件)		288	321	-
令和2年度 の 取組みと評価・改善点				令和3年度 の 現状・課題・取組み				
・北部地域は、2,519mの区間で工事が完成し、残り62mの区間は令和3年4月末の完成予定です。 ・中部地域は、2,137mの区間で工事が完成し、残り672mの区間は令和3年5月中旬の完成予定です。 ・南部地域は、808mの区間で工事が完成しました。 ・東部地域は、1,336mの区間で工事が完成しました。				・老朽化した配水管等を耐震化へ計画的に更新していきます。 ・北部地域1,718m、中部地域24m、南部地域649mの工事を行います。				

主管部局
 上下水道局
 施策の目的
 安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する



安全な水道水の安定供給
 主管課：上下水道局
 関連課：なし

配水管拡張事業		令和2年度の事業完了に向けて、江戸川沿いの北部未給水地区の配水管拡張工事を実施します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
水道工務課	継続	71,280		84,150	7,013	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
配水管布設延長 (m)	980	1,582	668	給水普及率 (%)		99.6	99.6	99.6
令和2年度の実組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・平方地域は、1,582mの工事区間で工事が完成し、残り668mの区間は令和3年6月末の完成を目指します。				・平方地域の、668mの区間で令和3年6月末の工事完成を目指し、拡張工事を完成させ事業を終了します。				

TX沿線整備地区配水管拡張事業	TX沿線の土地区画整理事業に係る配水管拡張事業を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
水道工務課	継続	128,605		81,163	3,507	102,340	102,340	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
配水管布設延長(ｍ)	5,618	1,938	3,074	整備率(％)		74.7	75.4	77.8
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・木地区は、837mの区間で工事が完成しました。 ・運動公園周辺地区は、1,101mの区間で工事が完成し残り1,776mの区間は、令和3年9月末までの完成を目指します。				・木地区は、20mの区間で工事を行い、令和3年度の事業完了を目指します。 ・運動公園周辺地区は、3,054mの区間で工事を行います。				

計画的な下水道事業の推進
 主管課：上下水道局
 関連課：なし

江戸川左岸流域関連公共下水道整備事業	既成市街地における良好な生活環境を提供するため、東深井、向小金2・3丁目、おおたかの森西四丁目地先の下水道を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
下水道建設課	継続	938,059		1,213,135	21,039	832,736	377,030	455,706
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
各年度の整備面積(ｈa)	21.7	26.1	37.9	公共下水道普及率(％)		90.5	91.6	93.1
各年度の整備延長(ｍ)	3,811	8,150	7,709	公共下水道水洗化率(％)		92.4	92.0	95.0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・西深井、美原2・3・4丁目、向小金2・3丁目、長崎1丁目、おおたかの森西四丁目地先の約2.6haを整備しました。 ・計画から施工まで効果的に投資を行い、経営を支える良質な下水道資源としました。 ・汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行います。				・西深井・東深井、美原2・3丁目、長崎1丁目、鰯ヶ崎、向小金2・3丁目、おおたかの森西三・四丁目、大畔の約3.8haの下水道を整備します。 ・汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行うため、業務量が增大しています。 ・業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。				

手賀沼流域関連公共下水道整備事業	既成市街地における良好な生活環境を提供するため、駒木地先の下水道を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
下水道建設課	継続	217,157		170,467	14,026	273,599	123,750	149,849
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
各年度の整備面積(ｈa)	1.2	4.4	4.3	公共下水道普及率(％)		92.0	93.1	94.6
各年度の整備延長(ｍ)	365	1,946	1,323	公共下水道水洗化率(％)		95.9	96.5	97.0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・おおたかの森東四丁目、駒木地先の約4haを整備しました。 ・計画から施工まで、効果的に投資を行い、経営を支える良質な下水道資源としました。 ・汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行います。				・駒木地先の約4haの下水道を整備します。 ・汚水適正処理構想に基づき令和6年度までに整備を行うため、業務量が增大しています。 ・業務の効率化を図り、公共下水道の整備を推進していきます。				

地区内汚水整備事業	運動公園周辺地区一体型特定土地区画整理事業の造成計画の進捗状況に合わせ、汚水管を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
下水道建設課	継続	68,000		49,300	9,818	136,000	118,600	17,400
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
各年度の整備面積(ｈa)	5.0	5.5	9.7	下水道整備率(％)		72.1	73.6	75.2
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・令和2年度は整備予定7haのうち、約6割が発注済となり、約3割が完成しています。 ・繰越事業については、区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。				・運動公園周辺地区全体23.2.1haのうち94.8haが整備完了しています。 ・令和3年度も土地区画整理事業の進捗に合わせ、地区内約10haの整備を行います。 ・区画整理事業者と早期完成に向けて、調整を計ります。				

合併浄化槽事業	合併浄化槽計画区域について、単独浄化槽から合併浄化槽への転換の普及促進を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
下水道建設課	新規	10,230		9,204	9,404	15,123	10,958	4,165
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
各年度の合併浄化槽への転換戸数(戸)	15	11	17	合併浄化槽普及率(％)		-	49.1	50.0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
単独浄化槽から合併浄化槽に転換を行った方に対し、補助金を交付し公共水域の水質改善に努めました。(補助金交付件数11件 補助金交付額 9,204,000円)				昨年度に引き続き、単独浄化槽から合併浄化槽に転換を行った方に補助金を交付するとともに、合併浄化槽への更なる普及促進を図るため、今後の方針について検討します。				

主管部局 まちづくり推進部 施策の目的 交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
公共交通に満足している市民の割合	「満足である」、「どちらかといえば満足」、「普通」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	75.0	73.1	81.5	%	↑
市内鉄道の1日当たりの乗客数	市内各鉄道会社 ※数値は2017(H29)年度、2018(H30)年度、2019(R1)年度	175,574(※)	180,380(※)	183,175(※)	人	↑
流山ぐりーんバスの1日平均利用者数	まちづくり推進課	2,499	2,505	1,739	人	↑

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
【広域交通ネットワークの充実】 ・鉄道の充実のため、鉄道事業者に対して、要望書等の提出により、働きかけを行いました。 ・初石駅施設整備について、基本設計を行いました。 【地域公共交通ネットワークの充実】 ・地域公共交通計画の策定に向け、学識経験者・公共交通事業者・市民等で構成された地域公共交通活性化協議会において協議を行いました。 ・流山ぐりーんバスについて、6ルートの運行を継続するとともに、南流山・木ルートにおいて経路・ダイヤの変更手続きを進めました。新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少し、事業費が増額となりました。	【広域交通ネットワークの充実】 ・つくばエクスプレスについては、車両編成の8両化や東京駅延伸等の実現に向け、様々な機会を通じて関係各方面への働きかけを行います。 ・東武野田線初石駅の利便性の向上を図るため、自由通路、橋上駅舎及び駅前広場の設計業務や補償物件・用地協議を進めます。 【地域公共交通ネットワークの充実】 ・地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにするため、地域公共交通計画の策定を行います。 ・地域公共交通の充実に大きな役割を持つバス交通である流山ぐりーんバスについては、利便性の向上に努めます。

広域交通ネットワークの充実 主管課：まちづくり推進課 関連課：なし

TX東京駅延伸等促進事業		つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、鉄道事業者等へ要望します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
まちづくり推進課	継続	0		0	701	11	0	11
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
T X沿線都市での会議等の開催回数(件)	5	5	5	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		70.3	75.2	76.0
				つくばエクスプレス線の駅の1日平均乗車人員(人)		386,391	395,400	-
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
沿線区市と連携し、首都圏新都市鉄道に対し、つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、令和2年6月25日付けで要望書を提出しました。				つくばエクスプレス沿線都市連絡協議会・つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会の幹事市として、つくばエクスプレスの車両編成8両化・東京駅延伸の早期実現・通学定期乗車券の運賃引き下げについて、会議を開催し、沿線区市の意見をとりまとめ、鉄道事業者等へ要望します。				

初石駅施設整備事業	東武野田線初石駅の利便性を向上するため、令和5年度供用開始に向け、橋上駅舎、自由通路及び駅前広場を整備します。 令和3年度 基本設計、実施設計、用地取得 等 令和4年度 本工事 令和5年度 本工事							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
まちづくり推進課	継続	52,348		18,969	7,013	186,335	164,207	22,128
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
事業進捗率(事業費ベース：%)	0.4	1.3	12	便利だと感じている駅利用者の割合(%)		70.3	75.2	76.0
				初石駅の1日平均乗降人員(人)		18,653	18,609	-
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
橋上駅舎、自由通路及び東口駅前広場に関する基本設計を令和2年7月末に完了しました。コロナ禍の深刻な影響を受けている東武鉄道株式会社において、事業実施に係る基本協定に係る社内調整や事務手続きに時間を要したことから、当初予定していた実施設計の着手に至りませんでした。				東武鉄道株式会社との協議を進め、基本協定を締結し、橋上駅舎、自由通路及び東口駅前広場の実施設計に着手するとともに、補償物件・用地取得の協議を進めていきます。また、西口駅前広場の基本設計に着手します。				

地域公共交通ネットワークの充実 主管課：まちづくり推進課、都市計画課、道路 関連課：なし 管理課

地域公共交通網形成事業	地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにし、持続可能な公共交通網を形成するため、地域公共交通計画を策定します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
まちづくり推進課	継続	10,465		9,978	7,714	667	0	667
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
地域公共交通活性化協議会の開催回数(回)	0	4	4	公共交通に満足している市民の割合(%)		73.1	81.5	82.0
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
地域公共交通計画を策定するため、地域公共交通活性化協議会を設立しました。同協議会において、計画策定のための調査・分析や計画書の内容について協議を行い、交通事業者や市民等の意見聴取に努めました。新型コロナウイルス感染症の影響により、当初協議会で予定していた議題について協議を見送りました。				流山市地域公共交通計画の策定に向け、地域公共交通活性化協議会において協議を行い、パブリックコメントなど必要な手続きを実施します。また、計画の準備業務として、公共交通マップの作成や経路検索サイトの周知など、分かりやすい公共交通の案内を検討・実施します。				

ぐりーんバス運行事業	鉄道を主軸とした流山市の公共交通体系に対応するため、駅と周辺住宅地を結ぶコミュニティバスを運行します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
まちづくり推進課	継続	83,407		12,276	2,104	101,000	0	101,000
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
利用促進啓発活動回数(お散歩マップ・自治会回覧)(回)	2	0	2	流山ぐりーんバスの年間利用者数(人)		914,484	632,823	777,000
				収支率全ルート平均(%)		58.8	38.6	50.0
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
流山ぐりーんバスの6ルートを運行しました。また、南流山・木ルートのルート変更について、地元自治会と協力して協議を進め、令和3年4月1日からの運行開始に向け、必要な手続きを行いました。新型コロナウイルス感染症の影響により、収支率が悪化し、当初の見込みよりも事業費(補填額)が増加する結果となり、流山ぐりーんバスのルールの明確化など改善の必要がありま				流山ぐりーんバスの6ルートを運行します。令和3年4月1日から南流山・木ルートの変更ルートにおいて運行を開始します。新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、利用促進を図っていきます。地域公共交通計画において検討している流山ぐりーんバスの導入・継続のルールを運用していきます。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局
 まちづくり推進部
 施策の目的
 多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
住宅の耐震化率	耐震改修促進計画（建築住宅課）※1月1日時点	86.2	87.2	88.2	%	↑
住宅の空き家率	空き家総数のうち、一時居住用や販売用等を除いた「その他の住宅」の占める割合（総務省「住宅・土地統計調査」）※1：2013(H25)年度 ※2：2018(H30)年度	2.7(※1)	3.2(※2)	3.2(※2)	%	↓

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
（取組内容） ・流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき「市営住宅柳田団地1号棟屋上防水改修工事」を実施しました。 ・地域住民の生活環境に深刻な影響が懸念される、管理不十分な空き家の改善を図るため、所有者等を特定し助言・指導に努めました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、住み替え支援相談会を中止としました。 （評価） ・管理不十分な空き家の所有者等に対し助言・指導を行った結果、7件の改善が図られました。 （改善点） ・新型コロナウイルス感染防止対策を実施し、住み替え相談会の開催を検討します。	・流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅柳田団地2号棟屋上防水改修工事を実施します。 ・空家等対策協議会を設置し、空家等対策計画の策定に取り組みます。 ・住み替え支援制度の周知を図り、住み替え相談会等を開催することで、一人でも多くの市民の住み替えニーズに応えるよう努めます。

住生活の安定と向上	主管課：建築住宅課、宅地課、高齢者支援課、障害者支援課 関連課：なし
-----------	---------------------------------------

市営住宅整備事業	安全で快適な市営住宅を長期間にわたって確保するため、流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき適切に改修や改善を行い、長寿命化によるライフサイクルコストの削減を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
建築住宅課	継続	9,361		10,433	2,244	13,843	12,695	1,148
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
市営住宅管理戸数(戸)	449	449	449					
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅柳田団地1号棟の屋上防水改修工事を行いました。 (評価) 計画的に改修工事を行うことで、建築物の耐久性・安全性の向上と建物の長寿命化が図られ、良好なストックを長期にわたり確保しています。 (改善点) 今後も流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切な時期に予防保全的な修繕及び耐久性の向上等を図る改善策を計画的に実施します。				流山市公営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅柳田団地2号棟の屋上防水改修工事を行います。				

空き家対策の推進	主管課：建築住宅課 関連課：なし
----------	---------------------

空き家対策事業		適正に管理されていない空家の解消を推進するため、法律や条例に基づき、所有者に対し指導・助言・勧告などの必要な措置を講じるとともに、空家対策を効果的に行うため、住生活基本計画及び空家等対策計画を策定し、計画に沿って取り組みを進めます。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
建築住宅課	継続	0		0	70	7,216	0	7,216
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
空き家問題に関する通報件数(件)	62	72	60	空き家に対する改善指導件数(件)		28	38	40
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 近隣住民等から情報提供があった空き家で、適正な管理を行っていない所有者等に対し改善指導を行いました。 (評価) 情報提供があった空き家に対し現地調査等を行うとともに、管理不全の空き家38件に対し改善指導を行うことで5件が改善されました。 (改善点) 空家等対策計画を策定することで、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進していきます。				空家等対策協議会を設置するとともに、空家等対策計画及び住生活基本計画を策定し、今後も計画的に空家対策を進めていきます。				

高齢者住み替え支援相談事業	高齢者が安心して住み替えができるようにするとともに、子育て世代の市内移住の支援を図るため、相談会の開催やセミナーを開催します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
建築住宅課	継続	46		0	140	93	46	47
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
住み替え相談会開催回数	4	0	-	住み替え相談会参加組数(組)		14	0	-
				住み替え相談の成立件数(件)		1	0	-

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
（取組内容） 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、すべての相談会を中止としました。 （評価） 相談会の参加者は高齢者が多く、緊急事態宣言の発令（2回）、第2波・第3波といった新型コロナウイルスの感染拡大もあり、開催できるタイミングがありませんでした。 （改善点） 新型コロナウイルス感染防止策を講じて相談会等の実施を予定していますが、高齢者の参加が多いため、開催については慎重に判断していきます。	新型コロナウイルス感染防止策を講じて相談会等の実施を予定していますが、高齢者の参加が多いため、開催については慎重に判断していきます。

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
地球温暖化対策の推進のため、住宅用創エネルギー・省エネルギー設備設置の促進、市民が取り組める地球温暖化対策の普及啓発、みどりの保全による二酸化炭素吸収源対策を行いました。市役所が率先して地球温暖化対策を実行するため、令和2年度は地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を改正しました。 ポイ捨て防止のため、路上喫煙は過料の徴収を含めた指導、パトロールを行いました。依然として路上喫煙は見受けられるため、今後も引き続きパトロールを行います。	国の温室効果ガス削減目標等を踏まえた施策の見直しを検討します。令和3年度は、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改正に着手しますが、市民・市民活動団体・事業者・市のそれぞれが総合的かつ計画的に実施できる取組みを推進する実行計画を目指します。 また、みどりの保全についても、地球温暖化対策実行計画との整合を図り、地球温暖化対策と生物多様性保全のいずれにも効果がある緑の保全・回復を行えるよう、検討を進めています。 前年度から引き続き路上喫煙防止のためのパトロールを行い、ポイ捨て防止に努めます。また、空地の雑草の対策については、地権者からの依頼により市で除草を行う事業を新規に開始し、生活環境の美化を推進します。

公用車用EV充電スポット 整備事業	温室効果ガス排出量の抑制の一環として、リースが満了する公用車両の一部について、電気自動車を導入するにあたり、必要不可欠なEV充電設備を整備します。								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	財産活用課	新規	0		0	7,013	10,774	3,500	7,274
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
	改修工事費(千円)	0	0	10,774	改修箇所(箇所)		0	0	36

地球温暖化対策事業		地球温暖化対策実行計画に基づき、太陽光発電設備等への補助事業、市民環境講座や緑のカーテンによる啓発等の事業を行います。 令和3年度から、太陽光設備の設置を拡大するため、無償設置サービスを提供する市内事業者に対する補助事業を開始します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
環境政策課	拡充	14,414		14,186	17,533	17,869	5,550	12,319
主な活動目標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
地球温暖化対策省エネルギー設備補助金交付支給件数(件)	140	113	145	省エネルギー設備補助金による二酸化炭素の削減量(t-CO2)		241.54	185.14	301.90

生活環境の保全	主管課：環境政策課	関連課：なし
---------	-----------	--------

主管部局 環境部

施策の目的 ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる

1 資源の
有効利用

2 資源を
有効に
利用

3 資源の有
効な利用
を促進す

4 資源の有
効な利用
を促進す

5 エコなまち
づくりを
推進す

6 資源の有
効な利用
を促進す

7 エコなまち
づくりを
推進す

8 資源の有
効な利用
を促進す

9 資源の有
効な利用
を促進す

10 エコなまち
づくりを
推進す

11 資源の有
効な利用
を促進す

12 エコなまち
づくりを
推進す

13 資源の有
効な利用
を促進す

14 資源の有
効な利用
を促進す

15 資源の有
効な利用
を促進す

16 エコなまち
づくりを
推進す

17 エコなまち
づくりを
推進す

まちの状態指標		指標の説明または出典元			H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
1人1日当たりのごみ発生量		ごみ処理量の推移（クリーンセンター）			848	861	813	g	↓
資源化率		ごみ処理量の推移（クリーンセンター）			21.8	24.0	27.6	%	↑
令和2年度 の 取組みと評価・改善点					令和3年度 の 現状・課題・取組み				
一般廃棄物を衛生的かつ適正に処理するため、ごみ分別の啓発やごみ収集事業者への指導、処理施設の運転及び整備等に努めました。 市民等への出前講座やごみ収集業者への研修・講習会等の開催したほか、ごみ減量やリサイクル率の向上を目的とする指定ごみ袋の導入について、出前講座や市内4地域での説明会、広報ながれやまや市ホームページ等での周知を図りました。 廃棄物処理施設の安定稼働に努め、計画的な整備及び長寿命化総合計画の策定を実施しました。また、森のまちエコセンターでの剪定枝資源化、エコ堆肥の無料配布（月2回）を実施しました。 市民等への啓発や指定ごみ袋などを通じて、ごみ減量やリサイクルを推進するとともに、廃棄物処理施設の適正な整備・修繕を通じて、安全かつ安定的な処理を確保していく必要があります。					一般廃棄物処理基本計画の1人1日当たりのごみ発生量の目標達成を目指す中、指定ごみ袋の周知拡大が必要です。 令和3年10月から試行期間を設け、令和4年4月の本導入に向け、ホームページの掲載やパンフレット、ごみカレンダーの配布を行っています。さらなる周知拡大のため、ごみ出前講座や、本年度導入予定のごみ分別促進アプリを利用した周知を行います。 廃棄物処理施設については、適正な定期整備を実施し、施設の安定的な運転と維持管理に努めるとともに、ごみ焼却施設の長寿命化整備の工事発注に向けて、長寿命化総合計画に基づく詳細仕様書の作成等の準備を行います。 森のまちエコセンターにおける剪定枝資源化は、安定的なエコ堆肥の生成・配布に努めます。				
ごみの減量化・資源化の推進					主管課：クリーンセンター 関連課：なし				
ごみ減量・資源化事業		ごみの減量、分別促進を図るため、指定ごみ袋やごみ分別アプリの導入、食品ロス削減の先進地視察及び事業系排出者へのアンケートを実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
クリーンセンター	継続	668		244	9,987		608	0	608
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
ガレージセール実施回数(回)		4	1	3	1人1日当たりのごみ発生量(g/1人・日)		861	813	801
ごみ出前講座回数(回)		3	4	4	資源化率(%)		24	28	28
令和2年度 の 取組みと評価・改善点					令和3年度 の 現状・課題・取組み				
廃棄物減量等推進員への委嘱後、活動資料を送付しごみの減量等について周知に努めました。また、ごみの減量やリサイクル率の向上を目的とし、令和4年度から導入する指定ごみ袋に際し、ごみ出前講座や市内4地域での説明会を行ったほか、広報ながれやま・市のホームページ・YOUTUBE等での周知を行ったことで、ごみの減量・分別についても周知することができました。 指定ごみ袋の周知については、試行期間を設けることや、廃棄物減量等推進員に必要な資料を送付することでより広く周知することができると考えます。					ごみの減量やリサイクル率の向上を目的とした指定ごみ袋の周知について対策が必要な状況です。周知等については、10月から試行期間を設け、令和4年4月の本導入に向け、ホームページの掲載やパンフレット、ごみカレンダーの配布を行っています。さらなる周知が必要と考えます。 周知拡大を図るため、ごみ出前講座を行うほか、ごみ分別促進アプリの導入に際し、指定ごみ袋の周知を併せて行います。				
リサイクル推進事業		集団回収を実施するリサイクル団体の活動支援やごみ減量化促進ポスターコンクールの開催及び各種講座等を開催します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
クリーンセンター	継続	171,822		191,633	9,404		223,986	1,315	222,671
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
リサイクル団体登録数(団体)		254	254	254	集団回収量(t)		9,007.54	9097.82	9097.82
リサイクル講座(教室)開催数(回)		70	49	50	リサイクル講座(教室)の参加者数(人)		911	998	1,050
令和2年度 の 取組みと評価・改善点					令和3年度 の 現状・課題・取組み				
コロナ禍で各学校の負担が増したため、ごみ減量化促進ポスターコンクールは開催しませんでした。また、コロナ禍のため、各種講座等開催回数も減少しました。 市民が参加するリサイクル団体へは、報償金及び備品等を支給し、活動支援を行いました。 給食の生ごみの減量・資源化を目的に学校に設置している生ごみ処理機については、老朽化や、学校の残渣量が減少していることから設置当初の目的は達成できたと考えられるため、令和3年度の撤去を決定しました。					コロナ禍でのごみ減量化促進ポスターコンクール、各種講座の開催について検討が必要です。生ごみ処理機の撤去に伴い、給食残渣の減量・資源化について新たに対策が必要です。 ごみ減量化促進ポスターコンクールの開催においては、各学校担当者と連携し、無理のない範囲で開催するよう努めます。 各種講座についても、3密を避け、人数や内容を調整したうえでできる限り開催していきます。 また、給食残渣の減量・資源化については、肥料化ではなく飼料化に向けて研究していきます。				
リサイクル館施設整備事業		リサイクル館の機器の劣化が進んでいることから、機器類の性能を担保するため機器を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
クリーンセンター	継続	35,200		35,412	3,506		25,000	0	25,000
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
修繕費(千円)		12,875	35,412	25,000	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数(件)		0	0	0
令和2年度 の 取組みと評価・改善点					令和3年度 の 現状・課題・取組み				
リサイクル館の中央監視システムの交換補修、プラスチック供給コンベアの補修、プラスチック容器圧縮梱包機の補修など、適正な廃棄物の処理と設備性能の維持を図る整備を実施しました。稼働から17年が経過しており、施設・設備の状況を見極め、必要な修繕・整備を実施していく必要があります。					経年劣化に対する施設・設備の修繕を実施し、適正な処理と施設の安定稼働に努めます。				
一般廃棄物の適正処理					主管課：クリーンセンター 関連課：なし				
ごみ焼却施設整備事業		ごみ焼却施設の安全操業、適正な廃棄物処理を実施するため、定期的に設備を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
クリーンセンター	継続	400,000		524,460	7,013		420,000	0	420,000
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
修繕費用(千円)		560,491	524,460	420,000	機器類の不具合に伴う、施設の稼働停止件数(件)		0	0	0
令和2年度 の 取組みと評価・改善点					令和3年度 の 現状・課題・取組み				
ごみ焼却施設は、廃棄物処理法、電気事業法及び労働安全衛生法などに基づく整備を適正に実施していく必要があります。令和2年度は、主に電気事業法に基づくボイラー整備及び酸素発生装置の分解整備を実施しました。 今後、実施する施設の長寿命化整備との調整を図りながら、適正な定期整備を実施していく必要があります。					ごみ焼却施設の定期整備に当たっては、施設・設備の状況を見極め、今後の長寿命化整備との調整を図りながら、関係法令を遵守して実施します。				

※予算等の金額の単位は千円です。

主管部局 環境部 施策の目的 ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる



一般廃棄物の適正処理 主管課：クリーンセンター 関連課：なし

クリーンセンター放射能対策事業	国が設置する長期保管施設へ移設するまでの間、国に代わって指定廃棄物を安全に一時保管します。また、焼却灰や排ガス等に含まれる放射性物質のモニタリング測定を継続し安全を確保します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
クリーンセンター	継続	2,137		2,040	4,208	3,902	3,902	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
焼却灰等の放射能濃度測定回数(回)	75	75	75	指定廃棄物(溶融飛灰)の一時保管量(トン)		582	582	582
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
指定廃棄物の焼却灰は、国が設置する長期保管施設が設置されるまでの間、安全に一時保管していきます。一時保管施設周辺の放射線量は、定期的に測定し、安全を確認しています。また、一般廃棄物の処理に伴い、焼却灰や排ガスなどに含まれる放射能濃度測定を定期的に実施しています。令和2年度については、安定的に廃棄物を処理するため、定期的に各種測定を実施し、安全を確保できました。今後も、定期的に測定を実施し、安全を確保していく必要があります。				指定廃棄物の長期保管施設の設置について、国へ継続的に要望していきます。また、焼却灰や排ガス中に含まれる放射性物質の測定を定期的に実施し、安全を確認しつつ適正なごみ処理を行います。さらに、一時保管施設の安全を継続的に確保していくため、水害対策に伴う実施設計業務を行います。				

廃棄物処理施設延命化事業	ごみ焼却施設の長寿命化整備に向け、令和2年度に策定した長寿命化総合計画に基づき施設整備に係る仕様書の策定等を進めます。令和3年度 設計 令和4年度 発注・整備工事 令和5年度 整備工事							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
クリーンセンター	継続	12,500		6,300	18,728	2,698	899	1,799
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
長寿命化総合計画策定の進捗状況(%)	0	100	-	CO2排出量の削減率(%)		0	0	0
長寿命化詳細仕様書作成の進捗状況(%)	0	0	100					
令和2年度 of 取り組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取り組み				
ごみ焼却施設の長寿命化に向けて、維持補修履歴の整理、施設保全計画及び延命化計画の検討などを行い、長寿命化総合計画を策定しました。				稼働から17年が経過しているごみ焼却施設について、令和4年度から実施する長寿命化整備に向けて、長寿命化総合計画に基づく詳細仕様書の作成等の準備を行います。なお、整備に当たっては、二酸化炭素排出量5%以上削減を図ることにより国庫補助金の活用を図ります。				

主管部局
 経済振興部
 施策の目的
 消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
小売吸引力指数	本市の人口1人当たり年間商品販売額÷千葉県全体の人口1人当たり年間商品販売額（総務省・経済産業省）※1 2014(H26)年商業統計 ※2 2016(H28)年経済センサス	0.730(※1)	0.765(※2)	0.765(※2)	-	↑
1事業所当たりの製造品出荷額等	（総務省・経済産業省）※1 2014(H26)年商業統計 ※2 2016(H28)年経済センサス	532(※1)	682(※2)	682(※2)	百万円	↑
法人市民税	普通会計決算カード（財政調整課）	68,731	75,478	令和4年1月頃公表予定	万円	↑

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
・新型コロナウイルスの感染拡大により市内経済が大きな影響を受ける中、流山商工会議所をはじめとする関係機関と連携を図りながら市内商工業者に対する支援事業を展開しました。 ・市資金融資制度を活用し、セーフティネット4号認定を受けた中小事業者等の利子及び信用保証料の全額補給を行うとともに、テナント支援協力金事業、テイクアウト・デリバリー応援事業など、市独自の事業を実施しました。 ・国が進める働き方改革の普及、就労機会の創出に向け求人情報の提供、セミナーの開催、個別相談に取り組んできました。 ・市民生活の利便性向上と雇用機会の見込まれる企業、事業所の誘致を行ってきました。 ・新型コロナウイルスの影響を受けた市内事業者の支援、就労支援、企業等の誘致に引き続き取り組みます。	・コロナ禍により市内経済は大きな影響を受けていることから、引き続き関係機関と連携を図り、市内事業者等に対する支援、創業者への支援を行います。 ・新型コロナウイルスの感染拡大により、就労環境にも大きな影響が出ていることから、より丁寧な支援を進めます。既存の施策に加え「就職氷河期世代の就労」についても側面支援し、多様な世代の就労促進に努めます。 ・市民の利便性の向上と雇用機会の見込まれる事業所等の誘致活動に努めます。

魅力ある事業者の育成・誘致	主管課：商工振興課	関連課：なし
---------------	-----------	--------

中小企業資金融資事業	市内中小企業者の育成と振興に寄与するため、金融機関を通じた資金融資の実施及び融資利息の一部補助を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
商工振興課	継続	143,095		142,361	10,520	142,573	130,034	12,539
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
商工会議所役員会等参加回数（常任委員会、商業部会、工業部会）（回）	36	36	36	融資件数（件）		25	12	25
流山工業団地役員会参加回数（回）	12	12	12	利子補給件数（件）		189	151	190

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
・市制度融資の申請について関係法令に則り審査を行い、12事業所に対し資金融資を実行し、151事業所に対し利子補給を行いました。 ・新型コロナウイルス感染拡大を端緒とする景況悪化に備えた運転資金等の融資については、別途「新型コロナウイルス感染症対策事業」を創設して対応しました。	・従来の市制度融資については、新型コロナウイルス感染拡大の影響による景況の見通し判断が難しいこともあり、融資申し込みは少数となると思われます。 ・対前年度比での売り上げ減少による「セーフティネット4号認定」の融資については、引き続き「新型コロナウイルス感染症対策事業」で対応することとし、感染問題の長期化に伴う申請数の増加が生じた場合にも迅速に対応できるよう努めます。

創業支援事業	流山商工会議所や千葉県信用保証協会と連携し、創業者（5年未満）を対象とした「ワンストップ相談窓口」及び「女性向け創業スクール（ゼミナール）」を実施します。実施にあたっては、流山商工会議所や千葉県信用保証協会所属の経営相談員と協力しています。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
商工振興課	継続	1,329		1,320	1,403	1,320	0	1,320
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
女性向け創業スクール受講生（人）	34	11	15	創業者数※女性向け創業スクール卒業生（人）		6	3	10

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
・ワンストップ相談窓口での相談対応時に流山商工会議所所属の経営相談員による創業計画策定にかかる支援を併せて行いました。 ・流山商工会議所が行っている「創業塾」の卒業生と市が行う「女性向け創業スクール（ゼミナール）」の卒業生の交流が図られるようになりました。 ・創業スクール（ゼミナール）の受講生と卒業生を対象に各種サポートを行い創業への第一歩を踏み出すきっかけづくりとなるよう「創業コンシェルジュ」を設置しました。 ・「女性向け創業スクール（ゼミナール）」は、11人が受講し3人の卒業生が起業しました。	・創業者に対する「ワンストップ相談窓口」での相談のほか、流山商工会議所と連携した創業にかかわる支援を行います。 ・新規受講生及び卒業生を対象に実践方式の講座を行うほか、卒業生の悩み、不安、孤立感等の解消や事業連携の構築を図るために卒業生同士の交流会を開催します。 ・「創業コンシェルジュ」では、創業期における経営、会計、販売促進、販路拡大、法人設立後の手続きなどの相談に対応します。

商店街空き店舗有効活用事業	空き店舗を開業地として活用する創業者に対し、事業開始に必要な改装費の一部、創業期における賃料の一部を補助し、もって地域の商業活性化を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
商工振興課	継続	4, 876		6, 549	1, 403	7, 373	0	7, 373
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
相談延件数（件）	16	26	30	補助金交付件数（件）		6	10	10

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
・事業の継続性が見込まれるよう、創業者の事業計画について、流山商工会議所所属の経営指導員と共に助言等を行っています。 ・新たに4名が空き店舗を活用して小売店や飲食店等を創業するに至り、改装費及び賃料の一部助成を行いました。 ・賃料の一部助成が継続中の事業者に対して、流山商工会議所所属の経営指導員と共に自立に向けた経営支援を行いました。	・空き店舗の減少や地域の活性化と創業者支援の両面で有効な事業であるため、創業を検討する方への周知を図ります。 ・対象が創業者であり多種多様な経営課題や悩みを抱えている場合があるので、創業時に策定した事業計画と比較して実態に乖離が生じていないかを注視し、必要に応じて千葉県の「よろず相談」を紹介するなど対応します。

主管部局
 経済振興部
 施策の目的
 消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる



魅力ある事業者の育成・誘致
 主管課：商工振興課
 関連課：なし

企業立地促進事業		地域産業の発展と市民の雇用機会の拡充、市の財政の安定、まちの活性化に資する事業所・店舗等の進出を促進します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
商工振興課	継続	4,090		3,693	14,026	12,673	0	12,673
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
面談にいった事業所等の数(件)	90	49	50	企業等立地促進奨励金の交付対象事業所等の新規立地件数(件)		1	1	3
面談・相談等の数(件)	175	87	90	物件のマッチング等の支援を行った事業所等が立地に至った件数(件)		1	0	3
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・DEWKS世帯の転入と高い合計特殊出生率を背景に、小児科及び産科クリニックの混雑が深刻化し、当該2科目のクリニックの開業促進が喫緊の課題となっています。 開業志向医師に向け、流山市における市場性と開業した際のインセンティブ(奨励金制度の適用)の周知等に努めました。 ・医師向けの資料作成、開業支援コンサルタントとの協力関係構築、物件候補地情報の収集、WEB広告配信、医師との面談といった開業に至るまでのロジックを整理したうえで、効率的かつ効果的な誘致活動を展開してきた結果、小児科クリニックにおいて2施設の誘致をすることができ、R3年度の開業に向け準備を進めているところです。				・出生数の増加と高い合計特殊出生率を背景に、特に産科クリニックの混雑が深刻化し、開業促進が喫緊の課題となっています。 ・昨年度実施した産科医師向け広告配信により、開業の問合せのあった医師に対し、開業に至るまでに必要な情報提供、関係機関との調整などの支援を行います。				

就労の支援
 主管課：商工振興課
 関連課：なし

地域職業相談室運営事業		江戸川台駅前庁舎に『ジョブサポート流山』を設け、国（松戸公共職業安定所）の相談員2名、市の地域職業相談員1名を配置して、求職者に対する相談対応と企業への紹介手続き等を行い、地域就労需要に対応した就職活動への支援を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
商工振興課	継続	1,843		2,292	1,793	2,471	0	2,471
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
相談者数（人）	3,548	3,300	3,400	市民の利用者数（人）		2,310	2,697	2,600
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・国と市の相談員が、求職者に対する職業相談及び職業紹介を実施して就労支援を行いました。 ・求職者が抱える不安や悩みに配慮した丁寧な対応に心がけるとともに、面談を通じて求職者の資質を見極めて求職者が納得できるような就職先の紹介に努めています。				・生産年齢人口の減少による求人過多が続いていたが、コロナ禍の長期化により消費動向の変化が生じつつあり、これに合わせて雇用情勢も変化しているため、こうした社会情勢の変化を見極めた対応に努めていきます。 ・「ジョブサポート流山」に訪れる求職者に対し、同フロアで実施している伴走型支援の「就職個別相談」を案内し、求職者の不安や悩みに配慮した丁寧な相談に応じた就職先の紹介支援を行います。 ・相談業務にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止にかかるガイドラインに従った感染対策を講じたうえで対応します。				

就労支援セミナー企画運営事業		江戸川台駅前庁舎内の「ジョブサポート流山（流山市地域職業相談室）」において、求職者を対象とした各種就労支援セミナーを開催するほか、就職まできめ細やかな相談を継続的に実施します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
商工振興課	拡充	8,061		7,965	1,114	12,243	3,129	9,114
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
就職個別相談相談者数（人）	67	108	100	就職個別相談就職者数（人）		58	87	70
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・ハローワークや千葉県ジョブサポートセンターとの連携により、「ジョブサポート流山」にて各種セミナー、会社説明会を共催するほか、市単独事業として「就職個別相談」を常設し、相談にいられた求職者が就職するまできめ細やかな相談に応じています。 ・就職率は約90パーセントと高く、十分な成果が出ています。 ・求職者と求人企業とのミスマッチが極力生じないよう、両者の特性を充分に確認したうえでマッチングを行っています。 ・正規雇用に繋げることは生活の安定はもとより、ワークライフバランスの向上の実現が期待できます。 ・コロナ禍による雇用情勢の悪化を懸念し、令和2年6月から「新型コロナウイルス対策個別相談緊急窓口」を開設しました。				・求職者が抱える不安や悩み等に寄り添い、本人の適正を的確に把握することに努め、求職者と求人企業の双方にメリットのあるマッチングに努めます。 ・令和3年度からの2か年事業として、「就職氷河期世代（概ね35歳から54歳まで）」に特化した個別相談とパソコン講座等の就職までの伴走型支援を実施します。実施にあたっては、厚労省の「地域就職氷河期世代支援加速化交付金」を活用します。				

主管部局 経済振興部 施策の目的 都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
認定農業者数	市の認定を受けた農業経営者	41	41	43	経営体	↑
農業算出額（推計）	千葉農林水産統計年報の市町村別農業産出額推計結果※H30実績（H28～H29）、R1（H29～H30）、R2実績（H30～R1）年	191(※)	229(※)	230(※)	千万円	↑

令和2年度の取組みと評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
市内小中学校及び保育所に、流山産米の通年供給と市内産野菜の供給拡大に取り組み食育と地産地消の推進が図れました。今後も市内農業者の生産性と収益性の推進を継続する必要性があります。 本市農業の中心的役割を担っている認定農業者に対する環境配慮型農業資材の支援や市内農業者が農業経営の安定化や収益性の推進が図れるよう農用地利用集積事業や農業振興資金融資事業等に取り組み農地の有効活用を図り、収益性を高めていくことが必要です。 都市化の進展により都市農業の利点を活かした産直販売の促進や学校給食への流山産米の継続と市内産野菜の供給拡大を図る必要があります。	学校給食への取り組みとして流山産米の通年供給を継続し、市内産野菜の供給を拡大するために、生産性や効率性を向上させるため農業に関係する団体等と協力して、市内農業者の支援に取り組みます。 認定農業者を中心に市内農業者に対し、農用地の有効活用と生産性と収益性の向上のための事業を継続し、より有効的な収益の向上につながる継続的な支援に取り組みます。 都市農業としての利点を活かした直売やスーパー等の産直販売を促進し、学校給食への流山産米の継続的な供給と市内産野菜の効率的な供給システム等の支援に取り組みます。

農業経営改善の充実	主管課：農業振興課	関連課：なし
-----------	-----------	--------

農業振興資金融資及び利子補給事業		農業後継者、新たに農業を営む者等に、融資機関を通じて農業振興資金を貸し付け、利子の一部を補給し都市農業の安定的な継続ができる効率的な農業経営の拡大を図ります。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
農業振興課	継続	5,337		5,382	1,642	5,361	5,000	361
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
利子補給金額（千円）	300	382	361	利用実績件数（件）		4	1	2
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 農業を営む者等に、農業経営に係る負担を融資機関を通じて農業振興資金を貸し付けを行い、その利子の一部を補給します。 (評価) 利子補給することで都市農業の安定的な継続が図れました。 (改善点) 安定的な農業経営が継続的に行えるよう本事業の周知に努めます。				(現状・課題) 農業を営む者等が、安定的な農業経営が継続的に行えるよう努めています。 (取組内容) 資金融資制度の活用により都市農業の安定的な農業経営が継続的に行えるよう活用を促進します。				

認定農業者支援事業		本市農業の中心的な役割を担っている認定農業者が購入する環境配慮型農業資材費の一部を支援することにより、生産規模の拡大及び効率化を図り、更なる農業振興を推進します。環境配慮型農業資材の購入を促進することにより、減農薬、化学肥料使用の削減に繋がり環境にやさしい農業を推進します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
農業振興課	継続	1,900		1,900	1,642	2,500	0	2,500
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
実績補助金額（千円）	1,900	1,900	2,500	認定農業者数（経営体）		41	43	43
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 認定農業者の農業生産の効率化を進めるため、環境配慮型農業資材の購入費の一部を補助金として支援します。 (評価) 本事業が多くの認定農業者が活用できるよう事業周知に努めました。 (改善点) 認定農業者が更なる本事業の活用を推進する必要があります。				(現状・課題) 多くの認定農業者が活用し、生産性と収益性が向上するよう、環境配慮型農業資材の購入費の一部を継続して支援していく必要があります。 (取組内容) 認定農業者の生産性、収益性が向上するよう支援の継続に努めます。				

青年就農給付金支援事業		新規認定就農者の更なる農業意欲と農業所得の向上を図り、新たな就農希望者の発掘に寄与するものです。 農業次世代人材投資事業交付金（経営開始型）の給付を国からの補助を受けて、最長5年間支援します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
農業振興課	継続	2,250		2,250	940	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
交付金額（千円）	3,000	2,250	0	新規認定就農者数（人）		2	2	-
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 新規認定就農者2名を認定し、農業次世代人材投資事業交付金（経営開始型）を交付しています。 (評価) 新規認定就農者の農業意欲と農業所得の向上に努めました。 (改善点) 本事業の周知と推進が必要であります。				(現状・課題) 2名の新規就農者に対して、農業次世代人材投資事業交付金（経営開始型）を交付していたが、令和2年度で終了し、令和3年度は対象者がいません。 (取組内容) 新たな新規就農者の発掘に取り組みます。				

主管部局

経済振興部

施策の目的

都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る



農業への理解の促進

主管課：農業振興課

関連課：なし

学校給食地産地消推進事業	地産地消を推進し、流山産米を市内小中学校及び保育所の給食に提供するため、水稻生産者等を助成することで安定的に通年供給できるよう確保します。なお、学校給食については、米以外にも地元野菜の供給拡大を促進します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
農業振興課	継続	15,180		14,490	1,642	14,030	0	14,030
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
米飯給食実施回数(回/年)	2,750	2,250	2,750	学校給食への流山産米の出荷量(ｔ)		195	189	198
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 流山産米を学校給食に通年供給するため、水稻生産者等に助成することにより安定供給の確保を図っています。 (評価) 水稻生産者の収益性の安定が図れました。 (改善点) お米以外の地元野菜の安定供給を促進する必要があります。				(現状・課題) 流山産米を継続的に学校給食に供給するため、水稻生産者等に助成することで、水稻生産者の収益性の安定を図っています。 (取組内容) 地元野菜の学校給食への供給も促進します。				

市民農園事業	遊休農地等を土地所有者から借上げ、市民農園として市民が農作業を実践する場、家族や市民相互のふれあいの場として有償提供するとともに、更なる遊休農地の有効活用を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
農業振興課	継続	1,306		1,306	1,642	1,162	1,160	2
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
市民農園借り上げ面積(m ²)	11,668	10,003	10,003	農園数(農園)		6	6	6
令和2年度 of 取り組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取り組み				
(取組内容) 遊休農地等を農地所有者から借り上げ、市民農園として有効活用を図っています。 (評価) 遊休農地等の有効活用が図れ、市民の家庭菜園での野菜作りのニーズに寄与しています。 (改善点) 農園に空き区画が発生した場合の新規利用者を募集する。				(現状・課題) 遊休農地の有効活用として、農地の所有者から借り上げていますが、契約解除になった場合の代替等がすぐに見つからないことが課題となっています。 (取組内容) 今後も遊休農地の有効活用を図ります。				

主管部局 経済振興部 施策の目的 地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る



まちの状態指標		指標の説明または出典元		H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
入込客数		施設、イベントの入込客数（流山本町・利根運河ツーリズム推進課）		352, 075	366, 065	147, 548	人	↑
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
コロナ禍におけるマイクロツーリズムを推進するため、流山本町おさんぼキャンペーンとして施設や飲食店を巡っていただく企画を実施しました。 来訪者の受入態勢の充実のため、流山セントラルパーク駅及び南流山駅から流山本町への観光客を誘導するための観光案内板を設置しました。 改善点として、新型コロナウイルス感染症の影響により、入込客数が減少がみられることから、更なるコロナ禍に沿ったイベント事業を推進します。				新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続きツーリズム分野においては、厳しい状況にあります。 コロナ禍におけるツーリズムの在り方として、自宅から1時間以内を目安に旅行するマイクロツーリズムがあり、本市の隣接市には多くの住民がいることから、隣接する地域へ情報誌によるPRを行い、引き続きマイクロツーリズムを推進します。 コロナ禍から次のフェーズになった時に賑わいを取り戻せるよう、流山本町と利根運河の両地域において、歴史・文化・食を体感できるコト体験施設や修景施設等のハード整備を国の補助金等を活用して推進します。				

地域資源を活かしたツーリズムの振興 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課 関連課：図書館、博物館、マーケティング課

流山版DMO推進事業		観光地域づくりの舵取り役として官民連携により設立された法人である流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）の活動を支援し、観光振興を推進します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	拡充	0		29,400	3,507	30,000	22,500	7,500
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				流山本町地域への来訪者数（人）		265,967	49,962	-
令和2年度 の 取組み と 評価 ・ 改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
流山版DMOとなる法人の設立に向けた業務を行い、令和2年8月、官民連携により株式会社流山ツーリズムデザインが設立されました。市ではその設立を支援し、資本金の出資を行いました。				特産品である白みりんの新しいコンテンツ開発に国の交付金を活用し、流山版DMO（株式会社流山ツーリズムデザイン）と共に取り組みます。				
流山本町・利根運河ツーリズム推進事業	流山本町及び利根運河地域の歴史的建造物を活用し、飲食店やギャラリー、観光情報の発信等を行う拠点を創出します。また、地域情報誌掲載による観光PRを行い、来訪者の増加を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	継続	5,725		4,380	897	2,379	0	2,379
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
ツーリズム推進事業補助金相談回数（回）	4	4	4	ツーリズム推進事業補助金（改装）件数（件）		0	0	1
				ツーリズム推進事業補助金（家賃）件数（件）		1	1	1
令和2年度 の 取組み と 評価 ・ 改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
地域内で観光するマイクロツーリズムを推進するため、流山本町おさんぼキャンペーンと題して施設や飲食店を巡っていただく企画を実施しました。				コロナ禍におけるツーリズムの在り方として自宅から1時間以内を目安に旅行するマイクロツーリズムがあります。本市の隣接市には多くの住民がいることから、隣接する地域へ情報誌によるPRを行い、引き続きマイクロツーリズムを推進します。				

来訪者の受入体制の充実 主管課：流山本町・利根運河ツーリズム推進課 関連課：なし

外国人観光客誘致促進事業		本市への外国人観光客の誘致に向けて観光情報をPRするプロモーションを行います。また、国際交流員（C I R）による、インバウンド需要に対応するための受入れ環境整備を進めます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	継続	6, 816		3, 465	1, 166		4, 900	0	4, 900
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
英語版観光ガイドマップ配布数（部）		35, 000	-	-	外国人観光客来訪者数（人）		386	-	-
令和2年度 の 取組み と 評価 ・ 改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外国人観光客へ向けたプロモーション活動を行うことはできませんでした。 しかしながら、C I Rによる店舗メニューの英語化や接客をサポートする指差しシートの作成、SNSを使った観光情報発信等を行うなど、インバウンド需要回復時に向けた受入れ環境整備を進めました。					新型コロナウイルス感染症の影響により外国人観光客へ向けたプロモーション活動は難しい状況のため、C I RによるSNSを活用した情報発信等を引き続き実施します。				

利根運河地区ツーリズム環境整備事業		利根運河地域の歴史や自然環境を活かしたツーリズム環境の整備を行い、観光振興及び交流人口の増加を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	継続	29, 000		139, 668	3, 507		8, 144	7, 071	1, 073
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
					利根運河地域の来訪者数（人）		67, 375	49, 317	-
令和2年度 の 取組み と 評価 ・ 改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
令和元年度に土地開発基金により購入した、旧割烹新川屋本館建物及び土地の取得費用について、国の都市構造再編集中支援事業補助金を活用し、土地開発基金への繰戻しを行いました。					旧割烹新川屋本館を観光・地域交流センターに整備するための設計・測量を行います。				

流山本町地区ツーリズム環境整備事業		流山本町地域の歴史的建造物を活かしたツーリズム環境の整備を行い、観光振興及び交流人口の増加を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
流山本町・利根運河ツーリズム推進課	継続	17, 524		17, 045	3, 507		7, 073	6, 682	391
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
					流山本町地域の来訪者数（人）		265, 967	49, 962	-
令和2年度 の 取組み と 評価 ・ 改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
流山セントラルパーク駅及び南流山駅から流山本町へ観光客を誘導するための観光案内板を設置しました。					令和2～6年度にかけて、流山本町地域への更なる誘客を図るための整備を行います。 令和3年度は、赤城山公園の修景整備を行うための設計及び測量を行います。				

1 生活環境の向上
 2 健康づくり
 3 子育てにやさしいまちづくり
 4 教育・文化・スポーツ
 5 エンターテインメント
 6 環境・自然・防災
 7 社会福祉・高齢者
 8 経済・産業・雇用
 9 都市・交通・まちづくり
 10 人々の暮らしと安全
 11 防災・安全・防災
 12 防災・安全・防災
 13 防災・安全・防災
 14 防災・安全・防災
 15 防災・安全・防災
 16 防災・安全・防災
 17 防災・安全・防災
 健康福祉部
 施策の目的
 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる

まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
高齢者の人口	住民基本台帳人口（市民課）※翌年度4月1日時点	45,411	46,162	46,689	人	—
生きがいを感じる高齢者の割合	「生きがいをもって元気に暮らしていると思いますか」における「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の割合（まちづくり達成度アンケート）	82.8	78.8	79.0	%	↑
要介護・要支援認定率	65歳以上の要介護・要支援認定者数／第1号被保険者数（65歳以上）×100（介護支援課）※翌年度4月1日時点	16.7	17.2	17.9	%	↓

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の実績・課題・取組み
（主な取り組み） ・高齢者が住み慣れた地域で元気に生き生きと暮らし続けるよう、生活支援や介護予防に取り組みました。 ・高齢者施設での感染予防対策について周知するとともに、新型コロナウイルス感染症の陽性者が判明した場合の初動対応の徹底を図り高齢者施設における感染を最小限にとどめることができるように努めました。 （評価） ・感染予防を徹底し、集いの場や体操グループ等の継続支援を行いました。 ・地域包括支援センターや在宅医療連携推進等の会議ではオンラインを活用し連携を図りました。 （改善点） ・感染対策を継続し、生活支援や介護予防の取り組みを行います。	（現状と課題） ・高齢者人口、要介護・要支援認定者率が増加しています。 ・コロナ禍での高齢者の相談・対応体制の充実、介護予防の取り組みが必要と捉えています。 （主な取り組み内容） ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業を開始し、関係各課と連携を図り更なる介護予防に取り組みます。 ・権利擁護促進のため中核機関を設置し、成年後見制度の利用促進を図ります。 ・高齢者施設等の感染予防対策、感染拡大防止対策の徹底を図るとともに、新型コロナウイルスワクチンの迅速な接種に努めます。

多様な生きがいづくり
 主管課：高齢者支援課
 関連課：健康増進課

高齢者ふれあいの家支援事業	市内の空家等を利用し、閉じこもりがちな高齢者が自由に集まり、地域の子どもたちを含めた高齢者との交流や健康づくり、趣味活動ができる場所を提供していただける個人・団体等を支援します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	継続	5,923		4,084	7,013	5,946	0	5,946
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
年間開催総数（回）	5,290	2,561	2,600	年間利用者総数（人）		69,331	29,622	30,000
市内設置場所（か所）	25	25	27					
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の実績・課題・取組み				
（取組内容） 新型コロナウイルスの感染拡大防止を図るため、開設者に集いの場の運営にあたって注意事項等の情報提供及び個々の状況に応じた相談対応に努めたほか、非接触型体温計の貸与、マスク・アルコール消毒の配付をしました。 （評価） ふれあいの家2か所が活動を終了したが、新たな開設希望により令和2年度内に2か所を決定し、令和3年4月からは2か所開設することとなりました。引き続きふれあいの家の増設に努めてまいります。 （改善点） 毎年、開設者間の交流及び情報共有の場として、開催していた連絡会議をR2年度は中止したため、R3年度は開催可能な方法を検討していきます。				（現状と課題） コロナ禍においてもふれあいの家が安全に開催できるよう、開設者への支援に努めてまいります。 （取組） 新規開設を促進するため、関心の高い団体へ働きかけるとともに、開設場所の候補となる空き家情報の提供に努めます。また、特定のテーマに絞った意見交換会開催を開催し、参加者にとって、有意義となるよう参加者間の交流・連携が促進されるように機会を提供します。なお、テーマの一つに「多世代交流」を掲げており、ふれあいの家における世代と文化を超えた交流の促進に努めます。				

高齢者等市内移動支援バス事業	市内の事業所の協力のもとに送迎バスの空席を活用し、高齢者の活動範囲の拡大を支援することで積極的な社会参加を促進します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	継続	891		800	394	403	0	403
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
協力民間事業者数(団体)	5	5	5	利用件数(人)		4,120	60	-
運行ルート数(ルート)	6	6	6	新規利用登録者数(人)		192	74	75

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の実績・課題・取組み
（取組内容） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R2年度は移動支援バスの運行を中止しました。 （評価） コロナ禍においては、事業所の協力を得ることが困難なため、移動支援バスの運行中止はやむを得ないものと考えています。 （改善点）	（現状と課題） R3年度当初は引き続き運行を中止しておりますが、新型コロナウイルス感染状況の動向を注視しながら運行再開時期を判断してまいります。 （改善点） 運行再開が可能となった際には、速やかに準備を整えるとともに市民に周知をします。

地域ぐるみ支え合い体制づくり
 主管課：介護支援課、高齢者支援課
 関連課：なし

高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業	高齢者の保健事業（国保データベースから抽出したハイリスク者への専門職の訪問による個別相談・指導）と介護予防事業（専門職による集いの場への積極的な関与）を一体的に行いフレイル（虚弱）の予防を図ることで、要介護状態への進行の予防及び健康寿命の延伸を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	新規	0		0	0	11,110	11,110	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
通いの場での健康教育・健康相談の実施回数（回）	-	-	120	通いの場での健康教育・健康相談の参加人数（人）		-	-	1,200
糖尿病性腎症重症化予防プログラムおよび低栄養に関するプログラムの指導回数（回）	-	-	84	糖尿病腎症重症化予防プログラムおよび低栄養に関するプログラムの実施人数（人）		-	-	18
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				（現状と課題）コロナ禍で通いの場の活動が休止している箇所もある中で、現在実施しているグループに対してフレイル予防の重要性や専門職の介入の目的を理解していただきつつ、連携づくりを行い、医療専門職が出向く場を増加させて、フレイル（虚弱）予防の啓発を多くの高齢者へ展開していくことが課題です。 （取組内容）高齢者ふれあいの家、ながいき100歳体操自主グループの活動の場でフレイル予防の健康教育や健康相談を実施します。また、国保データベースから糖尿病性腎症と低栄養のハイリスク者への医療専門職の訪問等による個別相談・指導を行います。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

1 生活困窮者に対する支援
 2 災害時の対応
 3 子育てに関する支援
 4 障がい者に対する支援
 5 エンディングケア
 6 高齢者に対する支援
 7 高齢者に対する支援
 8 高齢者に対する支援
 9 高齢者に対する支援
 10 高齢者に対する支援
 11 高齢者に対する支援
 12 高齢者に対する支援
 13 高齢者に対する支援
 14 高齢者に対する支援
 15 高齢者に対する支援
 16 高齢者に対する支援
 17 高齢者に対する支援

1 生活困窮者に対する支援
 2 災害時の対応
 3 子育てに関する支援
 4 障がい者に対する支援
 5 エンディングケア
 6 高齢者に対する支援
 7 高齢者に対する支援
 8 高齢者に対する支援
 9 高齢者に対する支援
 10 高齢者に対する支援
 11 高齢者に対する支援
 12 高齢者に対する支援
 13 高齢者に対する支援
 14 高齢者に対する支援
 15 高齢者に対する支援
 16 高齢者に対する支援
 17 高齢者に対する支援

地域ぐるみ支え合い体制づくり

主管課：介護支援課、高齢者支援課

関連課：なし

在宅高齢者介護予防・生活支援事業	公共交通機関の利用が困難な非課税世帯の単身高齢者を対象に、自宅の玄関から病院等の利用施設まで移動及び乗降の介助を支援します。また、理美容店へ出向くことが困難な高齢者には、訪問による理美容サービスを提供し、移動・出張に要する費用を助成します。								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	高齢者支援課	継続	11,625		9,591	7,013	9,869	878	8,991
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
	訪問理美容サービス提供事業者数(事業者)	18	18	18	訪問理美容サービス利用回数(回)		76	85	90
外出支援サービス提供事業者数(事業者)	6	6	6	外出支援サービス利用回数(回)		4,552	3,690	3,700	
令和2年度の実績と評価・改善点					令和3年度の実績・課題・取組み				
(取組内容) 外出困難な高齢者を対象に、病院への送迎サービスを行う外出支援サービス及び訪問による理美容サービスを提供しました。 (評価) サービスを必要としている高齢者を支援することで、在宅におけるQOLの向上に努めました。 (改善点) サービスを必要とする高齢者が利用しやすいように、丁寧な説明と制度の周知に努めてまいります。					(現状と課題) 令和2年度は新型コロナウイルス感染リスクの影響により利用実績が減少しましたが、高齢者人口の増加に伴い、サービスの対象者も増えていくことが見込まれ、一方では、サービスの存在を知らない高齢者も増えていくことが予想されます。 (取組内容) サービスを必要とする高齢者が利用できるように、丁寧な説明と制度の周知に努めてまいります。				

地域福祉センター整備事業	利用者に安全で快適な環境を提供するために、高齢者及び障害者福祉に関する複合施設である地域福祉センターのエレベーターの改修工事を実施します。令和3年度 改修工事							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	継続	843		770	7,013	28,322	25,300	3,022
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
地域福祉センター整備事業（事業者）	-	-	1					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 工事を行う前に、エレベータ改修工事に係る設計業務を依頼しました。				(現状と課題) 平成14年からご利用いただいている地域福祉センターのエレベータの老朽化に伴い、利用者の安全性を確保するため2か月間～3か月間改修工事を行います。				
(評価) エレベータ改修工事全般に対する計画や内容を把握することで、改修のポイントや工期、それに類する必要な事項を知ることができました。				(取組内容) 改修工事期間中はエレベータが利用できないことから、利用者の利便性及び安全の確保に努め、2階の施設をご利用する身体能力的に困難な方には簡易昇降機を設置します。				

地域包括支援センター委託事業	介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防するため、心身の状況や環境等に応じ、包括的な援助や福祉の増進を図るための包括的支援事業を実施し、地域住民の健康の維持及び生活の安定のための援助を行う、地域包括支援センターの設置・運営を委託します。								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	高齢者支援課	継続	144,756		144,756	14,026	144,756	144,756	0
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
	相談件数(件)※令和元年度より、地区の相談傾向を把握する集計方法に変更	17,884	17,432	17,500	運営状況調査評価指標の点数(全センター平均)(点)		51	52	52
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) コロナ禍でも高齢者なんでも相談室の事業を継続できるように、リモートでの地域ケア会議、運営協議会、ケアマネ交流会や研修会等を開催しました。各相談室の横の繋がりを強化するため、職種ごとの交流会をリモートで開催しました。 (評価) コロナ禍でもリモートでの会議等の工夫をしたことで、相談室の活動を継続し地域の関係者との連携を絶やさずに、さらなる効率化を図ることができました。 (改善点) 高齢者人口の増加に伴い、相談件数が増加し、その内容も複雑化・困難化しています。職員は高いスキルが求められ、職員確保や職員の育成、職員の定着が課題となっています。					(現状) 高齢者なんでも相談室の運営については、運営協議会での検討を通じて、適切な職員体制の確保や業務の重点化・効率化を進めています。 (課題) 市民の方からも顔の見える相談室の職員体制を確保と高齢者人口の増加に伴い、複雑化、増加する業務の重点化・効率化が課題です。 (取組内容) 各相談室の強み等をとりあえつつ、相談室間の交流、連携、情報共有を図り、各相談室の機能強化と職員のスキルアップに繋げていきます。高齢者支援課に地区担当保健師を配置し、後方支援を行います。				

在宅医療介護連携推進事業		医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
介護支援課	継続	16,932		11,272	15,819	16,187	16,187	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
介護と医療をつむぐ会開催回数(回)	5	5	5	情報共有システムを利用した在宅療養者数(延べ)(人)		34	38	44
出前講座開催回数(回)	3	2	3					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
【取り組み内容】医師や介護に係わる専門職の団体代表者による「在宅医療介護連携会議」を5回開催して医療と介護に関する課題解決を図りました。 「介護と医療をつむぐ会」では、これまで集合形式の研修やグループワークを行ってきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、情報共有システムを活用した感染症対策の情報発信や入退院時支援に関わる専門職へのアンケート調査、オンライン上での事例検討や動画配信を行いました。 【評価】在宅医療をコーディネートする体制について、在宅医療が必要となった患者を症状と専門性などを判断して各在宅医師に振り分ける体制の構築に、流山市医師会の在宅医療担当理事と協働し取り組みを開始できました。 【改善点】会議にあがった問題点等が解決までに長期間を要することや、事業の規模が大きく、結果が見えにくいことから、進捗の確認をこまめに行う必要があります。				【現状】病院からの入退院時等において、医療機関と在宅・施設サービスの連絡調整を円滑に行える体制作りを進める必要があります。 在宅医療や介護サービス、相談窓口等に関する市民の理解を深める必要があります。 【課題】流山市医師会の在宅医療担当理事や医療機関等との連携の中で、医療、介護の関係者が協働できる関係性ができ、良質な在宅医療介護が提供できる体制構築を進めていく必要があります。 市民に対して、在宅医療・在宅介護の知識や制度の普及啓発を行う必要があります。 【取組内容】「在宅医療介護連携会議」を通じて、現状把握や医療・介護連携の課題、対応策の検討を市内の医療介護職能団体と協働し行っています。 市内医療・介護職の研修、関係づくりの場である「介護と医療をつむぐ会」は、引き続きアドバンスケアプランニング(人生会議)をテーマに掲げ、専門職のスキルアップや連携体制づくりを目指します。「おうち療養情報紙」の発行や自治会等への出前講座開催を通じて、市民が在宅医療や介護、アドバンスケアプランニング(人生会議)の理解を深めることができるよう、啓発していきます。				

主管部局
 健康福祉部
 施策の目的
 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



介護体制づくり
 主管課：介護支援課、高齢者支援課
 関連課：なし

特別養護老人ホーム整備支援事業		特別養護老人ホームの入所待機者の解消に向け、高齢者支援計画に基づいて計画的に施設整備を進めます。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
介護支援課	継続	0		0	701	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
市内特別養護老人ホームの施設数(施設)	11	12	13	特別養護老人ホーム入所希望待機者数(人)		296	270	200
市内特別養護老人ホームの入所定員数(人)	876	976	1,076					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 令和3年4月1日開設予定の太陽の里おおたかの森(100床)と令和4年3月増設予定のはまなす苑の整備を進めました。 ・評価 令和2年4月1日に慶櫻美原の森100床(多床室40床、ユニット型個室60床)が開設しました。 ・改善点 特になし				・現状 令和3年4月に太陽の里おおたかの森100床(多床室40床、ユニット型個室60床)が開設予定です。 ・課題 令和3年1月現在の特養入所待機者270名の解消を図ること。 ・取組内容 第8期介護保険事業計画に従い、令和5年度までに170床の新規整備を進めます。				

介護人材確保支援事業	介護人材確保を目的として国、県の介護人材確保対策事業と連携しながら市内の介護保険施設、事業所の就業者の確保を目的とした事業を実施します。また、市単独事業として、介護福祉士の資格を取得して市内の介護施設等に勤務しようとする介護福祉士等の養成施設等の在学者へ就学資金の貸し付けを行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
介護支援課	継続	3,786		1,367	3,507	11,190	11,190	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
理解促進講座開催回数(回)	2	1	1	介護職員養成研修助成研修受講助成件数(件)		22	32	45
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の実績・課題・取組み				
R2年度 (取組内容) ・理解促進講座を1回開催しました。 ・介護職員初任者研修、実務者研修、生活援助従事者研修の研修費用等に関する助成についてご案内し、申請者を募集しました。 (評価) ・新型コロナウイルス感染症の影響により、理解促進講座の開催回数が減少しました。 ・介護職員養成研修受講助成について、申請者が増加しました。 (改善点) ・理解促進講座について、受講者数の減少傾向にあることや、感染症まん延時等における開催方法について、改善を図ることができると考えています。				R3年度 (現状) ・介護職員の確保は困難な状況が続いています。 (課題) ・市内事業所に就業する介護職員数を増加させます。 ・職員数の増加とともに、サービスの質の向上も目指していきます。 ・潜在的介護職員の掘り起こしを行います。また、現職介護職員の士気高揚を目指します。 (取組内容) ・介護職員養成研修受講助成により、市内事業所における有資格の介護職員数の増加を図ります。 ・介護福祉士修学資金貸付事業により、指定養成施設で修学し、介護福祉士資格の取得を目指す学生に対し、資金の貸付けを実施することで、市内事業所の介護サービスの質の向上を目指します。 ・個別就職相談会によるマッチングや、長期動続介護職員の表彰等を実施し、介護人材の確保と定着支援を実施します。				

高齢者介護予防普及啓発事業	介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防教室を実施します。また、知識の普及啓発を目指し、パンフレットの作成、配布を行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	継続	804		469	3,000	1,036	1,036	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
講演会開催数(回)	20	29	21	講演会参加延べ人数(人)		619	219	230
				ながいき100歳体操グループ数(グループ)		42	47	60
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の実績・課題・取組み				
(取組内容)「ながいき100歳体操」の普及啓発活動として介護予防教室の「筋力アップ教室」を実施しました。また、介護予防教室として「朝活!シニア塾〜ラジオ体操でフレイル予防〜」を実施しました。 (評価)新型コロナウイルス感染症の影響下においても高齢者が介護予防に取り組めるよう、感染症対策に留意し、安全かつ効果的に介護予防教室を運営し、介護予防の知識の普及啓発を実施しました。 (改善点)コロナ禍の影響で通いの場での活動ができない場合もあるため、より多くの方が自宅などでも介護予防に取り組めるように、取組方法の工夫について検討が必要です。				(現状)「ながいき100歳体操」の普及啓発活動として介護予防教室の「筋力アップ教室」等、体験会を実施します。また、認知機能の維持向上を目的とした体操を普及啓発します。 (課題)コロナ禍で通いの場だけではなく、より多くの方が自宅などでも介護予防に取り組めるように、取組方法の工夫をする必要があります。 (取組内容)感染症対策に留意して「筋力アップ教室」を年7コース実施します。また認知機能の維持向上を目的とした「しゃきしゃき100歳体操」の普及啓発を行います。「ながいき100歳体操」に取り組んでいるグループについては、自宅でも介護予防のために体操に取り組めるよう方法を検討します。				

主管部局

健康福祉部

施策の目的

高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



介護体制づくり

主管課：介護支援課、高齢者支援課

関連課：なし

認知症施策推進事業		認知症に関する知識の普及及び啓発を行います。また、認知症の疑いのある方や認知症の方等へ早期に対応できるよう相談支援体制の構築を図ります。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
介護支援課	継続	2,805		1,561	10,520	2,165	2,165	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
認知症サポーター養成講座開催数(回)	52	31	40	認知症サポーター養成数(人)		2,764	964	2,500
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
【取り組み】認知症の正しい知識の普及啓発を目的に開催している、9月認知症を知る月間において、講演会やVR認知症体験会、認知症サポーター養成講座等を行いました。また、認知症の早期相談・早期発見を目的とした「認知症安心パンフレット」を流山市認知症地域支援推進員が作成し、新聞折込による全戸配布を行いました。毎年発行している「認知症安心ガイドブック」の内容に認知症の方への接し方や若年性認知症に関するページを追加しました。 講演会では「認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるためにできること」テーマに認知症看護認定看護師の講演や認知症の家族の介護経験の市民に協力いただき看護師との対談を行いました。 【評価】講演会等は、広報ながれやまやホームページの他、チラシ、SNS等で周知しましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあってか参加者数が少ない状況です。 【改善点】感染症対策を行いつつ、より多くの市民等に認知症の正しい知識や地域における見守りの重要性等を知っていただけるよう、開催方法の工夫（開催場所の選定やZoom利用等）や紙媒体での発信を検討していきます。				【現状】 地域において認知症に対する偏見が残っていることがあります。 認知症の人や家族が周囲や適切な機関に相談できず、家庭内で抱え込み課題が複雑化しているケースも存在します。 【課題】 認知症に関する正しい知識を広く市民に周知し、誰にでも関係のある疾患であることの理解を拡げる必要があります。 高齢者なんでも相談室や医療機関等の相談できる機関に関する周知が行き届いていない現状があります。 【取組内容】9月を「認知症月間」とし、認知症の方が地域で暮らし続けられるよう認知症の正しい知識の普及・啓発のため、感染症対策を講じながら講演会や体験型講座、認知症サポーター養成講座等の開催を行います。 紙媒体での啓発として広報等での認知症に関する記事掲載します。また、「認知症安心ガイドブック」について、認知症の人への接し方について加筆し、令和3年5月より介護支援課窓口や高齢者なんでも相談室で配布することで、相談窓口の周知を行い、早期発見、早期相談につなげます。 認知症の人や家族と地域、医療介護関係者の橋渡し役となる認知症地域支援推進員の会議において、認知症の人や家族が地域で暮らし続けていく上での課題について、検討していきます。				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数	障害者支援課資料 ※上から身体障害者、知的障害者、精神障害者	4,216 1,011 1,332	4,204 1,061 1,444	4,230 1,089 1,556	人	—
障害者就労支援センターの利用者数	障害者支援課資料	207	194	181	人	↑
相談支援事業の利用者数	障害者支援課資料	2,190	2,464	2,529	人	↑

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の実績・課題・取組み
障害者及び障害児の特性に応じ、自立した日常生活や社会生活を営むために必要な福祉サービスの給付を行いました。 新型コロナウイルス感染症対策として、マスク、手袋、消毒液を事業所等へ配布し感染拡大防止を図りました。 医療機関等への手話通訳者の派遣について、新型コロナウイルス感染防止のためタブレットを導入し、遠隔により意思疎通支援を図りました。	障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、日常生活用具の給付、意思疎通支援、就労支援など必要なサービスが適正に提供されるよう支援に取り組みます。 流山市手話言語の普及の促進に関する条例の普及啓発として、手話通訳者等の育成を図るなど、手話言語への理解と普及を図ります。

障害福祉サービスの充実 主管課：障害者支援課、児童発達支援センター 関連課：なし

障害者自立支援給付事業		障害者等が自立した日常生活及び社会生活を送るために居宅介護（ホームヘルプ）、施設入所、就労支援、人工透析の費用の支給等、国が定める介護、訓練、補装具、医療の給付を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
障害者支援課	継続	2,277,816		2,271,886	48,094	2,406,036	1,794,624	611,412
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
障害福祉サービス支給決定者数（人）	921	960	1,000	障害福祉サービス利用延べ人数（人）		16,364	17,092	17,500
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス及び補装具、更生医療等を給付することで、障害者や障害児が地域の中で自立した生活を送ることができるよう取り組みました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、在宅支援等を含めた感染防止対策を行い、事業の継続を図りました。				感染症対策を継続し、安心してサービス利用ができる体制を築き、障害者本人へ必要なサービスを提供できるよう支給決定を行います。また、感染症対策に関する研修を実施し、感染防止対策の強化と見直しを図るとともに、サービス支給を適正に行うため、サービス等利用計画の精査や支給決定基準の見直しを行います。				

障害者グループホーム等 運営費補助事業		小規模なグループホームの運営費の一部を助成し、経営の安定化を図り、入居者の自立と社会参加の促進を図ります。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
障害者支援課	継続	18,845		18,845	5,610	18,264	9,131	9,133
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
補助件数(件)	21	31	31	対象施設への入居者数(人)		102	108	112
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
市内外において、グループホームを運営する事業者は増加しており、対象となるグループホーム利用者も増加しています。対象施設における対象経費を精査し、適正な補助金の交付を行いました。				グループホーム利用者が増加していますが、同時に障害者本人の状況に応じて退所する利用者も増加しています。国保連からの伝送請求データを基に、入退所の動きをタイムリーに把握し、正確な情報把握を行っていきます。				

障害児通所支援事業		児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを行う民間施設及びつばさ学園に対して、障害児福祉サービスに係る給付を行います。 また、すべてのサービス利用者に障害児相談支援を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
障害者支援課	継続	969,592		917,213	36,392	1,116,584	834,041	282,543
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
障害児通所支援支給決定者(人)	626	726	800	障害児通所支援事業所利用者(人)		7,029	7,844	8,000
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、サービス利用者は増加しています。感染拡大防止のため、在宅における支援も含めて事業を継続し、サービス提供体制を維持しました。また、事業者の増加もあり、サービス提供体制は拡大されていますが、障害児の特性に応じた支援体制が必要となっています。				感染症対策に関する研修を実施し、感染防止対策の強化と見直しを図るとともに、支援の質の向上を目指し、オンラインによる研修など感染症対策にも応じた研修を実施していきます。また、第2期障害児福祉計画がスタートするため、計画に沿った事業展開を行い、子ども子育て施策とも連携したサービス提供を行います。				

つばさ学園療育相談事業		心身の成長や発達に心配のある乳幼児及び児童に対し、相談、面接、診察、検査などを行い、総合的な相談を通して、社会的な自立と地域生活に向けて支援します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
児童発達支援センター	継続	13,495		11,930	47,617	17,525	15,929	1,596
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
発達相談総件数(件)	1,010	967	901	目標発達相談総件数に対する実際に実施した相談総件数の割合(%)		100	93.8	100
新規発達相談件数(件)	256	229	235	初回面接に係る日数(日)		30.4	41.6	25
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
申し込みからインテークに係る日数を減らすために発達相談業務の一部を委託しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により日数短縮には至りませんでした。				インテークに係る日数を減らすために件数を増やして発達相談業務の一部を委託します。講師であった心理士及び言語聴覚士を会計年度任用職員として配置し、安定した相談業務ができる体制を整えます。				

主管部局

健康福祉部

施策の目的

障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



自立と社会参加の促進

主管課：障害者支援課、児童発達支援センター

関連課：健康増進課、生涯学習課、スポーツ振興課、都市計画課

障害者地域生活支援事業		障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、手話等による意思疎通支援、日常生活用具の給付、訪問入浴サービス、地域活動支援センター等による支援を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
障害者支援課	継続	149,829		133,384	57,825	163,560	106,426	57,134
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
委託相談員の人数（人）	4	4	5	相談支援を利用している障害者の人数（人）		2,464	2,700	3,000
令和2年度 of 取り組みと評価・改善点				令和3年度 of 現状・課題・取り組み				
新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、遠隔手話通訳のためタブレットを導入しました。また、地域生活支援拠点等の中心となる基幹相談支援センターを設置し、利用者のニーズに対応できるよう相談支援体制の充実を図りました。				意思疎通支援事業や移動支援事業等において、障害特性に応じた事業の実施を目指すため、ニーズ調査や対象者の把握を行う必要があります。また、基幹相談支援センターを中心に相談支援事業所の連携強化と育成を行い、地域の体制づくりを行います。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

1 生活困窮者に対する支援
 2 高齢者に対する支援
 3 子育てに関する支援
 4 障害者に対する支援
 5 女性に対する支援
 6 児童虐待の防止
 7 高齢者の生活
 8 障害者の生活
 9 高齢者の生活
 10 障害者の生活
 11 障害者の生活
 12 障害者の生活
 13 障害者の生活
 14 障害者の生活
 15 障害者の生活
 16 障害者の生活
 17 障害者の生活
 健康福祉部
 施策の目的
 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていと思う市民の割合	「できている」「どちらかといえばできている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	57.3	53.6	52.8	%	↑
生活保護受給者数	社会福祉課	1,708	1,750	1,832	人	—

令和2年度 of 取り組みと評価・改善点	令和3年度 of 現状・課題・取り組み
- 新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮に陥る方が増え、住居確保給付金等の相談件数が前年に比べ大きく増加しました。生活の立て直しに向け、生活保護の案内も含め適切な対応に努めました。 - 自治会等への出前講座を実施するなど地域支え合い活動の普及を図りました。 - 福祉会館ガラス飛散防止対策工事、下花輪福祉会館機械室温水配管更新工事を実施しました。	- 生活困窮者を対象に、自立に向けた包括的・継続的な支援を行い、早期の生活再生のサポートに努めます。 - 地域での支え合い活動の取り組みや災害時の避難支援などの活動事例を紹介する機会を設けるなど、孤立死防止と災害時の支援に向けた日常からの支え合い・見守り活動を推進します。

地域福祉の推進	主管課：社会福祉課	関連課：なし
---------	-----------	--------

地域支え合い活動推進事業	孤立死防止と災害時の支援のために、地域における日常からの支え合い・見守りを推進します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	継続	6,765		6,358	1,956	6,793	2,300	4,493
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
支え合い活動対象者名簿登載者数(人)	11,057	11,853	-	地域支え合い活動協力自治会数(自治会)		117	120	123
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
地域に提供する名簿への登載について、対象者に意向を確認し、これにあわせて名簿の更新を行い、自治会、民生委員・児童委員、高齢者なんでも相談室、消防、警察、社会福祉協議会等と名簿対象者の情報共有を図りました。名簿を受領し活動する自治会に対し、協定を締結した年度及び後年度に係る活動の推進のため、報償費を支給しました。また、自治会等への出前講座を実施するなど活動の普及を図りました。 今後も、地域において支え合い活動の理解を普及するとともに、活動の継続、定着を図っていくための取組を継続していく必要があります。				自治会等からの頻度の高い質問や個人情報の取扱いについてのガイドブックを作成しており、内容の随時見直しを行いながら、出前講座等を通じて活動の普及を推進します。 地域での支え合い活動の取組や災害時の避難支援などの活動事例を紹介する機会を設けるなど、地域における孤立死防止と災害時の支援に向けた日常からの支え合い・見守り活動を推進します。				

福祉会館整備事業		市民の健康と福祉の増進を図るため、地域福祉活動の拠点としての福祉会館の改修を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	継続	16,569		15,016	4,702	40,445	29,500	10,945
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
改修工事件数(件)	5	2	3	改修済工事件数(件)		5	2	3
				福祉会館延べ利用人数(人)		380,230	188,443	—
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
福祉会館ガラス飛散防止対策工事(流山・野々下・名都借)を実施しました。 下花輪福祉会館機械室温水配管更新工事を実施しました。				南流山福祉会館外壁改修工事 下花輪福祉会館フェンス設置及び敷地内通路整備工事 ガラス飛散防止の改修工事(西深井、南流山、平和台、下花輪)				

生活困窮者支援	主管課：社会福祉課	関連課：子ども家庭課
---------	-----------	------------

生活困窮者自立支援事業		生活困窮者を対象に、自立に向けた包括的・継続的な支援を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	継続	34,216		37,778	7,013	36,264	25,798	10,466
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
自立支援相談件数(件)	210	683	680	プラン作成件数(件)		79	229	200
住居確保給付金支給件数(件)	25	115	115					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新型コロナウイルス感染症の感染拡大により雇用状況が変化し、減給や失業などから生活困窮に陥る方が増え、前年に比べ2.7倍の新規相談がありました。 それぞれの相談者の状況を把握し、生活の立て直しに向けた支援を行いました。				経済的な困窮だけでなく生活全般にわたる様々な問題を抱える相談者に対し、切れ目のない継続した支援を行い、早期の生活再生のサポートに努めます。				

被保護者健康管理支援事業		生活保護法に基づき、生活保護受給者へ経済的自立のみならず医療と生活の両面から支援を行います。令和2年度は、被保護者の生活習慣病等の予防や重症化を予防するため、レセプトデータを活用し、分析、健康課題を整理しました。令和3年度は、これまで作成した資料を基に、個別支援計画を策定し、対象者への保健指導、生活支援を個別に実施します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	継続	3,000		1,628	147,273	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
健診受診勧奨(人)	-	-	800					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
レセプト情報を活用して、被保護者の健康課題に関する分析を事業者に委託して行いました。このことから、令和2年度の事業予定を遂行することができました。				令和2年度に分析した資料を参考に、事業対象者の抽出を行い、健診受診勧奨及び生活習慣病の改善に向けた取組みを行います。 健康課題の改善に必要な情報については、関係部局と連携して支援を行います。				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



生活困窮者支援

主管課：社会福祉課

関連課：子ども家庭課

生活保護者熱中症予防対策事業		生活保護受給者の命を守るため熱中症予防対策としてエアコン本体及び設置費を支援します。生活保護法の一部見直しにより冷房器具の設置に関する支援が可能となりましたが、対象外となった平成30年3月31日以前に保護を開始した受給者へ冷房器具設置の費用を補助します。なお、本事業は令和2年度のみ実施事業です。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	新規	5,920		4,145	154,286	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
設置(世帯数)	-	54	-					
令和2年度の実組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
生活保護法の対象外となった受給者へのエアコン本体及び設置費の支援について、根気よく申請の働きかけを行いました。その結果、取りこぼすことなく希望者へ支援をすることができました。なお、本事業は令和2年度のみ実施事業となります。				令和2年度のみ実施。				
生活保護法等に基づく扶助事業		生活保護受給者に各種扶助(生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭)を適正に実施します。また、就労支援を始めとする自立支援プログラムの充実やハローワークとの連携により、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
社会福祉課	継続	2,904,074		3,114,234	165,284	3,082,296	2,364,763	717,533
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
生活保護受給者数(人)	1,750	1,832	2,008	保護率(%)		9	9	10
自立支援プログラム相談回数 ※被保護者就労支援事業分(回)	155	171	190	自立支援プログラム利用後、就労に至った人数(人)		5	0	5
令和2年度の実組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
扶助費の適切な支給に努めました。また、ハローワークとの連携により自立に繋がる世帯がありました。今後も市役所に限らず、関係機関と連携をして最後のセーフティーネットの役割を果たしていきます。				新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮者が増加している。地域包括支援センターや生活困窮者自立支援事業所と連携して、健康で文化的な最低限度の生活が保障されるように支援を行います。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主 管 部 局 総合政策部 施策の目的 すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	「平等感」における「平等である」の割合（まちづくり達成度アンケート）	-	-	86.5	%	↑
外国人の人口	住民基本台帳人口	2,737	2,984	3,101	人	—

令和2年度 の 取 組 み と 評 価 ・ 改 善 点	令和3年度 の 現 状 ・ 課 題 ・ 取 組 み
・ 第4次男女共同参画プランの進捗管理や啓発講座、女性の生き方相談等を実施しました。 ・ 在住外国人の相談窓口として国際理解サポートセンターを設置しており、その運営業務をNP0法人流山市国際交流協会に委託し、さまざまな相談を受けるとともに、当該法人の自主事業として外国語教室などを実施しました。 ・ 平和ポスター展では、より幅広く平和を考える機会とするため、沖縄戦をテーマに取り上げ、令和3年3月に市内3か所で開催しました。	・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度で実施できなかった事業については、状況を注視しながら実施について検討していくとともに、形を変えて実施することや感染防止対策等を徹底して実施するなど、工夫していきたいと考えています。 ・ また、平和施策事業における、平和大使の派遣については、新型コロナウイルス感染症の影響を注視し、実施の有無や実施形態、内容を検討して参ります。

人権尊重・男女共同参画の社会づくり	主管課：秘書広報課、企画政策課	関連課：なし
-------------------	-----------------	--------

人権啓発活動活性化事業		法務省の人権啓発活動活性化事業の一環として、松戸人権擁護委員協議会流山部会と連携しながら、人権に関する講演会等のイベントを開催します。また、中学生を対象とした「人権講演会」、小学生を対象とした「人権教室」及び「人権の花運動」を通じて人権思想の普及啓発を図ります。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
秘書広報課	継続	0		0	2,104	733	733	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
各種啓発イベントや講演会等の実施回数(回)	4	0	3	森のまちふれあいフェスの参加人数(人)		420	-	300
				森のまちふれあいフェスの来場者アンケートにおける「関心が深まった」と回答した割合(%)		93.0	-	93.0

令和2年度 の 取 組 み と 評 価 ・ 改 善 点	令和3年度 の 現 状 ・ 課 題 ・ 取 組 み
・ 取組み内容 新型コロナウイルス感染症の拡大により、「人権擁護委員の日」啓発活動や、例年実施している講演会等のイベントを開催することができませんでした。 ・ 評価と改善点 感染症拡大防止の観点から、各種啓発活動の実施ができなかったことはやむを得ませんが、今後は対面によらない啓発活動についても検討する必要があります。	・ 現状と課題 新型コロナウイルス感染症拡大により、各種啓発活動については、対面を前提とした実施が難しくなっています。一方で、コロナウイルス感染症に罹患した方に対する差別が発生するなど、事業の重要性は増えています。 ・ 取組み このような状況下においても、松戸人権擁護委員協議会流山部会との連携により、工夫・改善を重ねることで、人権思想の普及啓発を着実に継続します。

男女共同参画社会づくり事業	第4次男女共同参画プランに基づき、市民及び職員等の男女共同参画意識の向上を図るための各種講座を実施するとともに、様々な悩みを抱える女性を対象に自らの力で問題を解決できるよう相談業務を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
企画政策課	継続	3,658		3,414	7,013	3,525	0	3,525
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)	21	21	18	男女が平等に扱われていると思う市民の割合(%)		32.1	44.2	45.0
				審議会等委員に女性委員が占める割合(執行機関を除く付属機関等)(%)		36.0	38.6	39.0

令和2年度 の 取 組 み と 評 価 ・ 改 善 点	令和3年度 の 現 状 ・ 課 題 ・ 取 組 み
・ 第3次男女共同参画プランにおける最終年度となる令和元年度分の評価・総括を行い、公表しました。 ・ 第4次男女共同参画プランの進捗管理及び翌年度の取組の照会を行いました。 ・ 第4次男女共同参画プランに基づき、啓発講座及び女性の生き方相談等を実施しました。	・ 第4次男女共同参画プランの進捗管理及び翌年度の取組の照会を行います。 ・ 第4次男女共同参画プランに基づき、啓発講座及び女性の生き方相談等を実施します。

多文化共生社会づくり	主管課：企画政策課	関連課：なし
------------	-----------	--------

多文化共生推進事業	多文化共生社会の実現を目指し、在住外国人が安心して暮らせるように相談窓口を設置するとともに、多文化共生意識の醸成を図るための講座を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
企画政策課	継続	1,784		1,361	4,909	1,764	1,751	13
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
国際理解サポートセンターへの相談件数(件)	42	44	47	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合(%)		-	86.5	87.0
国際交流に関する講座の実施回数(回)	20	0	19					

令和2年度 の 取 組 み と 評 価 ・ 改 善 点	令和3年度 の 現 状 ・ 課 題 ・ 取 組 み
・ 在住外国人の相談窓口として国際理解サポートセンターを設置しています。その運営業務をNP0法人流山市国際交流協会に委託し、感染症対策を講じた上で様々な相談を受付けました。 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、オランダ教室、外国人との接し方講座は中止としました。 ・ 今後は、コロナ禍においても多文化共生意識の醸成が図れるよう実施方法の工夫が必要と考えます。	・ 令和3年度においても、国際理解サポートセンター運営業務を委託しています。 ・ コロナ禍において、昨年度実施できなかった事業についても、形を変えて実施するなど、多文化共生意識の醸成を図る事業を継続して実施する必要があります。

主管部局
 総合政策部
 施策の目的
 すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる



平和施策の推進
 主管課：企画政策課
 関連課：なし

平和施策事業	平和都市宣言に基づき、次世代に平和への想いを繋ぐための活動として、平和大使の広島派遣、平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などの事業を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
企画政策課	継続	1,793		109	2,805	1,924	600	1,324
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
平和施策に関するホームページの閲覧数(PV)	654	635	750					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・新型コロナウイルス感染症の影響により、平和大使の派遣、ユニセフ平和教室、千羽鶴募集・献納は中止しました。 ・中止となった平和大使の派遣事業の代替として、令和2年8月に広島・長崎平和ポスター展を実施しました。 ・例年行っている平和ポスター展では、より幅広く平和を考える機会とするため、沖縄戦をテーマに取り上げ、令和3年3月に市内3か所で実施しました。				・若い世代に平和の大切さや想いを繋ぐことについては、継続的に取り組んでいきます。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止した平和大使の派遣事業やユニセフ平和教室については、状況を注視しながら実施について検討していくこととします。 ・より幅広く平和を考える機会とするため、令和2年度の平和ポスター展では沖縄戦を取り上げたところ、開催施設や来場者より前向きな感想をいただいたため、引き続き効果のある事業となるよう努めていきます。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
18歳未満の人口	住民基本台帳人口（市民課）	34,375	35,834	36,994	人	↑
合計特殊出生率	15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に生む平均子ども数を推計したもの（千葉県健康福祉部）※値はH29年、H30年、R1のもの	1.62(※)	1.67(※)	1.59(※)		↑
流山市は子育てがしやすいまちだと思う市民の割合	「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合（まちづくり達成度アンケート）	51.6	57.7	60.2	%	↑

令和2年度 of 取組みと評価・改善点	令和3年度 of 現状・課題・取組み
・令和3年3月1日におおたかの森児童センターが開設しました。 ・南流山児童センターは、令和元年度から令和2年度にかけて、基本設計及び実施設計が完了しました。また、令和2年度から本体工事に着手しました。 ・認可保育所は、おおたかの森地区及び南流山地区を中心に、12箇所を整備し、982名（定員変更含む）の定員増を図りました。また、小規模保育事業所は、おおたかの森地区に1箇所、東部地区に1箇所、併せて2箇所を整備し、38名の定員増を図りました。併せて1,020名の定員増を図り、待機児童を解消しました。	・保育所整備は、認可保育所13箇所、小規模保育事業所は2箇所整備する予定です。 ・南流山児童センターは、引き続き建設工事に取り組み、令和4年度の開設を目指します。

子どもを産み育てやすい環境づくり	主管課：子ども家庭課 健康増進課	関連課：なし
------------------	------------------	--------

ファミリーサポートセンター支援事業	ひとり親家庭等の就労の支援および育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターの援助活動を利用した場合に、その利用の一部を助成します。令和3年度からは、助成対象を未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも拡大します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	拡充	17,643		17,208	0	18,458	11,800	6,658
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
ひとり親家庭及び多子養育者に対し、育児の負担の軽減を図るために、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成した。				令和3年度から、ひとり親家庭及び3人以上の多子養育者に加えて、未就学児2人以上の多胎児を養育する方にも対象者を拡大し、育児の負担の軽減を図るため、ファミリー・サポート・センターを利用した場合、その利用料の半額を助成する。				

児童館・児童センター整備事業	児童の健全な遊びの場を提供するため、令和４年度開館に向けて、南流山中学校敷地内に、子育て支援施設（児童センター及び子育て世代活動支援センター）を整備します。なお、同施設に一体の複合施設として地域図書館を整備します。 令和３年度 建設工事							
	令和４年度 建設工事							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	継続	526,612		282,734	14,026	412,000	350,995	61,005
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
おおたかの森児童センター整備工事進捗率（％）	-	100	-					
（仮称）南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率（％）	0	1	83					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・令和3年3月1日におおたかの森児童センターが開設しました。 ・南流山児童センターは、令和元年度から令和２年度にかけて、基本設計及び実施設計が完了しました。また、令和２年度から本体工事に着手しました。				・南流山児童センターは、引き続き建設工事に取り組み、令和４年度の開設を目指します。				

妊娠・出産・子育てサポート事業	すべての妊産婦が安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困りごとについての相談に応じ、解決に向けた支援をします。令和3年度からは、「産前産後サポート事業」を加え、多胎児のパパママを対象に妊娠時からの情報提供を始め、多胎児育児経験者との交流をすることにより、多胎ママの負担感や孤立感の解消を図ります。また、支援者のいない妊婦を対象に仲間づくりや、不安解消を目的としたグループの定期的な開催を市内の助産院に委託し、実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
健康増進課	拡充	39,077		32,187	57,554	40,334	24,579	15,755
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
妊婦面談率(%)	98.6	100	100	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		95.3	96.0	96.2
乳児家庭全戸訪問実施率(%)	94.4	95.5	100	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		81.4	84.3	85.8
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組) 母子健康手帳交付窓口を専門職の常駐する窓口完全に集約し、交付窓口へ来所が困難な妊婦に対しては、訪問による交付を実施しました。 (評価) 母子健康手帳交付時に専門職による全員の妊婦へ面談が可能となり、妊娠早期の時点での母子保健、育児に関する情報の提供、相談窓口の案内が可能となりました。妊娠中の支援として、個別支援だけでなく、両親学級以外の集団における支援も必要と考えられます。また、多胎児への早期の支援も求められています。 (改善点) 流山市へ転入される妊婦に対しても、交付時同様全員の妊婦に情報提供が行えるよう、市民課出張所の協力を得て、妊婦健診受診券の交換窓口を専門職が常駐する窓口を集約します。また、支援サービスの充実を図る必要があります。				(現状と課題) 専門職による母子健康手帳の交付が可能となり、妊娠早期に不安や困りごとに応じることが可能となったため、解決に向けた支援のさらなる充実に向けたニーズの把握が課題です。 (取組内容) 「産前産後サポート事業」を開始します。身近に相談者のいない妊婦が、助産院に集まり、妊娠出産子育てに関する不安を相談したり、地域の中でのつながりを持てるよう支援します。また、多胎児を妊娠中の妊婦を対象にした、両親学級を開始します。多胎児の育児経験者の協力を得ながら、妊娠中から、仲間づくりや、多胎児の育児に関する情報提供を行い不安や孤立感の軽減を図ります。これらの事業は、妊産婦の支援の経験が豊富な助産院に委託して実施します。				

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



保育サービスの充実 主管課：子ども家庭課、保育課 関連課：なし

私立保育所等運営補助事業	待機児童の解消を目指し、保育所整備の推進と合わせた保育士の確保や、保育の質の向上を図るため、私立保育所等を設置運営する社会福祉法人等が私立保育所等の運営に要する経費の一部に対し、補助金を交付します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
保育課	拡充	1,681,132		1,600,004	8,595	2,028,049	503,288	1,524,761
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
補助施設数(件)	67	72	87	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		26	0	0
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
私立保育所等数72か所に対し、16事業の補助を実施しました。 私立保育所等が障害児を複数受け入れている場合や発達に気になる児童を預かった場合に補助金を交付し、園児の受け入れ体制の拡充を図りました。 小規模保育所を卒園する児童の受け入れを積極的に行う私立保育所等に補助金を交付し、卒園児の受け入れの確保を図りました。 ICT化を行うためのシステム導入した私立保育所等に補助金を交付し、保育士等の負担軽減を図りました。 さらなる保育士の業務負担の軽減及び離職防止を図るための補助制度を検討し、令和3年度当初予算に計上しました。				令和3年度から、保育士の業務負担の軽減及び離職防止を図るために、保育士の補助を行う者を雇い上げた場合の一部を補助し、保育士の確保を行います。 保育所整備に合わせて、私立保育所等が安定的に運営できるよう補助制度について検証します。				

私立保育所整備補助事業	待機児童の解消を図るため、市内に私立保育所を整備する事業者に対して費用の一部を補助します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	継続	1,778,310		1,291,288	14,026	1,024,082	833,005	191,077
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
整備箇所数(か所)	10	12	13	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		26	0	0
整備により増加した定員数(人)	727	982	1,064					
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・子育て世帯が増加しているおおたかの森地区及び南流山地区を中心に、認可保育所12箇所を整備し、982名の定員増(定員変更含む)を図った結果、待機児童が解消されました。 ・今後も保育需要に対応するため、おおたかの森地区及び南流山地区を中心に、認可保育所の整備を進めていく必要があります。				・保育需要に対応するため、子育て世帯が増加しているおおたかの森地区及び南流山地区を中心に、引き続き認可保育所の整備を進めていく必要があります。 ・今年度は、認可保育所を13箇所整備する予定であり、引き続き待機児童ゼロを目指します。				

送迎保育ステーション事業	流山おおたかの森駅前と南流山駅前の2か所の送迎保育ステーションから市内全域の保育所へ児童を送迎し、待機児童の解消及び児童の送迎に係る保護者の負担軽減を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
保育課	継続	99,716		99,716	1,754	101,209	49,364	51,845
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)	2	2	2	延べ利用数(人)		45,876	12,236	20,000
送迎バスの台数(台)	8	8	8	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		26	0	0
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) おおたかの森駅前及び南流山駅前に送迎保育ステーションを設置し、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎することにより、待機児童の解消を図りました。 (評価) 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実績は例年と比べて減少しましたが、感染拡大防止に努めながら本事業を実施し、保育需要に対応するとともに保護者の送迎における負担軽減を図りました。 (改善点) 新型コロナウイルス感染症対策及び速やかな送迎を行うためのルートを見直し、保護者の送迎における負担軽減に努めていきます。				(現状と課題) 令和3年4月1日に新園が14園開園したことで、待機児童については減少しましたが、引き続き感染拡大防止に努めながらの児童の安全な移送の確保と保護者の送迎における負担軽減が課題となります。 (令和3年度の取組内容) 昨年と同様に市内2か所の送迎保育ステーションを起点とし、バス8台で市内全域の保育所へ児童を送迎します。				

小規模保育事業所整備補助事業	多様な保育ニーズにきめ細かく対応するため、市内に定員19名以内の小規模保育事業所を整備する事業者に対して、費用の一部を補助します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	継続	53,140		52,500	14,026	53,140	46,666	6,474
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
整備箇所数(か所)	2	2	2	待機児童数 ※翌年度4月1日時点(人)		26	0	0
整備により増加した定員数(人)	37	38	38					
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・おおたかの森地区に1箇所、東部地区に1箇所、併せて2箇所を整備し、38名の定員増を図ったことにより、0歳児～2歳児までの待機児童解消につながりました。 ・今後も0歳児～2歳児における保育需要に対応するため、おおたかの森地区を中心に、小規模保育所の整備を進めていく必要があります。				・0歳児～2歳児における保育需要に対応するため、おおたかの森地区を中心に、引き続き小規模保育事業所の整備を進めていく必要があります。 ・今年度は、小規模保育事業所を2箇所整備し、引き続き待機児童数ゼロを目指します。				

主管部局
 子ども家庭部
 施策の目的
 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



保育サービスの充実
 主管課：子ども家庭課、保育課
 関連課：なし

病児保育事業		保育所等に通所中の児童が、病期中・病気回復期において集団保育が困難な期間に、当該児童の一時的な預かりを行います。令和3年度は、「病児・病後児対応型」を3箇所、「病後児対応型」を1箇所で開催します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
保育課	継続	64,263		64,193	1,403	67,575	21,346	46,229
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
病児及び病後児保育実施園数(園)	3	4	4	利用者数(年度ごと延人数)(人)		436	19	200
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 平成16年4月1日に「わらしこ保育園」で病後児対応型、平成29年4月1日から「オハナゆめキッズハウス」で病児・病後児対応型、平成30年1月4日から「けやきの森保育園西初石園」で病児・病後児対応型、令和2年4月1日から「オハナゆめ保育園」で病児・病後児対応型を実施しました。 (評価) 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「病児・病後児」の預かりを停止しており、外傷性の怪我のみの受入としていたため、実績が落ち込んでいました。 (改善点) 新型コロナウイルス感染症流行下でも成立する事業展開を目指します。感染症の終息後を見据えて、利用者の利便性向上を目指します。				感染症流行下でも成立する事業にするため、安全を確保したうえで「病児・病後児」の預かり再開等を検討していきたいと考えています。また、利用者の利便性向上のために、令和3年4月より従来は紙のみで手続きを行っていた事前登録を電子申請でも登録可能にしました。また、従来は電話のみで行っていた予約受付をWEBでも予約可能にし利便性の向上に努めていきます。				

学童クラブの充実
 主管課：教育総務課、学校施設課
 関連課：なし

学童保育運営事業		学童クラブ運営に係る消耗品や備品の整備、障害児受け入れに伴う業務、放課後児童支援員の処遇改善業務委託等を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
教育総務課	拡充	93,830		74,988	14,026	110,537	59,835	50,702
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
研修開催件数(件)	2	1	2	学童クラブの延べ利用人数(人)		25,440	26,186	30,000
				放課後児童支援員へ処遇改善のために支払った額(千円)		20,404	18,101	20,000
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
令和2年度は学童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催したほか、処遇改善のため、経験に応じて支援員に対する処遇改善のための費用の支払いを行っています。 さらに、学童クラブの安心・安全のため、順次防犯カメラを設置しています。				令和3年度においても、引き続き学童クラブ支援員等を対象に研修を実施するほか、処遇改善のための費用を支払います。 学童クラブの防犯カメラについても、新たに設置を予定しています。				

学童クラブ施設整備事業		児童数の増加に対応するため、新たな学童クラブを創設します。令和3年度：（仮称）小山小学校区第5学童クラブ創設						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
教育総務課	拡充	482,742		541,309	12,911	208,455	166,268	42,187
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
学童クラブの整備後の定員数（人）	2,540	3,080	3,240	待機児童数(3月末)(人)		6	0	0
学童クラブの整備後の施設数（施設）	33	36	37					
令和2年度の実組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
令和2年度においては、元年度から整備を行っている八木北小学校区、おおぐろの森小学校区のほか、南流山小学校区の整備を行いました。今回、整備した小学校区においては、定員の増加により高学年も含め、入所希望者全員を受け入れることができました。 また、（仮称）小山小学校区第5学童クラブの整備を引き続き行います。 今後も児童推計を踏まえた計画的な施設の整備を行う必要があります。				令和2年度から行っている（仮称）小山小学校区第5学童クラブについて、令和4年4月の開所を目指し、整備します。 また、老朽化している流山小学校区第1 おおぞら学童クラブのガスエアコンを更新します。				

民設学童クラブ運営委託事業		児童数の増加に対応するため、放課後児童育成事業の届出を行い、学童クラブを運営している民設民営の学童クラブに対し運営業務を委託します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
教育総務課	継続	17,300		17,300	1,403	0	0	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
運営委託単位数(単位)	2	2	-	待機児童数(3月末)(人)		6	0	-
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
小山小学校区で委託している民設学童クラブについて、令和2年度当初は定員80人ところ、83人でスタートしました。 運営法人から撤退の意思表示があり、令和2年度をもって閉所することとなりました。				前年度で終了のため記載なし				

主管部局 子ども家庭部 施策の目的 すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる



養育環境への配慮 主管課：子ども家庭課 関連課：児童発達支援センター

要保護児童対策事業	要保護児童等の早期発見や適切な保護を図るため、児童相談所、警察、医療機関などの関係機関等との情報共有と連携を強化し、子どもや家庭に迅速・適切なサポートを図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	継続	4,672		4,082	59,849	6,783	2,816	3,967
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
安全確認件数(%)	96.3	97.8	97.0	児童虐待による死亡児童数(人)		0	0	0
研修開催回数(回)	1	1	1	研修アンケートによる参加者の理解度(%)		-	93	95
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・コロナウイルス感染症の対策を取りつつ、要保護児童対策地域協議会、個別支援会議等開催し、個々のケースに対して適切な支援ができるよう関係機関と情報共有、役割分担を市ながら連携して支援に努めました。 ・ホームページにて児童虐待やDVについて、説明や相談先をわかりやすく掲載、外部リンクを張り付ける等工夫しました。 ・児童相談所等をはじめ、子ども家庭課の心理士など専門的なアドバイスを受けながら適切な支援になるよう努めました。 ・コロナウイルス感染症対策のため、中止になる研修もありましたが、オンライン研修を含め、可能な限り研修に参加し、職員の質の向上を図ります。				・児童虐待や育児相談の件数は年々増加しており相談の背景は複雑多岐にわたるため、子どもの安全確保と保護者への支援実施には様々な機関との連携が不可欠です。 ・子どもや保護者と関わりのある関係機関・団体に本事業の認知度を高め、より迅速・適切に個々のケースに対応していく必要があります。 ・研修会参加等により職員の相談支援技術の向上を図るとともに、地域での子どもの見守りや支援が適切におこなわれるよう関係機関との情報共有・連携のための研修会や個別支援会議の開催等をおこないます。				

ひとり親家庭等生活向上事業	子どもの貧困の連鎖を防止するため、生活困窮者世帯の中学校3年生の子どもが学習塾へ通えるよう支援します。令和3年度からは、助成対象を中学校3年生のみから中学校2年生も対象とし、範囲を拡大します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
子ども家庭課	拡充	33,896		20,564	14,026	55,187	0	55,187
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
利用者数(人)	34	57	128	学習の習慣がついたと回答した児童数(%)		70	63	75
協力塾数(件)	24	34	40	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)		78	80	80
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
ひとり親家庭及び生活保護受給者世帯の中学校3年生を対象に、子どもが学習塾へ通えるように支援した。令和2年度は、児童扶養手当の現況届の際に、直接、学習支援の案内を行った。				令和3年度から、ひとり親家庭及び生活保護受給者世帯の対象者を、中学校3年生から、中学校2年生及び3年生に拡大し、子どもが学習塾へ通えるように支援する。令和2年度に引き続き、児童扶養手当の現況届の際に、学習支援の案内を行っていく。				

青少年の健全育成の促進 主管課：生涯学習課 関連課：なし

青少年相談事業	青少年やその保護者が一人で悩むことがないよう、青少年専門相談員による電話、訪問及び相談室での相談を充実します。また、ネットパトロールを実施し、青少年がSNS等ネット上でのトラブルに巻き込まれないよう見守りをします。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
生涯学習課	継続	7,239		6,082	3,498	4,906	0	4,906
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
相談件数(件)	229	81	70					
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・相談者が相談しやすい雰囲気づくりや、言葉かけ等に配慮しながら適切なアドバイスや、相談内容によっては関係諸機関を紹介するなど、相談活動の充実に努めました。 ・進路や将来に対する不安や焦り、親子関係の悩みなどを持つ青少年やその保護者からの相談が多かったことから、相談内容に柔軟に対応できるよう、研修会等への積極的な参加に努めました。 ・ネットパトロールを実施し、問題のある書き込み等の早期発見に努めました。				・引き続き広報誌等を通して、相談事務を広く周知し、市民により多くの相談の機会を提供できるよう努めます。 ・相談者の相談に適切に対応することで、よりよく解決できるよう支援します。また、継続相談では、必要に応じて学校や他機関との連携を図ることで、きめ細やかな対応に努めます。 ・引き続きネットパトロールを実施し、発見した場合は、学校や関係機関への速やかな情報提供に努めます。				

主 管 部 局
 学 校 教 育 部
 施策の目的
 学びに向かう力と自立する子どもを育む



まちの状態指標	指標の説明または出典元	H30実績	R1実績	R2実績	単位	目指す方向
全国学力・学習調査平均正答率（目指す方向：全国平均、県平均を上回る）	全国学力・学習状況調査（文部科学省）※小学校、中学校	62.6 66.2	68.5 65.3	令和3年秋頃公表予定	%	全国/県平均を上回る
児童・生徒数	学校基本調査（文部科学省）※児童、生徒 5月1日時点	10,863 4,344	11,317 4,435	11,775 4,605	人	—
いじめの認知件数	いじめの教師認知件数調査（市）（2月）※小学校、中学校	2,675 545	3,003 466	3,037 315	件	↓

令和2年度の実績と評価・改善点	令和3年度の現状・課題・取組み
（取組内容） ・南流山地区及びおおたかの森地区における新設小学校の通学区域について、南流山中学校の移転先に関し市民からの御意見が多く、不透明であったため、審議等は行っていません。 ・児童生徒の情報活用能力を図るため、ＩＣＴ教育環境の整備に努めます。 （評価） ・南流山地区及びおおたかの森地区における新設小学校の通学区域については、令和3年度中に実施します。 ・市内全児童生徒に一人一台のタブレットを配備し、校内におけるネットワーク環境を整えました。	（現状） ・ＴＸ沿線地域である中部、南部地域の児童生徒数が増加傾向となっています。 （課題） ・児童生徒数の増加に対する小中学校の教育環境の整備が必要です。 （取組内容） ・南流山地区及びおおたかの森地区における新設小学校の通学区域の方針を年度内に決定します。 ・ＩＣＴ教育推進のため、市内小中学校におけるＩＣＴ教育環境をさらに充実させます。

確かな学力の育成	主管課：教育総務部 学校教育部	関連課：なし
----------	--------------------	--------

小学校英語活動推進事業	小学校外国語教育の推進のために、英語に堪能で外国の文化や生活に精通した英語活動指導員及び外国語指導助手（ALT）を配置します。 3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整え、教育内容の充実と向上を図ります。								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	指導課	継続	52,039		49,637	226	54,682	0	54,682
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
	小学校A L T配置数（人）	8	8	9	英語教育実施状況調査（文部科学省）におけるA L T等の活用状況（％）		87.5	－	90.0
英語活動指導員の指導時間の合計（時間）	9,730	9,758	10,500						
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
・英語指導員スーパーバイザーを1名、外国語指導助手（ALT）を7名、英語活動指導員を18名雇用し、全小学校に配置しました。 ・学級担任と効果的なチームティーチングを行えるよう、英語活動指導員スーパーバイザーを中心とした研修体制を構築しました。 ・学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語の教科化及び新学習指導要領の全面実施に伴う研修を充実させます。				・英語指導員スーパーバイザーを1名、外国語指導助手（ALT）を8名、英語活動指導員を21名雇用して全小学校に配置し、小学校3年生から6年生までの授業で学級担任とのチームティーチングができる体制を整えます。 ・学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するとともに、外国語の教科化及び新学習指導要領全面実施に伴う研修を充実させます。 ・外国語担当者及び英語活動指導員、外国語指導助手（ALT）の研修を年複数回実施します。					

中学校A L T配置事業	外国語指導助手（ALT）を中学校全校に配置し、幅広い外国語教育の推進を図ります。学校生活のなかでの生徒との日常的な関わりを通して、「活用できる英語」の習得を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	36,277		36,433	79,254	36,285	0	36,285
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
中学校A L T配置数（人）	9	9	9	英語教育実施状況調査（文部科学省）におけるA L T等の活用状況（％）		88.9	—	80.0
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・外国語指導助手（ALT）を9名、中学校全校に配置しました。 ・コミュニケーション能力を総合的に育成するため、生徒が日常的に英語に触れる機会の充実を図ることができました。 ・チームティーチングによる授業作りを推進するとともに、新学習指導要領の全面実施に伴う研修を充実させます。				・外国語指導助手（ALT）を9名、中学校全校に配置します。 ・生きた英語に触れるとともに、実際に英語を活用するという観点から、英語でコミュニケーションを行う機会の充実を図ります。 ・ICTの活用や、チームティーチングによる授業作りを推進するとともに、新学習指導要領全面実施に伴う研修を充実させます。				

地域による学校支援事業	中学校区に地域学校協働本部を設置し、各学校に配置したコーディネーターが、中学校区の学校（小学校2校または1校、中学校1校）とボランティアを希望する地域住民との調整を図りながら、学校支援ボランティアを派遣し、児童生徒の教育活動の充実を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	7,361		5,807	5,632	7,513	4,876	2,637
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
市内各中学校区本部設置数（校）	9	9	9	地域による学校支援年間参加延べ人数（1月まで）（人）		42,199	43,357	45,000
令和2年度の実績と評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・市内全小中学校に地域学校協働本部を立ち上げ、コーディネーターを配置し活動しました。 ・ボランティアによる活動は新型コロナウイルス感染症対策のため日数が減少したが、昨年度までの学習支援、行事支援、奉仕作業などの活動に加え、消毒作業等学校と地域が連携し、工夫した活動を実施することができました。 ・今後も研修会を通して各本部の活動事例を共有しながら推進を図っていきます。				・令和3年度中に、コミュニティスクールを2中学校区で設置します。 ・令和3年度に開校する小学校のコーディネーター配置の準備。 ・コミュニティスクール設置に向けて、どのような手順で進めていくべきか、また、設置後の運用計画立案・実施のより良い支援が課題です。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



確かな学力の育成 主管課：教育総務部 学校教育部 関連課：なし

小学校教育指導運営事業	児童の読書活動推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	18,169		15,154	57,253	17,860	0	17,860
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
学校図書館司書配置数（1人あたり担当校数）（校）	3.1	2.2	2.1	小学校図書貸出冊数（11月）（冊）		19,488	23,980	24,000
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・学校図書館司書を昨年度の8名から12名に増員しました。				・学校図書館司書を1名増員して13名としました。				
・経験の浅い学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを設置したことにより、各学校間での情報共有ができました。				・各学校間での情報共有や、経験の浅い学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを 設置しました。				
・学校図書館司書が配置されたことにより、各学校で読書活動が推進されました。				・文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。				
・文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。								

中学校教育指導運営事業		生徒の読書教育推進のため、学校図書館の充実に努めます。また、学校図書館を運営していくために必要な専門性や技術を備えた学校図書館司書を配置します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	11,822		10,147	40,895	12,535	0	12,535
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
学校図書館司書配置数（1人あたり担当校数）（校）	3.1	1.8	1.8	中学校図書貸出冊数（11月）（冊）		925	1,017	1,200
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・学校図書館司書を昨年度の8名から12名に増員しました。				・学校図書館司書を1名増員して13名としました。				
・経験の浅い学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを設置したことにより、各学校間での情報共有ができました。				・各学校間での情報共有や、経験の浅い学校図書館司書に指導・助言をする学校図書館司書リーダーを設置しました。				
・学校図書館司書が配置されたことにより、各学校で読書活動が推進されました。				・文部科学省の努力目標である「1.5校に1人」の配置に向け、研究していきます。				
・文部科学省の努力目標である「1.5人に1人」の配置に向け、研究していきます。								

教育環境の整備 主管課：教育総務部 学校教育部 関連課：なし

南流山中学校移転先用地・建物買取事業	南流山中学校の移転先となる、東洋学園大学旧校舎の用地及び建物を取得します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	新規	0		0	3, 507	231, 157	178, 724	52, 433
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
用地取得率(%)	-	-	0					
建物取得率(%)	-	-	30					
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				(現状) 売買交渉は総務部財産活用課が窓口となっています。 (課題・取組内容) 財産活用課と情報を共有して、遅延のないよう処理します。				

南流山中学校移転事業	南流山地区の児童数増加に対応するため、南流山中学校を東洋学園大学旧校舎へ移転する整備を進めます。令和2年度 設計 令和3年度 設計 令和4年度 設計・改造工事 令和5年度 改造工事							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	新規	0		5,453	7,013	154,562	154,144	418
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
設計業務の進捗率(%)	-	1	80					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 設計業務委託を令和4年度までの継続事業として契約締結しました。 (評価) 設計業者をプロポーザル方式により選定しました。 (改善点) 関係者との協議を継続して進めていく必要があります。				(現状) 設計業務請負者に指示し、基本設計の策定を進めています。 (課題) 基本設計・実施設計の策定が必要です。 (取組内容) 関係者との協議を継続して進捗を管理します。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



教育環境の整備 主管課：教育総務部 学校教育部 関連課：なし

担任サポート教員配置事業		学級編制において、国の学級編制標準を適用する学級に対し、担任業務をサポートする教員を配置します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	新規	0		0	701	64,415	0	64,415
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
担任サポート教員配置数(人)	-	-	19					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				(現状と課題) 各学校の学級数を見定め、文部科学省の３５人学級を注視しながら、適正に人員配置に努めてまいります。 (取組) 文部科学省の３５人学級の通知から、予算編成時（令和２年度中）と状況が変わってきていることから、今後の対応を柔軟に行う必要があります。				

新設中学校（大畔地区）備品整備事業		令和4年4月に開校を予定しているおおぐろの森中学校に必要な教育備品（校具用、各教科用）を整備します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	新規	0		0	0	260,000	100,000	160,000
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
教育委員会関係部署との打合せ回数（回）	-	-	12	備品の充実割合（％）		-	-	100
入札不調件数（件）	-	-	0					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため、記載なし。				（現状と課題） 多くの備品購入することから、入札等スケジュール管理を徹底し、教育委員会内での齟齬がないように適宜共有していく必要がります。 （取組） 教育委員会内で結成された新設中学校開校準備プロジェクトチームで適格に情報共有していきます。				

新設中学校（大畔地区）整備事業	令和4年4月に開校を予定している大畔地区新設中学校に必要な教材消耗品（各教科用、保健用、施設用）等を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
教育総務課	新規	0		0	0	28,685	0	28,685
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
入札件数（件）	-	-	9	消耗品の充実割合（％）		-	-	100
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				令和4年4月の大畔地区新設中学校開校に向け、必要な教材消耗品等の整備を行います。 学校教育課と協同して、入札を実施します。				

学校施設建設支援事業		児童数の増加に対応するための学校施設建設等事業のうち、南流山中学校の移転、（仮称）市野谷小学校の新設について、経験豊富な建築技師や土木技師を有する民間企業に業務の支援を委託します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	新規	40,000		39,600	7,013	40,000	0	40,000
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
支援業務の進捗率（％）	-	25	50					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
（取組内容） 発注者、支援業務受注者及び設計業務受託者間で、打ち合わせを密に行い、事業に遅延が生じないように管理する必要があります。 （評価） コロナ禍において、リモート会議も導入して進捗を管理しました。 （改善点） 当初計画に無い事業への柔軟な対応が必要です。				（現状） 支援を受ける事業の他に、令和4年4月におおぐろの森中学校の開校を控える他、南流山中学校の小学校仕様化等の検討が必要です。 （課題） 令和6年度の、南流山中学校の移転開校、（仮称）第二南流山小学校の開校、（仮称）市野谷小学校の開校が急務となっており、厳しいスケジュール管理が必要です。 （取組内容） 引き続き綿密な協議による情報共有に努めていきます。				

I C T 学習空間整備事業	児童生徒の情報活用能力の育成を図るために、GIGAスクール構想に伴うタブレット端末、校内ネットワーク環境及びその他 I C T 機器を整備します。 令和3年度 G I G Aスクール構想業務委託、タブレット端末整備 等 令和4年度 システム管理・運営 令和5年度 システム管理・運営							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	拡充	127,800		136,099	8,208	432,751	0	432,751
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
市内児童・生徒用のコンピュータ数(台)	994	16,858	18,158	教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		10.0	0.97	1.00
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・主な取り組みとして、流山市G I G Aスクール構想の実現のために、児童生徒用タブレット端末(16,858台)の整備及び、令和3年度開校するおおぐろの森小学校を含めた全ての小中学校に校内無線LANの構築を行ないました。 ・令和3年度からタブレット端末を活用した授業が展開されることに伴う、タブレット端末の管理や保守、教職員の研修、学校への支援、校務系ネットワーク及びシステムの構築について、4月から稼働できるよう業務委託契約を交わしました。 ・本事業の指標である「市内児童・生徒用コンピュータ数」が児童生徒1人あたり1台になりました。				・児童生徒の増加に伴うタブレット端末の管理や整備、教職員の I C T 活用技術の向上、学校からの故障などの問い合わせ等については、業務委託で対応していきます。 ・校務系ネットワーク及び校務支援システムについては、令和4年度から本格稼働できるよう、9月頃からモデル校にて実証を行い、運用方法や課題について詳細を確認していきます。				

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



教育環境の整備 主管課：教育総務部 学校教育部 関連課：なし

新設小学校（大畔地区）整備事業	令和3年4月に開校をした大畔地区新設小学校に不足した教材消耗品等を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
教育総務課	新規	19,000		15,884	3,506	2,847	0	2,847
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
入札件数（件）	-	9	-	消耗品の充実割合（％）		-	88	100
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
令和3年4月に開校する大畔地区新設小学校の開校にあたり必要な教材消耗品等を整備するため、学校教育課と協同して9件の入札を行いました。				令和3年4月の大畔地区新設小学校の開校後に、不足があった教材消耗品等を整備します。開校後、不足している教材消耗品等を的確に把握することが求められると考えています。学校と連携を密に取り、状況把握に努めることで、教育現場の充実を図ります。				

新設小学校（大畔地区）備品整備事業	令和3年4月に開校を予定している大畔地区の新設小学校に必要な教育備品を整備します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	新規	227,079		173,000	3,506	4,751	0	4,751
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
教育委員会関係部署との打合せ回数（回）	-	12	12	備品の充実割合（％）		-	98	100
入札不調件数（件）	-	1	0					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組) 備品の種類ごとに入札を行い備品購入を行いました。 (評価) 必要な備品を予算内に購入し、適正に事務を行っている。 (改善点) 入札不調があったので、予算編成段階での仕様書の精査が必要となります。				(現状と課題) 令和2年度において、整備必要な備品購入を１００％できなかったため、不足分の購入を行います。 (取組) 不足とならないようおおぐろの森小学校と十分協議を行い、適正に備品購入を行います。				

八木北小学校校舎等建設事業	八木北小学校の児童数増加により、教室が不足することから、令和2年度に校舎増築を終えました。併せて既存校舎の改修を令和元年度からの継続事業として実施します。また、給食室・屋内運動場（体育館）についても、児童数増加に対応するための増築工事を令和2年度からの継続事業として実施します。								
	担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
	学校施設課	継続	1,135,288		1,325,045	21,039	10,820	7,700	3,120
	主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
	校舎増築工事の進捗率(%)	37	100	-					
既存校舎改修工事の進捗率(%)	1	95	100						
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 発注者、監理者、施工者、学校との調整を実施しました。 (評価) 増築工事が完成し、校舎への引っ越しを夏休み中に実施し、2学期から使用することができました。 (改善点) 引き続き、校舎改修工事、給食室増築工事及び屋内運動場増築工事を実施するため、関係者間の協議、調整を行っていく必要があります。					(現状) 給食室増築工事及び屋内運動場増築工事が始まります。 (課題) 工事を計画的に進めるために、工程管理及び安全管理への配慮が必要になります。 (取組内容) 安全面及び工程管理について、関係者間での協議、調整を実施します。				

新設小学校建設事業		土地区画整理事業の影響による、おおたかの森小学校区及び小山小学校区の児童増加に対応するため、令和3年4月に「おおぐろの森小学校」を開校します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	継続	3,629,900		2,494,616	21,039	15,724	15,724	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
造成工事の進捗率(%)	83	100	-					
建設工事の進捗率(%)	12	98	100					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 工期の短縮に向けて、作業と同時進行で工事関係者と協議を重ねました。 (評価) 開校までに校舎は完成しましたが、外構工事に遅れが生じました。 (改善点) 最短で外構工事を終えるよう、工事関係者との調整を実施しました。				(現状) 令和3年4月3日に学校新設を祝う会を実施して開校しました。 (課題) 引き続き、外構工事は続きますので、児童には不便をおかけしています。 (取組内容) 屋外授業は一時的にスポーツフィールドを利用していただきながら、安全を確保しつつ工事を進めます。				

新設中学校建設事業		おおぐろの森小学校の開校及び、小山小学校の児童数増加により、進学先となる中学校の需要増に対応するため、令和4年4月の開校に向けて、おおぐろの森中学校の建設を進めます。 令和3年度 建設工事						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	継続	2,471,255		1,253,338	14,026	4,700,667	4,694,291	6,376
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
造成工事の進捗率(%)	25	100	-					
建設工事の進捗率(%)	-	15	100					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 安全面、工程管理において、近接するおおぐろの森小学校建設工事と調整を図りました。 (評価) おおぐろの森小学校とは建設事業者が異なりますが、十分な調整を図れました。 (改善点) 令和4年4月の開校に向けて、効果的に工期を短縮する必要があります。				(現状) 工程表に基づき工事を進めています。 (課題) 令和4年4月の開校に支障のないように工事を進める必要があります。 (取組内容) 工期の短縮に向けて、工事関係者と具体的な対策について協議を行います。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



教育環境の整備 主管課：教育総務部 学校教育部 関連課：なし

給食室等改修事業		長崎小学校の給食室を建替えて、児童数増加に対応するとともに、流山小学校及び八木中学校の調理室へのエアコン設置並びに、八木北小学校の給食室増築工事を、令和2年度からの継続事業として実施します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	継続	57,629		61,303	14,026	9,059	0	9,059
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
長崎小学校調理場建替え工事の進捗率(%)	-	-	100	調理場への空調設備整備率(%)		9	23	41
八木北小学校給食室増築工事の進捗率(%)	-	-	100					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 長崎小学校給食室建替えに係る基本・実施設計を実施しました。八木南小学校及び南流山中学校の給食室にエアコンを設置しました。 (評価) 毎年度計画的に実施しているエアコン設置について、給食のない夏休み中に設置することができました。 (改善点) 長崎小学校の給食室の建替え及び八木北小学校の給食室増築について、令和4年度供用開始することから、工事が遅れないよう工程管理を行っていく必要があります。				(現状) 長崎小学校の給食室の建替え工事、八木北小学校の給食室増築工事、流山小学校及び八木中学校給食室エアコン設置工事を実施します。 (課題) 令和4年度の供用開始に支障がないよう、工事を進める必要があります。 (取組内容) 発注者、監理者、施工者及び学校との協議による各種調整を実施します。				

新設小学校(おおたかの森地区)建設事業	おおたかの森小学校区の児童数増加に対応するため、令和6年4月の開校に向けて、当該地区に(仮称)市野谷小学校の建設を進めます。(令和3年度設計、令和4年度設計・建設工事／令和5年度建設工事)							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校施設課	継続	51,057		13,478	3,507	99,990	99,990	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
設計業務の進捗率(%)	-	10	60					
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
(取組内容) 児童や市民参加型のワークショップを開催しました。 (評価) 広い分野から意見をいただくことができました。 (改善点) 今後の事業展開に意見を反映していきます。				(現状) 設計業務請負者に指示し、基本計画の策定を進めています。 (課題) 基本設計・実施設計の策定が必要です。造成工事については、区画整理施行者との協議が必要です。 (取組) 関係者との協議を継続して進捗を管理します。				

児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部 学校教育部 関連課：なし

子ども専用いじめホットライン相談事業	いじめや学校生活で悩む児童生徒からの相談に、専門相談員が電話やメールで対応し、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、中学生には「いじめ報告・相談アプリSTOP it」を活用し、相談環境の充実に努めます。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	6,680		6,680	3,498	6,875	0	6,875
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
「子ども専用いじめホットライン」の相談数(件)	12	14	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(2月まで)(認知件数÷解消件数)(%)		82.6	91.8	100
「いじめ報告・相談アプリ」の相談数(件)	23	29	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(2月まで)(認知件数÷解消件数)(%)		79.0	56.2	100
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
子ども専用いじめホットライン相談窓口の周知のため、連絡先が記載されたカードとA4サイズのリーフレットを市内全小・中学生に配付しました。中学生が利用できる、いじめ相談報告アプリへの相談件数が増えているため、アプリ相談は中学生のニーズにあった相談ツールと捉えています。今後も、相談窓口の周知を図ります。				コロナ禍により、子どもたちの不安や悩みの内容は変化し相談事業の必要性が高まっていると捉えています。引き続き、相談窓口の積極的な周知に努め、いじめの早期発見・早期解決を図ります。また、タブレット端末の活用により相談がしやすい環境を整えます。				

いじめ等防止対策推進事業	いじめ、不登校、児童虐待など児童生徒が置かれた環境への働き掛けや関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整を行うスクールソーシャルワーカーを配置します。また、いじめや不登校などの予防と対策のためにハイパーQ U(学級集団アセスメント)検査を実施します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
指導課	継続	18,582		20,274	35,065	23,260	0	23,260
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
小学校いじめ認知件数(2月まで)(件)	3,003	3,037	-	小学校「いじめアンケート」調査の結果(認知件数÷解消件数)(2月まで)(%)		82.6	91.8	100
中学校いじめ認知件数(2月まで)(件)	466	315	-	中学校「いじめアンケート」調査の結果(認知件数÷解消件数)(2月まで)(%)		79.0	56.2	100
令和2年度 of 取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関と連携しながら、いじめ、児童虐待などに迅速に対応しました。 ・評価 児童生徒向けにいじめ防止授業や、教員向けにいじめ防止研修を実施するなど、いじめに対する理解を促進させ、未然防止のための取り組みを実施しました。 ・改善点 スクールロイヤーの訪問授業や教員研修を計画的に実施し、いじめに対する理解をますます深めていきます。				〈現状〉 スクールロイヤー、スクールソーシャルワーカーを配置し、いじめ、不登校、児童虐待などに迅速に対応しています。児童生徒の安全・安心な学校生活を送れるよう、ハイパーQU(学級集団アセスメント)検査を実施しています。 〈課題〉 いじめの未然防止に努める必要があります。 〈取組内容〉 スクールロイヤーなどによるいじめ防止授業を各学校で実施します。				

※予算等の金額の単位はすべて千円です。

主管部局 学校教育部 施策の目的 学びに向かう力と自立する子どもを育む



児童・生徒の安全確保と健康増進 主管課：教育総務部 学校教育部 関連課：なし

学校サポート看護師派遣事業	小中学校の児童生徒の健康管理及び保健教育の向上を図るため、市域を4地区に分け、各地区の小学校1校、中学校1校へ1人ずつ合計8人の看護師を配置します。また、医療的ケアを要する児童生徒に対応するため、2名の看護師を配置します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	継続	18,234		19,203	3,735	24,769	0	24,769
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
学校サポート看護師人数(人)	10	10	10	養護教諭による学年学級への指導時間数(時間)		127	127	130
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・取組内容 小・中学校において病気や怪我をしている児童生徒の医療的な救急処置をはじめ、健康のチェックや個別にかかわることが望ましい児童生徒の補助、生活習慣に関する援助・助言を中心に取り組みました。 ・評価 校外学習や出張等で養護教諭が不在の時に、保健室を開けられることは児童生徒にとって安心感を与えられました。医療的ケアを要する児童生徒に個別で補助することができました。 ・改善点 保健室を経営する上での養護教諭とサポート看護師の方向性が一致できるように計画をしっかりと立てていきたいと思ひます。				・現状 昨年度同様、児童生徒に対して医療的な応急処置をはじめ、児童生徒の補助、生活習慣に関する援助助言を行っています。 ・課題 サポート看護師を要請する時期が各校で重なることが多くなり、希望通りにいかないことがあります。 ・取組内容 毎学期、サポート看護師の連絡会議を設け、取り組みや状況について報告を聞いてます。市内の医療的なケアを要する児童のサポート看護師を対象とした研修会を設定し、誰もが応急処置をできるようにしています。養護教諭が主体となって、サポート看護師との打ち合わせを綿密に行っています。				

学校給食施設管理事業	学校給食調理業務に必要な消耗品や備品を整備するとともに、給食設備の点検・清掃及び害虫駆除等を行うことにより、安定的な給食の提供と衛生管理の徹底を図ります。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与と費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
学校教育課	継続	111,517		93,295	3,682	118,236	0	118,236
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
給食設備・機器の点検実施回数(回)	289	275	286	学校給食における食中毒発生件数(件)		0	0	0
施設・設備の清掃等実施回数(回)	123	121	121	保健所巡回による1校当たりの衛生管理指導事項数(件)		4	-	-
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
学校給食調理業務に必要な消耗品や備品を整備するとともに、給食施設の点検・清掃を実施しました。また、害虫駆除業務を専門業者への委託により実施し、衛生環境の徹底を図りました。				老朽化した食器等の給食関係の消耗品や備品の整備を行い、安心・安全な学校給食の提供と衛生管理に努めます。				

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

財政運営		主管課：財政調整課			関連課：なし				
市税等納付コールセンター事業		現年度課税の滞納整理を強化し徴収率の向上及び累積滞納を防止し、安定した財源確保を図るため、現年度課税分に特化し電話や文書等による催告業務を民間委託により行います。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
税制課	継続	4,739		4,546	1,403	4,739	0	4,739	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
電話催告件数(件)		7,197	6,591	—	催告後2か月以内に納付された件数(件)		3,710	—	—
文書催告件数(件)		3,900	3,719	—	現年度課税の徴収率(%)※参考		99.35	98.88	—
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
電話催告については架電率向上のため、電話帳ソフトの活用や架電時間帯及び曜日の工夫を行い、それでもなお連絡がつかなかった場合は、速やかに文書による催告を行いました。 また、業務実績や課題等について、事業者と月一回開催のミーティングにより、その状況を把握及び共有し、効果的な事業実施に努めています。					架電・文書催告に反応がない滞納者には、今後も引き続き本事業を活用し、職員の徴収事務と連携し、より効果的な滞納整理を検討します。				

資産活用		主管課：財産活用課			関連課：なし			
通訳タブレット導入事業		南流山出張所及び江戸川台駅前出張所に外国語及び手話（日本語手話）通訳タブレットを配備し、インターネットを通して通訳士と会話形式または手話形式で通訳を行うことで、円滑かつ快適な窓口サービスを提供します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
市民課	新規	0		0	78,379	874	0	874
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
来庁した外国人の人数（人）	-	-	484	通訳タブレット使用した外国人の人数（人）		-	-	84
来庁した聴覚障害者の人数（人）	-	-	24	通訳タブレットを使用した聴覚障害者の人数（人）		-	-	20
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
新規事業のため記載なし				・現状 日本語が困難な外国人や聴覚障害者は、容易に窓口手続等の意思疎通を図ることができません。 ・課題 日本語が困難な外国人や聴覚障害者が、容易に窓口手続等の意思疎通を図ることです。 ・取組内容 通訳タブレットを導入し、会話形式で通訳を行います。				

本庁舎施設管理計画事業		本庁舎が老朽化していることから、長寿命化を図るものです。また、劣化が著しい設備等を改修し、災害時の活動拠点となる本庁舎を良好な状態に保ちます。 令和3年度 受変電設備改修、蓄電池設備改修 令和4年度 自動火災報知設備更新、第2庁舎LED化						
		令和5年度 屋上防水改修、第2庁舎LED化						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
財産活用課	継続	18,044		16,019	3,124	43,721	34,091	9,630
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
改修工事費(千円)	25,324	0	55,836	改修等必要箇所数(件)		12	0	8
令和2年度 of 取り組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取り組み				
・庁舎設備について定期点検を実施しました。 ・令和2年度は、受変電設備改修工事(継続)を行っています。 ・本庁舎建設から30年以上が経過し、老朽化していることから設備更新や改修の検討を進めました。				・庁舎設備が経年劣化等により修繕箇所が増加しています。 ・令和3年度は、受変電設備及び蓄電池設備の改修工事を行います。 ・庁舎設備について、計画的に行う必要があります。				

ファシリティマネジメント推進事業		各種FM施策を実施することで、市全体の資産の質を向上させ、最適化を図るとともに、施設の改修等営繕に関する設計・監督を行い、長寿命化を図ります。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
財産活用課	継続	1,319		1,090	17,612	1,540	1,540	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
ファシリティマネジメント施策の実施件数(件)	32	32	33	ファシリティマネジメント施策による歳入(千円)		7,840	8,198	8,279
改修等営繕に係る設計・監督実施件数(件)	34	36	37					
令和2年度 of 取り組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取り組み				
・市内48施設一括して再生可能エネルギー100%電力の供給を受けるため公募を実施し、令和3年4月から同電力の受電が実現しました。 ・市役所屋上に携帯基地局(アンテナ)を設置し、歳入の拡大を図りました。 ・市内複数公共施設に公衆Wi-Fiのアクセスポイントの設置拡大を図りました。 ・第4回事業者提案制度の協議対象案件(都市公園に自動販売機を設置し、その収益を原資に学校に防犯カメラを無償で設置する事業)において、防犯カメラ7台(自販機5台)の設置が完了しました。 ・第5回事業者提案制度の協議対象案件(公民館・福祉会館・保育所等市内19公共施設におけるLED化ESCO事業)については、事業化したことにより令和3年度から工事が始まり、令和4年度から同照明でのサービス開始の予定です。 ・ESCO事業、包括施設管理業務委託、有料広告事業などの各種FM施策を引き続き民間企業等と連携しながら進めました。 ・また、学校以外の公共施設の改修等の営繕に係る設計・現場管理を行いました。 ・資産の活用面では官民連携を引き続き行い、施設の長寿命化に寄与する改修等を進めていく必要があります。				・各種FM施策を実施することにより、市の資産を十分に活用できています。 ・また、施策の改修設計・監理を行うことで長寿命化が図られています。 ・現在取り組んでいるFM事業を継続的に推進します。 ・市内48の高圧受電施設については再生可能エネルギー100%電力の受電が実現したことから、低圧受電施設についても同電力の受電を目指します。				

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

組織・人材		主管課：人材育成課			関連課：なし				
政策法務推進事業		政策法務推進計画に従い、政策法務研修計画に基づく研修の実施等の人材の育成、政策法務主任の設置等の組織の充実、法令・判例の解説等の入手を容易にする環境の整備、行政リーガル・ドック事業等の予防法務の実施により政策法務を推進します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
総務課	継続	4, 143		3, 651	9, 888	4, 142	0	4, 142	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
研修受講者数(人)	220	173	220	自治体法務検定シルバークラス以上取得者累計数(人)		112	131	152	
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、グループワークを中心とする研修を中止とし、講義を中心とする基礎法務研修、政策法務研修<基礎編>及び行政リーガル・ドック事業のフィードバック研修を感染症対策を講じた上で実施しました。また、行政リーガル・ドック事業についても、簡略化した形で実施しました。 ・今後も新型コロナウイルス感染症に関する状況を注視しながら事業の実施に努めます。					・研修及び行政リーガル・ドックを継続して実施してきたことにより、職員の政策法務に対する意識が向上しています。 ・全庁的に更なる政策法務に対する意識向上を図るため、継続して研修及び行政リーガル・ドックを実施する必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら可能な範囲で、政策法務研修計画に基づき各研修を実施します。また、不利益処分をテーマに行政リーガル・ドックを実施します。				

職員研修事業		職員一人ひとりの資質の向上や専門知識の習得を図るため、担当部門や勤続年数に応じた研修を実施します。また、組織外からの知識や情報を組織内に吸収し、組織としての創造性を高める効果的な方策として政策自主研修を行う職員に研修助成し、意欲のある職員を育成します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源	
人材育成課	継続	18,559		14,206	5,898	19,058	388	18,670	
主な活動指標		R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
職員数（毎年4月1日現在）（人）		1,078	1,102	1,117	職員自主研修助成者数（人）		37	26	51
集合研修実施件数（件）		27	24	28	派遣研修派遣職員数（人）		59	42	87
令和2年度の取組みと評価・改善点					令和3年度の現状・課題・取組み				
職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスのさらなる向上を図るため、年間を通じて新型コロナウイルス感染対策を図りながら、研修計画に基づく研修を実施しました。 令和2年度の新たな研修として、女性職員のキャリア形成に資する「女性活躍推進研修」や、円滑な業務引継ぎ、マニュアル化による効果的な引継ぎを進めるための手法を学ぶ「円滑な業務引継ぎ研修」と題した研修を実施しました。 自治大学校や市町村アカデミー、千葉県自治研修センター等での外部研修は、新型コロナウイルス感染症予防から中止となったものもありましたが、人材育成基本方針に基づく研修を実施できたものと評価します。 なお、令和3年度は、プロポーザル選定の結果、職員研修一括業務委託の受託者が変更となることから、新たな事業者のノウハウを導入しながら、一層、効果的な研修の実施に努めます。					職員の能力水準を総合的に上げ、市民サービスのさらなる向上を図るため、年間を通じて新型コロナウイルス感染対策を図りながら、研修計画に基づく研修を実施します。 本年度から職員研修一括業務委託の受託者が変更となったことから、事前の調整等、委託業者との連携を図り、新たな事業者のノウハウを導入しながら、一層、効果的な研修の実施に努めます。 また、今年度の特別研修として、業務の効率化を目的とした情報力向上のための研修や、組織における障害者の活躍などをテーマにした研修を行うことを予定しています。				

行政経営

主管課：

関連課：なし

成年後見制度中核機関運営事業		成年後見等の権利擁護が必要な人が、早期の段階から相談に繋がると共に、必要な制度を利用できるように、社会福祉協議会に中核機関としての役割である広報機能、相談機能、利用促進機能、後見人支援機能の業務を委託します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
高齢者支援課	新規	505		200	1,753	8,925	8,925	0
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
成年後見推進センター（成年後見中核機関）の周知活動を実施した回数（回）	-	-	40	成年後見推進センター（成年後見中核機関）の周知活動を実施した人数（人）		-	-	720
成年後見制度に関する相談会・研修会の実施回数（件）	-	-	7	成年後見制度に関する相談会・研修会の参加人数（人）		-	-	270
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
令和2年度においては成年後見制度活用促進事業として、制度の活用促進の一環として、制度の周知としてパンフレットの作成及び配布、個別相談会の実施及び介護専門職向けの研修会を実施しました。令和3年度においては、成年後見制度中核機関運営事業として、成年後見制度の地域連携ネットワークの中核機関を設置し、中核機関が活用促進の機能を担うこととしており、成年後見制度の活用促進体制の充実を図ります。				（現状と課題）国の成年後見制度利用促進基本計画を踏まえ、成年後見制度の地域連携ネットワークの推進に取り組むため、流山市社会福祉協議会に委託し、流山市成年後見推進センター（成年後見中核機関）を令和3年度から設置しました。市民への成年後見制度の利用促進のため、センターの周知が課題です。 （取組内容）中核機関の設置や成年後見制度の概要等について市民に広く周知ができるよう、チラシや広報等での周知のほか、地域住民や支援者が実施する会議等へ中核機関職員が出向き周知を図っていきます。また、専門職や市民後見人等による相談会の実施や研修会、講演会等の実施を行います。				

インターネット議会中継システム事業	流山市議会のホームページ上で本会議の映像を公開し、市民などに対して情報の共有化を図ります。併せて、手話同時通訳中継を行い、より分かりやすく市民に開かれた市議会を目指します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
議会事務局	継続	6,590		6,556	3,507	6,202	0	6,202
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
インターネット配信回数(回)	25	20	25	インターネット配信閲覧者延人数(人) ライブ中継(人)		15,903	24,381	25,000
				インターネット配信閲覧者延人数(人)録 画中継(人)		6,906	4,094	5,000
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・昨年度導入した新たな映像・音響システムについて、適切な運用、保守に努めました。 ・新たな採決システムにより、以前に比べ議事がスムーズに進行できました。 ・手話同時通訳の導入についてはご好評をいただいており、このことはインターネット配信閲覧者の の人数の増加にも表れています。他自治体からの問い合わせも多く、非常に高く評価できるものと 考えています。本会議での議事運営に当たっても、議長から登壇者に対し、早口にならないよう手 話同時通訳への配慮を促すことで、耳の不自由な方へより多くの情報が伝わるよう注意を払いまし た。 ・コロナ禍での委員会運営の観点から、議員が別室でインターネット配信による委員会傍聴をしや すくなるよう、議会フロアWi-Fi環境を改善し、三密対策に努めました。				映像・音響システムを引き続き適切に運用・保守することで、安定した議事進行に努めるととも に、分かりやすい映像配信を行うことで、議会基本条例に規定する、議会運営の公開性及び透明性 の確保に努めます。 また、ご好評いただいている手話通訳についても、一層の分かりやすさに努めます。 更に、コロナ禍で傍聴者減少が懸念されることから、インターネット配信閲覧を積極的に選択 いただけるよう、周知に努めます。				

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

行政経営 主管課： 関連課：なし

議会ICT推進事業	流山市議会ICT推進基本計画に基づき、市議会ホームページの充実とセキュリティの向上を図り、オープンデータの活用を継続することによって、より一層市民に開かれた市議会を目指します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
議会事務局	継続	330		288	2,104	288	0	288
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
Facebookコラム掲載数(回)	12	12	12	流山市ICT推進基本計画に基づく実施計画事業数に対する実施事業割合(%)		94	96	96
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・市議会のホームページは、平成24年10月に市のホームページから独立し、独自ドメインを取得し、迅速な情報提供を行っています。また、平成30年度から市議会ホームページの暗号化を実施し、セキュリティの向上を図っています。令和2年度は、暗号化の更新手続きを行い、安定したセキュリティ環境の整備に努めました。また、市民からの声を反映し、早期に委員会開催予定時間を掲載するなど、より詳細な市議会情報を掲載し、積極的な情報発信に努めました。 ・令和2年度は、YouTube委員会中継のページについて、委員会名から検索できるよう改善しました。 ・市議会独自のホームページであることから、市議会の情報掲載を議会独自に迅速に行うことができ、また市民の声を反映した改善も適宜できる点について、評価できるものと考えています。 ・今後も掲載内容、掲載時期等について適宜改善をしながら、より一層市民に開かれた市議会の実現に向け取り組んでいくべきと考えています。				・独自ドメインを取得していることから、市議会の情報発信を議会独自に迅速に行うことができます。また、平成30年度に行った暗号化の更新手続きを確実に行うことにより、セキュリティの確保に努めています。 ・市民からの声をともに、市議会会議予定をより詳細に掲載するなど、適宜改善を図っています。 ・オープンデータの公開も適宜行っています。 ・引き続き、迅速な情報発信を行うとともに、セキュリティの確保に努めます。また、市民の声をともに適宜掲載時期や掲載方法等、改善を図ってまいります。				

全庁LAN整備事業		職員利用のパソコン・プリンタ・通信機器、ファイルサーバ・グループウェア・統合型GIS等の各システム、ネットワーク環境の整備及び情報セキュリティ対策を実施します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
情報政策・改革改善課	継続	218,753		210,994	18,935	201,222	6,903	194,319
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
全庁LANパソコン整備台数(台)	1,007	1,077	1,127	配備に対する全庁LANパソコン不足台数(台)		0	0	0
自治体セキュリティクラウドマルウェア等検知件数(件)	12,375	12,019	13,000	ウイルス感染件数(件)		0	0	0
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
庁内パソコンについては、業務で使用するパソコンを不足なく配備するため、70台を導入しました。 業務を効率化し、職員は職員でしかできない仕事に注力できるようにRPA(業務自動化システム)を新たに3課に導入しました。また、全庁的にAI議事録システムを導入し、職員による議事録作成の負担の軽減を図りました。 情報セキュリティについては、前年度実施した外部監査で指摘された事項について改善を図るとともに、情報セキュリティ研修を実施しました。				国の自治体デジタルトランスフォーメーション推進計画に対応するため、情報システムの標準化・共通化など国の動向を注視しつつ推進していきます。 庁内パソコンについては、老朽化したパソコン50台分を更新します。 情報セキュリティを確保するため導入したインターネット環境の仮想化による分離システムを更新し、セキュリティ対策を継続的に実施していきます。 また、情報セキュリティを適正に維持していくため、外部機関によるセキュリティ監査を実施します。				

公文書一元管理事業		公文書を一元的に管理することにより、市民等の情報公開の申請又は要望に適切に対応します。また、将来の市民に過去の行政の状況を公文書を通じて引き継ぎます。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
総務課	継続	19,334		19,189	3,226	216	0	216
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
書庫（水道局跡地）の収納率（％）	97.7	81.9	83.0	保存文書の集約率（％）		83.5	83.1	84.0
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・ 公文書を適切に保管し、情報公開の申請等に対応しました。 ・ 電動書架増設工事を実施し、今後の公文書の増加に対応できる措置をとりました。				・ 公文書を適切に保管し、情報公開の申請等に対応していきます。 ・ 新型コロナウイルス感染症関連など今後の公文書の増加が予想されますので、引き続き文書の適切な保管に取り組みます。				

広報発行事業		広報ながれやま（月3回。年間37回のうち3回は特集号、年1回の号外特集号）をよりタイムリーな紙面構成で発行し配布（新聞折り込みや宅配など）します。また、市ホームページや携帯電話のメール、スマートフォンのアプリなどを活用した情報サイト、各メディアへのパブリシティ（マスメディアへの情報提供）などを通じて市政情報を広く発信します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
秘書広報課	継続	47,123		45,091	21,039	46,948	0	46,948
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
				「マチイロ」の登録件数(件)		4,775	6,233	8,102
				広報ながれやまの内容や情報量に満足している人の割合(%)		84.5	84.8	85.0
令和2年度の取組み・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・ 取組内容 転入者に「マチイロ」（広報紙などを閲覧できる行政情報アプリ）の案内書を配布しました。 ・ 評価 マチイロの登録件数が順調に増え、電子媒体による広報紙閲覧を促進することができました。 ・ 改善点 転入者以外にも、マチイロの周知が必要になります。				・ 現状 マチイロの登録件数が順調に増加しています。 ・ 課題 30代、40代以外のマチイロ登録件数が少ない状況です。 ・ 取組内容 マチイロを多世代に向けて呼びかけるチラシの配布や広報掲載を行います。				

施策の目的 総合計画の着実な推進を図るため、社会経済情勢の変化や情勢の変化や市民ニーズなどをとらえた持続的な市政経営を行う

行政経営		主管課:			関連課: なし				
見やすく分かりやすいホームページ運営事業		市の公式ホームページについて、CMS（コンテンツマネジメントシステム）を利用した管理・運営を行い、「見やすく」「探しやすい」情報提供を行うことで、流山市民はもとより市外の方や企業の方にも流山市の魅力や各種情報をタイムリーに発信します。							
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)		R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
秘書広報課	継続	6,550		5,908	7,013		6,205	2,000	4,205
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標			R1実績	R2実績	R3目標
				市ホームページの月平均ページビュー数(回)			897,824	1,193,643	1,000,000
				ページ内アンケートで「ページを見つけやすい」と答えた人の割合(%)			62.8	61.9	63.0
令和2年度の取組み・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み					
・取組内容 ウェブアクセシビリティに配慮したページになるよう、ページデザインを工夫しました。また、コロナ禍において、迅速に情報を提供するため、動画配信を実施しました。 ・評価 総務省が提供するアクセシビリティ評価ツールによりチェックを行い、エラーが生じていないことを確認しました。 ・改善点 リンク切れが生じないように定期的に確認する必要があります。				・現状 ページ内アンケートで「ページを見つけやすい」と答えた人の割合が低下しています。 ・課題 市のホームページに訪れる人が目的のページにより到達しやすいサイト構成・ページ内容にする必要があります。 ・取組内容 目的ページに到達しやすくするため、不要なページの削除やサイト構成について、適宜見直しを行います。					

広聴活動事業		書簡や電子メールにより市民の意見等を幅広く収集するほか、定期的にタウンミーティングを開催して市民の声を直接伺います。掲載した意見等については所管課と連携して対応を行い市政へと反映させます。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
秘書広報課	継続	14,306		12,600	17,692	13,702	0	13,702
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
タウンミーティング開催回数(回)	9	10	9	無作為抽出型タウンミーティングに「満足した」と回答した参加者の割合(%)		81.9	-	82.0
				住民の声が市政に反映されていると感じる市民の割合(%)		79.7	83.0	83.0
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・取組 新型コロナウイルス感染症が流行する中、密を避けながら行う意見交換の手法として、オンライン会議ツールを活用したタウンミーティングを行いました。 ・評価 オンライン会議ツールの活用は、直接対面することなく議論をすることができるため、感染症対策に有効でした。 ・改善点 開催時間を1時間と設定しましたが、後半は時間が足りずに満足に意見交換を行えない参加者もいたため、建設的に議論を行うための工夫が必要です。				・現状 依然として新型コロナウイルス感染症流行の先行きは見えない状況です。 ・課題と取組み 集合型のタウンミーティングについては、感染症拡大の先行きを注視しながら、判断をする必要があります。開催する場合は、市民が安心して参加できるよう、感染拡大防止のための最大限の対応を行います。 また、併せてオンライン会議ツールを活用した意見交換についても、準備を進めます。				

T X沿線整備地区の字の区域の名称変更事業		つくばエクスプレス沿線整備地区で進められている土地区画整理事業の換地処分に合わせ、当該地区の字の区域及び名称の変更を行います。木地区については、換地処分が令和5年度に行われるため、住所変更通知書の作成等の業務を令和4年度・5年度に継続して実施します。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
総務課	継続	14, 778		3, 308	6, 332	478	0	478
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
字変更業務の進捗状況(%)	100	71	100					
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
・令和2年度末の鰯ヶ崎・思井地区の土地区画整理事業の換地処分に合わせて字の区域及び名称の変更を実施する準備を行ってきました。 ・関係機関との連絡調整を行い、住所変更手続の準備は概ね順調に進んでいましたが、換地処分が令和3年5月21日に延期になったことから翌年度も継続して取り組みます。				・令和3年5月21日に鰯ヶ崎・思井地区の換地処分が予定されていることから、これに合わせた字の区域及び名称の変更に向けて、令和2年度から引き続き住所変更通知等の業務を進めます。 ・住民の皆様には、適切な時期にお知らせするとともに、問合せに対しては丁寧な説明を行います。				

マーケティング		主管課：マーケティング課			関連課：なし			
流山市ブランド確立と住民誘致の推進事業		「住み続ける価値の高いまち」としての流山市の都市ブランド確立を推進します。市の知名度とイメージの向上を図るための情報発信とイベントを行い、住民誘致の促進と市民満足度を高める活動を行います。						
担当課	区分	R2当初予算		R2決算見込	R2職員給与費(目安)	R3当初予算	R3特定財源	R3一般財源
マーケティング課	継続	23,492		6,988	21,039	14,059	3,300	10,759
主な活動指標	R1実績	R2実績	R3目標(予定)	主な成果指標		R1実績	R2実績	R3目標
イベント開催回数(回)	6	1	3	常住人口(1/1現在)(人)		195,087	199,920	205,000
				イベント来場者数(人)		163,900	8,023	40,000
令和2年度の取組みと評価・改善点				令和3年度の現状・課題・取組み				
■(主な)取組内容 ・首都圏PR業務について、WEBコンテンツを活用したPRを実施しました。また、twitter広告等も活用し、PR拡散に努めました。 ・新型コロナウイルスの影響により、イベントが全て中止となりましたが、代替企画として市民、市内事業者、市内生産者が連携して、オンラインイベントを実施しました。 ■評価 ・今回新たにtwitter広告を中心としたSNSを活用したことで、より対象を絞ったPR拡散を行うことができました。また、波及効果の測定やリアルな反響の確認も行うことができ、PR効果の分析にも役立ちました。 ・オンラインイベントを市民等と創り上げたことにより、シビックプライドの醸成に寄与することができました。 ■改善点 ・首都圏PR業務について、インターネット環境のインフラ化やSNSの普及により、広告やPRの形が変わってきたため、今後は、より効果的なPR方法の検討が必要です。 ・オンラインイベントについて、初実施だったこともあります。リアルイベントほどのつながりや賑わいは生まれづかったため、コロナ禍でのイベント実施方法について、引き続き検討が必要です。				■現状 ・令和3年4月に策定した流山市ブランディングプランに併せて、今年度流山市特設PRサイトをブランドサイトとしてリニューアルする予定です。 ・令和3年度のイベントについて、新型コロナウイルスの影響により、GWの「流山グリーンフェスティバル」及び食をテーマとした「南流山屋台フェア」を中止としました。 ■課題 ・首都圏PR業務については、メディアへの波及が大きいことから、ブランド推進に寄与する内容の検討が必要です。また、ブランドサイトについて、首都圏PR業務の受け皿としての役割も担うため、当該業務内に連携を行いながら作成することが必要です。 ・イベントについて、コロナ禍での実施方法及び実施可否判断について、検討が必要です。 ■取組内容 ・流山市ブランディングプランに基づき、ブランド資源の発掘やブランドを体験するタッチポイントの創出などを検討していき、流山市ブランドを構築していきます。 ・首都圏PR業務については、例年のPR業務と併せて、新ブランドサイトの作成を加えた形で、提案型プロポーザルを実施します。 ・イベントについては、新型コロナウイルスの状況を注視しながら、実行委員会と開催可否や内容について、協議していきます。				

資料編

(1) まちの状態指標

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和2年度実績
1-1 防災	自助・共助・公助による防災体制の整備を進め、災害時の被害を最小限に抑える	地震などの災害に対する備えが十分だと思う市民の割合	%	↑	52.5 (2018年度)	52.0
		自主防災組織の組織率	%	↑	61.7 (2018年10月1日)	69.2
1-2 消防・救急	火災や事故などの災害から、市民の生命と財産を守る	人口1万人当たりの出火件数	件	↓	1.4 (2018年)	1.1
		救急出動件数	件	-	8,289 (2018年)	7,569
1-3 交通安全・防犯・消費生活	交通事故や犯罪、消費者トラブルなどから市民生活を守る	人口1万人当たりの交通事故発生件数	件	↓	27.3 (2018年)	17.2
		人口1万人当たりの犯罪発生件数	件	↓	61.2 (2018年)	49.3
		消費生活相談件数	件	-	2,009 (2018年度)	1,489
1-4 地域コミュニティ・市民協働	地域コミュニティの活性化を図り、協働・連携を通して地域課題に取り組む	自治会への加入率	%	↑	66.2 (2018年10月1日)	63.03
		市民活動団体の数	団体	↑	203 (2019年4月1日)	229
2-1 健康・医療	生涯を通じて心身ともに健やかに暮らせる市民の健康をつくる	健康寿命(平均自立期間) 2016(H28)年	年	↑	65歳男性:18.55 65歳女性:20.46 (2015年)	随時公表
		生活習慣病による死亡者数の割合 千葉県衛生統計年報2019(R1)年	%	↓	56.3 (2017年)	55.9
		一般診療所の数 千葉県衛生統計年報2019(R1)年	-	↑	95 (2017年)	103
2-2 生涯学習	市民一人ひとりが生涯学習活動を通して人生を豊かにできる	日頃から何らかの生涯学習活動を行っている市民の割合	%	↑	46.1 (2018年度)	36.7
		学びたい時に学べる環境(生涯学習のプログラムや施設)が整っていると思う市民の割合	%	↑	31.8 (2018年度)	56.2
2-3 文化芸術・歴史	文化芸術や歴史に親しむ機会を創出するとともに、歴史的文化的遺産を次世代へ伝える	過去1年間に文化芸術活動を行ったことがある市民の割合	%	↑	53.5 (2018年度)	46.4
		市内の指定文化財等の数	件	↑	50 (2019年4月1日)	51
2-4 スポーツ	スポーツを通じた市民の健康と体力の維持・増進を図る	スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	%	↑	35.4 (2018年度)	35.5
		スポーツ施設の利用者数	人	↑	1,610,133 (2018年度)	1,013,333

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和2年度実績
3-1 みどり・生物多様性	市民に潤いと安らぎを与えるみどりの保全・創出に取り組む	人口1人当たりの都市公園面積	m ²	↑	5.17 (2019年4月1日)	5.28
		市内は緑が豊かで潤いがあり、緑とのふれあいに満足していると思う市民の割合	%	↑	78.8 (2018年度)	83.0
3-2 市街地整備・景観	地域の特性を活かした魅力ある街並みを創出する	これからも流山市に住み続けたいと思う市民の割合	%	↑	83.0 (2018年度)	92.2
		利用している駅及び駅周辺の整備や利便性に満足している市民の割合	%	↑	42.5 (2018年度)	75.2
		自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	%	↑	58.6 (2018年度)	62.2
3-3 道路	安全で円滑に移動できる道路網と道路環境を整備する	快適に移動できる道路網が整備されていると思う市民の割合	%	↑	62.4 (2017年度)	73.5
		都市計画道路の整備率	%	↑	70.6 (2018年度末)	73.0
3-4 河川・排水	大雨時の洪水氾濫・内水氾濫による被害を最小限に抑える	雨水幹線の整備延長	Km	↑	15.3 (2018年度末)	0.0
		水害による住家被害の棟数	棟	→	0 (2016～2018年度)	0
3-5 上下水道	安全な水道水を安定的に供給するとともに、衛生的な下水道サービスを提供する	安全で良質な水道水が安定的に供給されていると思う市民の割合	%	↑	90.7 (2018年度)	95.9
		公共下水道普及率	%	↑	89.3 (2018年度末)	91.9
3-6 交通	交通ネットワークの充実と利便性の向上を図る	公共交通に満足している市民の割合	%	↑	75.0 (2018年度)	81.5
		市内鉄道駅の1日当たりの乗客数 2019(R1)年度	人	↑	175,574 (2017年度)	183,175
		流山ぐりーんバスの1日当たりの利用者数	人	↑	2,499 (2018年度)	1,739
3-7 住宅	多様な世代・世帯が安心して住み続けられる住まいを確保する	住宅の耐震化率	%	↑	83.6 (2018年1月1日)	88.2
		住宅の空き家率 2018(H30)年度	%	↓	3.2 (2018年10月1日)	3.2
3-8 生活環境	地球環境にやさしい、快適な生活環境をつくる	二酸化炭素排出量の基準年度比 2018(H30)年度	t-CO ₂	↓	民生家庭122 民生業務142 (2017年度)	民生家庭130 民生業務148
		身近な生活環境について不満に感じている市民の割合	%	↓	26.1 (2018年度)	31.2
3-9 廃棄物	ごみの発生量を減らし、資源を有効に利用する循環型のまちをつくる	1人1日当たりのごみ発生量	g	↓	848 (2018年度)	813
		資源化率	%	↑	21.8 (2018年度)	27.6

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和2年度実績
4-1 地域経済	消費者と働き手にとって魅力のある事業者や店舗を充実させる	小売吸引力指数 2016（H28）年経済センサス	-	↑	0.765 （2016年）	0.765
		1事業所当たりの製造品出荷額等 2016（H28）年経済センサス	百万円	↑	532 （2016年）	682
		法人市民税	万円	↑	75,479 （2018年度）	令和4年1月頃 公表予定
4-2 農業	都市農業の多面的機能を活かし、生産性や収益性を高める農業の振興を図る	認定農業者数	人	↑	41 （2018年4月1日）	43
		農業産出額（推計） 2018（H30）～2019（R1）	千万円	↑	230 （2017年）	230
4-3 ツーリズム	地域資源を活用し、交流人口の拡大を図る	入込客数	人	↑	290,137 （2017年度）	147,548
5-1 高齢者福祉	高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる	高齢者の人口	人	-	45,411 （2019年4月1日）	46,689
		生きがいを感じる高齢者の割合	%	↑	82.8 （2018年度）	79.0
		要介護・要支援認定率	%	↓	16.7 （2019年4月1日）	17.9
5-2 障害福祉	障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる	障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数	人	-	身体障害者：4,216 知的障害者：1,011 精神障害者：1,332 （2019年4月1日）	4,230 1,089 1,556
		障害者就労支援センターの利用者数	人	↑	207 （2019年4月1日）	181
		相談支援事業の利用者数	人	↑	2,190 （2019年4月1日）	2,529
5-3 地域福祉	自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める	福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちぐるみの福祉ができていと思う市民の割合	%	↑	57.3 （2018年度）	52.8
		生活保護受給者数	人	-	1,708 （2019年4月1日）	1,832
5-4 共生社会	すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合	%	↑	新規取得	86.5
		外国人の人口	人	-	2,737 （2019年4月1日）	3,101

施策	施策目的	状態指標	単位	目指す方向	基本計画策定時点値	令和2年度実績
6-1 子ども・子育て	すべての子どもが健やかに育ち、地域全体で子育てできるまちをつくる	18歳未満の人口	人	-	34,375 (2019年4月1日)	36,994
		合計特殊出生率 2019(R1)年	-	↑	1.67 (2018年)	1.59
		流山市は子育てがしやすいまちだと思ふ市民の割合	%	↑	51.6 (2018年度)	60.2
6-2 学校教育	学びに向かう力と自立する子どもを育む	全国学力・学習調査平均正答率	%	全国平均、 県平均を上回る	小学校：62.6 中学校：66.2 (2018年度)	令和3年 秋頃公表予定
		児童・生徒数 5月1日時点	人	-	児童10,863 生徒4,344 (2018年5月1日)	11,775 4,605
		いじめの認知件数	件	↓	小学校1,246 中学校503 (2018年度)	3,037 315